

資料編

資料編 目次

第4期区民会議委員・参与名簿	33
第4期区民会議スケジュール	34
第4期区民会議関連資料	
安全・安心のまちづくり部会より	35
1. 大地震から助かる命を守るための具体策検討シート	
2. モデル事業の工事実施計画書のサンプル	
3. 工事実施結果の取りまとめ、工事施工写真	
4. モデル事業対象世帯へのアンケート結果	
5. モデル事業参加者の意見（モデル事業を振り返って）	
6. モデル事業のまとめ	
若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会より	55
7. 子育てしやすい環境づくりに関するアンケート調査結果	
8. 子育て支援グループへのヒアリング結果（子育てしやすい環境づくり）	
9. 芸術・文化関連団体へのヒアリング結果（芸術・文化のまちづくり）	
10. 行政へのヒアリング結果（芸術・文化のまちづくり）	
11. あさお子育てフェスタ 開催案内チラシ	
12. あさお子育てフェスタ 当日配布パンフレット	
13. あさお子育てフェスタ 来場者アンケート調査結果	
14. あさお子育てフェスタ 協力団体アンケート調査結果	
15. あさお子育てフェスタ 掲示・配付 未就学児向け催事・事業一覧	
16. あさお子育てフェスタ 芸術文化イベントに関するヒアリング調査結果	
麻生区区民会議ニュース	72
地域情報紙掲載記事	79
安全・安心のまちづくり部会 普及・啓発資料（家具転倒防止対策パンフレット・案）	

第4期区民会議委員・参与名簿

【区民会議委員】

(五十音順・敬称略)

氏名	選出区分(分野)	推薦団体等	役職	部会		
				企画	安全・安心	若者が住みたく なる魅力ある
いしい いくろう 石井 郁朗	地域特性[文化芸術]	区長推薦	副委員長	○		部会長
かがみ たけお 加賀美 長夫	産業分野	麻生区商店街連合会			○	
かじ ひさお 梶 久夫	地域特性[農業]	区長推薦			○	
かねみつ ひでなお 金光 秀尚	市民活動団体	区長推薦		部会長		○
くぼくら りょうぞう 久保倉 良三	防犯、防災分野	麻生区安全安心のまちづくり協議会 (麻生防犯協会)			○	
すがの あきら 菅野 明	文化、観光分野	麻生区文化協会				○
すがわら けいこ 菅原 敬子	市民活動団体	区長推薦	委員長	○		○
すぐり ひであき 村主 英明	公募	公募		○	部会長	
たかくら ひでとし 高倉 秀敏	公募	公募		○	副部会長	
たかせ たかお 高瀬 隆雄	地域特性[市民自治]	区長推薦			○	
たかはし つねゆき 高橋 庸之	公募	公募				○
たかはし けいこ 高橋 慶子	市民自治分野	麻生区町会連合会				○
たけなみ きょうこ 武濤 京子	学識経験者	区長推薦				○
たなか げんすけ 田中 元介	公募	公募		副部会長	○	
はせがわ まりこ 長谷川 真理子	公募	公募			○	
ひがしかわ まさお 東川 禎男	公募	公募	副委員長	○		○
やの みちよ 矢野 美千代	福祉、健康分野	麻生区社会福祉協議会				○
やまだ やすゆき 山田 安之	教育、子育て分野	地域教育会議				副部会長
よこやま あきら ※ 横山 章	緑、環境分野	市美化運動実施麻生支部 ※平成25年11月まで在籍			○	
よしだ けんじ 吉田 謙司	市民活動団体	区長推薦			○	

【区民会議参与】

氏名	区分
あまがき ゆうじ 雨笠 裕治	市議会議員
おおく ひとし 尾作 均	〃
かつまた みつえ 勝又 光江	〃
こぼり かこ 木庭 理香子	〃
つきもと たくや 月本 琢也	〃
はなわ こういち 花輪 孝一	〃
やまざき なおふみ 山崎 直史	〃
あいばら たかひろ 相原 高広	県議会議員
よしだ たいせい 吉田 大成	〃

第4期区民会議スケジュール（平成24年7月～平成26年6月）

	企画部会	安全・安心のまちづくり部会	若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会
7月			
8月	全体会事前勉強会 8月2日(木)		
	第1回全体会議 8月7日(火)		
	第1回 8月17日(金)		
9月	第2回全体会議 9月18日(火)		【ステップ1:現状と課題の把握①】 『子育て』 ・既往調査・統計データの把握 ・基礎調査実施の検討 『芸術文化』 ・第3期取り組み(芸術・文化)の振り返り ・既往調査報告による経過と現状把握、課題検討
10月	第2回 10月1日(月)	第1回 10月9日(火)	
11月	第3回 11月5日(月)	第2回 11月13日(火)	
12月	第4回 12月3日(月)	第3回 12月11日(火)	
1月	第5回 1月7日(月)	第4回 1月18日(金)	
2月	第6回 2月4日(月)	第5回 2月12日(火)	
	第3回全体会議 2月25日(月)		
3月	第7回 3月4日(月)	第6回 3月12日(火)	【ステップ2:現状と課題の把握②】 ・アンケート調査実施 ・調査結果の分析と傾向把握から審議課題を絞込み
4月		第7回 4月9日(火)	
5月	第8回 5月7日(火)	第8回 5月14日(火)	
	第4回全体会議 5月20日(月)		
6月	第9回 6月3日(月)	第9回 6月11日(火)	【ステップ3:現状と課題の把握③/課題解決策の検討①】 『子育て』 ◆ヒアリング調査実施 i 子育て支援グループ等現場の課題を把握 『芸術文化』 ◆ヒアリング調査実施 i 芸術・文化関連団体や施設・教育機関の意見 ii 市の芸術文化行政の考え方
7月	第10回 7月1日(月)	第10回 7月9日(火)	
8月	第11回 8月5日(月)	第11回 8月12日・ 第12回 21日	
	第5回全体会議 8月26日(月)		
9月	第12回 9月2日(月)		【ステップ4:課題解決策の検討②】 ・モデル事業等の検証 ・課題解決策の検討 ・普及啓発資料の検討作成 ・提言内容の検討・精査
	区民会議フォーラム 9月7日(土)		
		第13回 9月10日(火)	
10月	第13回 10月7日(月)	第14回 10月8日(火)	
11月	第14回 11月5日(火)	第15回 11月12日(火)	【ステップ5:提言内容の作成】 ・提言内容の検討 ・提言内容の精査
	第6回全体会議 11月25日(月)		
12月	第15回 12月2日(月)	第16回 12月10日(火)	▼ モデル事業 あさお子育てフェスタの準備
1月	第16回 1月6日(月)	第17回 1月14日(火)	
2月	第17回 2月3日(月)	第18回 2月12日(水)	
	第7回全体会議 2月17日(月)		
3月	第18回 3月3日(月)	第19回 3月11日(火)	
		第20回 4月8日(火)	
4月	あさお子育てフェスタ 4月13日(日)		
		第20回 4月28日(月)	
5月	第19回 5月7日(水)		
	合同部会・勉強会 5月12日(月)		
	第8回全体会議 5月26日(月)		
6月	第20回 6月2日(月)		
	24年10月以降は原則、毎月第1月曜日の午後7時～9時	原則、毎月第2火曜日 午後3時～5時	原則、毎月第2月曜日 午後6時～8時

第4期区民会議関連資料（安全・安心のまちづくり部会より）

1. 大地震から助かる命を守るための具体策検討シート

【事前対策】

◆：実施中の対策

事前対策	自助	共助	公助	企業市民の協力	
1. 地震に強い家づくり	(1) 家屋の倒壊防止 ◇耐震診断と補強工事の実施(昭和56年以前建築の家屋について) →方法は全戸実施、モデルプロジェクト+成果のPRなど	◇家屋の耐震補強の必要性に関する近隣での認識の共有 ◇取組促進に向けた町内会、自主防災組織としての活動	◆住宅の無料耐震診断 ◆耐震工事費助成 ◆耐震改修促進計画(目標：H27年度末90%以上→自然体で達成見込み) ◇耐震性が不十分な家屋の全数把握とその解消に向けた対策の実施 →方法は要検討	「備えるかわさき」(H18年に全戸配布)「防災マップ」等の冊子やホームページを用いた市(区)民向け広報・啓発	◇建築士の協力 ◇工務店、建設会社等の協力 ◇研究者、専門家の協力
	(2) 家具の転倒防止 ◇家具、電化製品の固定・転倒防止・移動防止 ◇造り付け家具の活用 ◇家具、電化製品の置き場所の見直し ◇窓、食器棚等のガラス飛散防止 →方法は全戸実施、モデルプロジェクト+成果のPRなど	◇家具等の固定・転倒防止策の必要性に関する近隣での認識の共有 ◇取組促進に向けた町内会、自主防災組織としての活動(区によるキャンペーンへの呼応、町内会単位での出前講座の開催など)	◆高齢者のみ世帯への家具転倒防止用具の無料配布と設置 ◇市内全戸を対象とした家具・電化製品の固定・転倒防止策の徹底 →方法は要検討(区役所でのキャンペーンの実施、区民向けのセミナーや町内会単位での出前講座の開催、訪問サービス(専門的アドバイス+実費取付)の実施など)		◇建築士、大工、専門の職人の協力 ◇ホームセンター等の協力 ◇研究者、専門家の協力
	(3) 火災予防 ◇火災報知器の取り付け ◇消火器等の備えつけ ◇火気近くの物の片づけ →方法は全戸実施、モデルプロジェクト+成果のPRなど	◇火災予防対策、消火活動に関する近隣での認識共有化 ◇消防団の体制強化活性化	◆住宅用火災警報器設置の義務付け、PR ◇消火器の町内会への配布、屋外設置 ◇消防団の体制強化、活性化への支援、指導		

事前対策		自助	共助	公助	企業市民の協力
2. 防災組織、防災訓練など	(1) 防災組織、防災訓練	<ul style="list-style-type: none"> ◇自主防災組織への参画 ◇防災訓練への積極的な参加 ◇AED、担架、荷車などの使用訓練への参加 	<ul style="list-style-type: none"> ◆全町会・自治会で自主防災組織を結成(問題点の検証を含む)・・・結成率91% ◆自主防災組織等による訓練の計画的な実施・・・119組織で延べ51回実施 ◇防災資材(荷車など)、特技(医師など)、手伝えること(子供の世話など)の情報共有 ◇AED、担架、荷車などの使用訓練の実施 ◇地震発生時の行政からの連絡方法の確保 	<ul style="list-style-type: none"> ◆自主防災組織への助成 ◆消防署による救急救命講習の実施 ◆防災訓練の計画的実施の指導 ◇市・区が主催する防災訓練の実施 ◇発災時の効果的かつ確実な災害情報の伝達方法の探究と確立 	<ul style="list-style-type: none"> ◇企業、団体等の消防組織への加入と消防訓練への参加
	(2) ご近所での日頃の付き合いや事前取り決め	<ul style="list-style-type: none"> ◇ご近所での日頃の十分な付き合いの心がけ ◇親睦会等の行事への積極的参加 ◇帰宅困難時に依頼することの事前連絡 ◇災害用伝言ダイヤル171の習熟 ◇ご近所防災マップ作りへの参加 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ご近所での日頃の十分な付き合い ◆町内会等での親睦会などの開催 ◇小学校、幼稚園等からの引き取りなど、帰宅困難時に関する事前取り決め ◇ご近所防災マップ作りの実施 	<ul style="list-style-type: none"> ◇事前登録したご近所の人への児童・幼児引渡しの制度化 	
	(3) 災害時要援護者等への対応の事前取り決めと体制整備		<ul style="list-style-type: none"> ◇地域(町内会等)における災害時要援護者の把握と情報共有、対応の取り決め ◇登録者以外の要援護者(子ども、高齢者、障害者、病人、外国人等)の把握と情報共有、対応の取り決め 	<ul style="list-style-type: none"> ◆災害時要援護者支援制度の登録 ◇災害時重度障害者受入れ体制の整備 ◇地域での要援護者対応が機能するための、自助・共助への十分な指導・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◇要援護者の一時受け入れ

「備えるかわさき」(H18年に全戸配布)「防災マップ」等の冊子やホームページを用いた市(区)民向け広報・啓発

事前対策	自助	共助	公助	企業市民の協力	
3. 家族との事前取り決め	<ul style="list-style-type: none"> ◇連絡が取れない場合の集合場所の取り決め ◇避難所の確認 ◇「いざというときカード(仮称)」に連絡先や約束事等を記入して、家族全員が常時携帯 ◇災害用伝言ダイヤル171、Web版171の習熟と活用の取り決め ◇防災家族会議の開催 ◇災害時要援護者である家族への対応の取り決め(支援の事前要請を含む) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇家族との事前取り決めに関する近隣住民との認識共有、情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> ◇災害用伝言ダイヤル171、Web版171の普及・PR ◇「いざというときカード(仮称)」の作成、全戸配布とその周知徹底・活用呼び掛け 	「備えるかわさき」(H18年に全戸配布) 「防災マップ」等の冊子やホームページを用いた市(区)民向け広報・啓発	
4. 避難場所の整備と把握	<ul style="list-style-type: none"> ◇避難所、避難経路を家族で事前確認 ◇ハザードマップ、防災マップを入手(外出時の対応については記述を省略) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇近隣住民と避難経路、避難場所を確認 ◇町内会・自治会ごとに、定期的に(年1回程度など)回覧板等を活用して、避難経路や避難場所を住民に周知 	<ul style="list-style-type: none"> ◆避難所の指定、標識表示の整備 ◆避難所の整備、二次避難所(福祉施設)との協定 		<ul style="list-style-type: none"> ◇一時的な緊急避難場所の提供
5. 避難用具、食料等の備え	<ul style="list-style-type: none"> ◇給水ポイントの把握 ◇非常持ち出し袋の準備 ◇水、食料の確保と使用期限のチェック ◇防災グッズの準備(備えろソク・ハロゲン灯などを含む) ◇人命救助用のバール、ジャッキ等の準備 	<ul style="list-style-type: none"> ◇人命救助用のバール、ジャッキ等の準備と情報共有 ◇共有資材(担架、荷車、手回し充電器など)の備え ◇避難用具や備蓄用食糧について、区内のスーパーや店舗の協力を得てキャンペーンやセールを実施(地域主催) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆備蓄倉庫の設置 ◆避難所の備蓄品の確保交換 ◆災害時応急給水拠点の設置 ◆帰宅困難者に対する支援協定 ◆防災協力事業所の登録 ◇助かる命を守るための資機材(バール、ジャッキ、消火器など)準備のPR ◇避難用具や備蓄用食糧について、区内のスーパーや店舗の協力を得てキャンペーンやセールを実施(区主催または実行委員会方式) 		<ul style="list-style-type: none"> ◇備蓄倉庫の提供 ◇避難用具の提供 ◇水、食料等の提供 ◇防災事業所としての登録 ◇避難用具や備蓄用食糧についてのキャンペーンやセールへの協力
6. その他	<ul style="list-style-type: none"> ◇ブロック塀の倒壊防止対策 ◇メールニュース(ASMなど)受信設定 ◇防災無線の確認(聞こえるか) ◇エレベータ閉じ込め時対策を確認 ◇耐震ベッドの有効性の検証 	<ul style="list-style-type: none"> ◇エレベータ閉じ込め時対策を確認 ◇自主防災組織、避難所運営会議 	<ul style="list-style-type: none"> ◆メールニュースかわさき・ASM(登録制度) ◇防災行政無線等を平時から広報・啓発のために使用(市民の認知と緊急時の確実な使用のため) ◇エレベータ閉じ込め時対策を防災訓練で実施 ◆公共施設の耐震化 ◆防災マニュアルの整備(保育園等) 		<ul style="list-style-type: none"> ※区内事業所特に重機を持った建設会社、商業者(食料品等の提供)、学校(避難先)、病院(負傷者の収容、治療)、農協等の協 →麻生区災害対策連絡協議会を立ち上げ

緊急対応	自助	共助	公助	企業市民の協力
1. 地震発生時の安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ◇飛来落下物のない安全な空間に身を寄せ、からだを守る姿勢をとる ◇揺れがおさまったら火の始末をする ◇出口を確保する ◇倒木、電線に注意 ◇落下物・倒壊から身を守る ◇怪我をした場合は応急措置（緊急治療が必要な場合は病院に移動・搬送） 			
2. 家族等の安否確認、緊急連絡	<ul style="list-style-type: none"> ◇事前に取り決めた方法で家族の安否確認 ◇災害用伝言ダイヤル171の活用 ◇災害用伝言板 web171の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ◇近所の要援護者などの安否を確認 ◇自主防災組織の招集、活動開始 		
3. 要援護者の安否確認、救護等		<ul style="list-style-type: none"> ◇自主防災組織、町内会等による要援護者の安否確認、救護活動等 		◇要援護者の救護への協力
4. 広域避難場所・避難所への緊急避難	<ul style="list-style-type: none"> ◇落下物・倒壊から身を守る ◇耐震性のある住宅なら避難しなくても良い ◇避難所に移動する場合は防寒具、着替え、雨具、食料その他携行品を持って移動 	<ul style="list-style-type: none"> ◇近隣住民と協力し避難確認（可能な限り） ◇避難所への誘導 ◇避難所へ行けない場合、近隣での一時的な避難場所の確保 	◆避難経路の案内	
5. 負傷者、生き埋め者の救助	<ul style="list-style-type: none"> ◇自力での脱出 ◇家族の救出（バール、ジャッキの活用） ◇脱出、救出ができない場合は、大声（携帯電話）で助けを求める。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇近隣住民と協力し救助活動を行う ◇体力のある人を集める ◇バール、ジャッキを持って助けに行く ◇自主防災組織、町内会等による救護活動 	<ul style="list-style-type: none"> ◇全半壊住戸の多い地区を回り、負傷者や下敷きになった住民を救出する。 ◇自衛隊要請 	◇重機の提供等による生き埋め者の救助（建設会社）、医療や薬の提供による負傷者の手当（病院、薬局）等

緊急対応	自助	共助	公助	企業市民の協力
6. 火事発生への対応	<ul style="list-style-type: none"> ◇初期消火を行う（消火器、消火布、風呂の残り湯） ◇状況判断により周辺の助けを求める ◇ガス、電気の断絶・復旧の確認 ◇「投てき型簡易消火用品」の使用 	<ul style="list-style-type: none"> ◇消防団による消火活動、見守り ◇近隣住民と協力し初期消火を行う ◇全半壊した住宅から、ガス漏れ、ストーブ等による出火の危険性があるため地域の見守り点検を行う（地区全員が避難所に避難してしまわない） 	<ul style="list-style-type: none"> ◆出火の危険性の高い地区を警戒し、火災が同時発生した場合、延焼の危険性が高い箇所、人口密集等「重要性」の高い箇所を優先して消火活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇所有する設備や人員等を生かした消火活動への貢献
7. 情報収集	<ul style="list-style-type: none"> ◇自己責任で行動するために必要な情報の収集に努める（主にマスコミ経由） ◇携帯ラジオ（コミュニティFM等） ◇ホームページ（川崎市緊急災害情報、横浜市防災情報、東京都防災HP災害情報、Yahoo!・Google災害情報） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇近隣住民との情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ◆メールニュースかわさき、防災行政無線等による広報 ◇通信回線の復旧 ◇住民や自主防災組織等への情報の提供 	
8. その他	<ul style="list-style-type: none"> ◇安否確認後は、むやみに動かない（帰宅しない、迎えに行かない） ◇行政からの連絡（避難勧告等）やマスコミ情報だけに頼ることなく、各自の判断で行動する（自分の命は自分で守るが基本） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇帰宅困難時の助け合い（乳幼児・障害者・ペットのお世話など。小学校・幼稚園などからの引き取り） ◇コンビニエンスストア、地域のスーパーなどを食料や情報交換の場として活用 		

2. モデル事業の工事実施計画書のサンプル

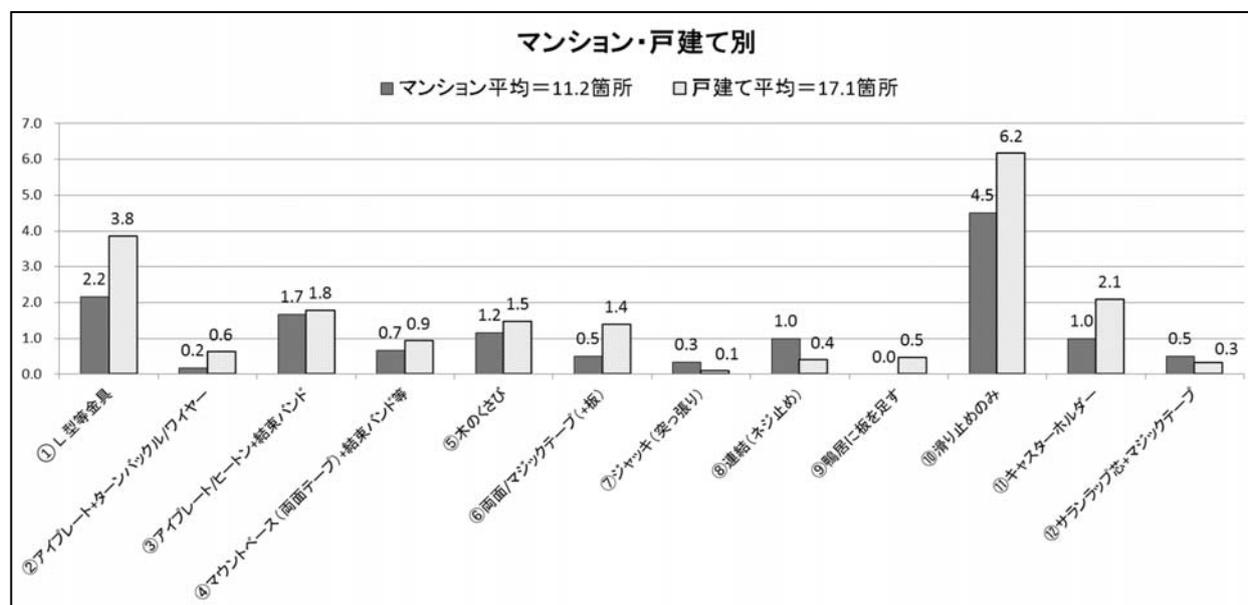
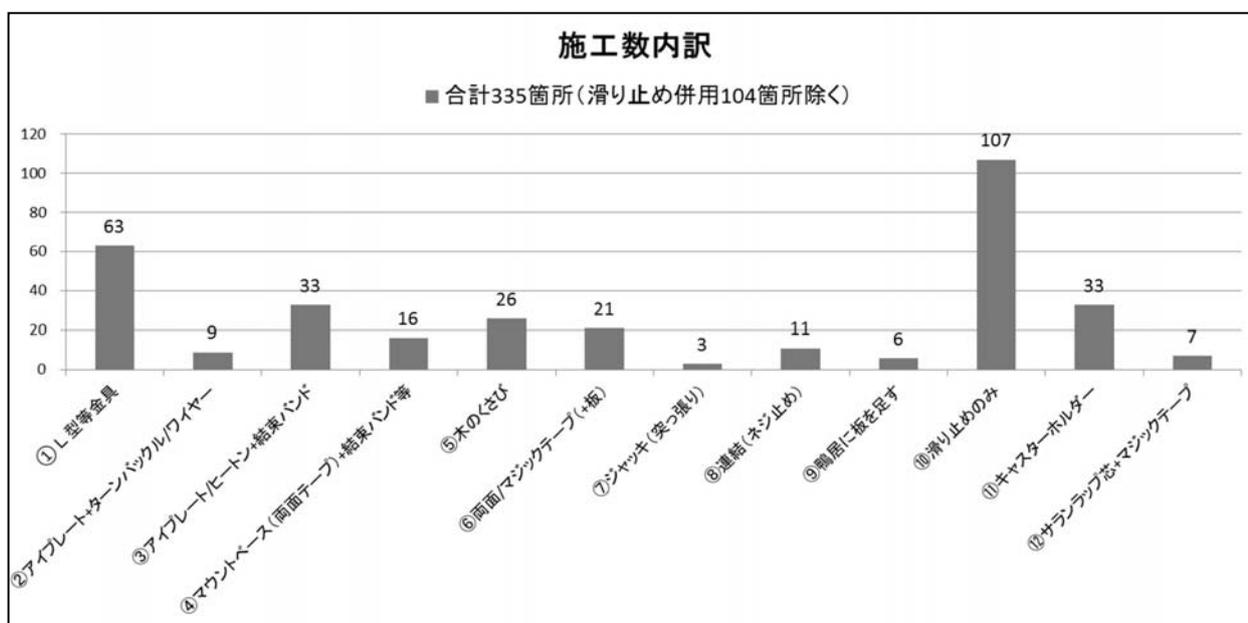
設置場所	家具名	大きさ(mm)※	危険度	選定した施工方法・器具	備考
1階 リビング ダイニング	食器棚	L = 1,200 D = 440 W = 1,960	大	・L字型金具を2箇所 (右から30cm、左端) ・滑り止めシート	現況、突っ張り棒2本を取り付けてあったが、効果不十分。
	ラック	L = 570 D = 450 W = 1,200	中	・L字型金具を2箇所 (うち1箇所は食器棚と結合) ・滑り止めシート	電子レンジ、トースターが置かれており、それぞれ滑り止めシートを提供。
	冷蔵庫	L = 600 D = 700 W = 1,650	大	・背後の壁に板を打ち付け、アイプレート+結束バンドを2箇所 ・両サイドにくさび止め (左は壁、右はラック) ・滑り止めシート	
	アップライトピアノ	L = 1,530 D = 700(鍵盤) W = 1,320	大	・上部を水平にナイロンベルトで縛り、両サイドを壁に取り付けた大型アイプレートに結合 ・滑車止めの下に滑り止めシート	
	CDラック	L = 900 D = 300(足元) W = 1,570	中	・L字型金具を2箇所 (左右両端) ・滑り止めシート	
1階 リビング ダイニング	液晶テレビ	L = D = W =	中	・ラップ芯で壁に固定 (マジックテープ)	
	プリンター台	L = 810 D = 600 W = 760	小	・キャスター止め	
2階 和室	本棚	L = 740 D = 300 W = 1,805	大	・鴨居にL字型金具で2箇所止め ・既存の踏ん張り棒の下に滑り止めシート	本棚の上に天井まで横積みの本を挟んであるが、効果無し。
	カラーボックス (本棚の前)	L = 420 D = 300 W = 890	小	・柱に1箇所(上端)、L字型金具で固定 ・滑り止めシート	
	TV (カラーボックスの上)	L = 460 D = 240(足) W = 330	小	・足の後ろをカラーボックスとクランプで挟み止め ・滑り止めシート	
	本棚2つ	L = 750 D = 200×2 W = 900	大	・上下に重ね(固定されなければ固定措置)、鴨居に2箇所、L字型金具止め ・滑り止めシート	現在、入口近くに置かれているが、一番南に位置を変更。
	カラーボックス (横に2つ)	L = 420 D = 300 W = 880	小	・計3つの家具を合わせて一体化し、両端の柱に一箇所ずつL字型金具止め ・滑り止めシート	
	扉付き本棚	L = 900 D = 350 W = 930			扉にも本が収納可能で、その重さで扉が傾いている。
2階洋室	洋服ダンス	L = 1,200 D = 560 W = 1,800	大	・L字型金具2箇所止め ・滑り止めシート	突っ張り止め棒を使用中。ダンス上の段ボール箱の落下防止用に引き続き使用(ひもで連結)

※大きさ (mm) : D=Depth (奥行き)、W=width (幅)、L=Length (高さ)

3. 工事実施結果の取りまとめ、工事施工写真

モデル事業実施結果

- 1 実施戸数 19戸（マンション6戸、戸建て13戸）
- 2 実施期間 平成25年10月11日～12月21日（プレ実施含む）
- 3 所用時間 1戸あたり2日、3～4時間（事前調査1～1.5時間、工事2～2.5時間）
- 4 参加者 11名（専門技術者3名、明治大学園田教授、明治大学学生1名、区民会議委員6名等）
- 5 施工家具合計 222個
- 6 施工数合計 439箇所（滑り止めの併用104箇所を除いた場合335箇所）
 ※222個の家具のうち、滑り止めと他の施工を併用したものが104個、滑り止めのみが107個
- 7 施工数平均 マンション11.2箇所、戸建て17.1箇所（滑り止めの併用除く）



家具別施工結果

【家具等の種類】

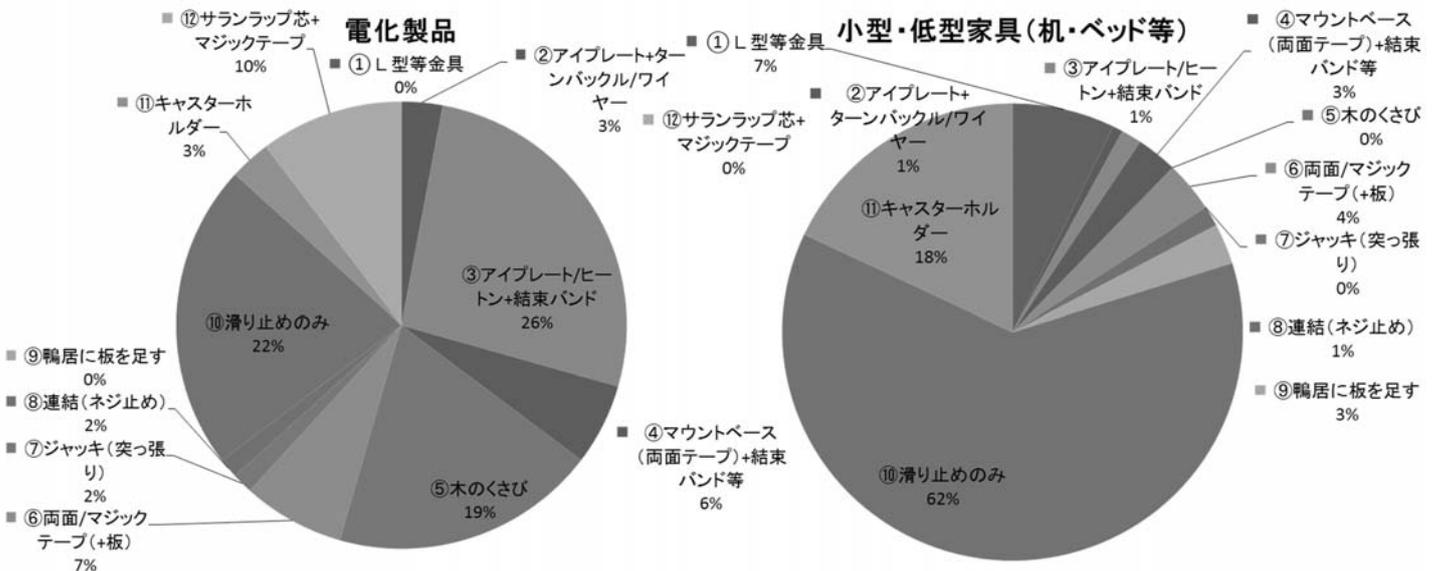
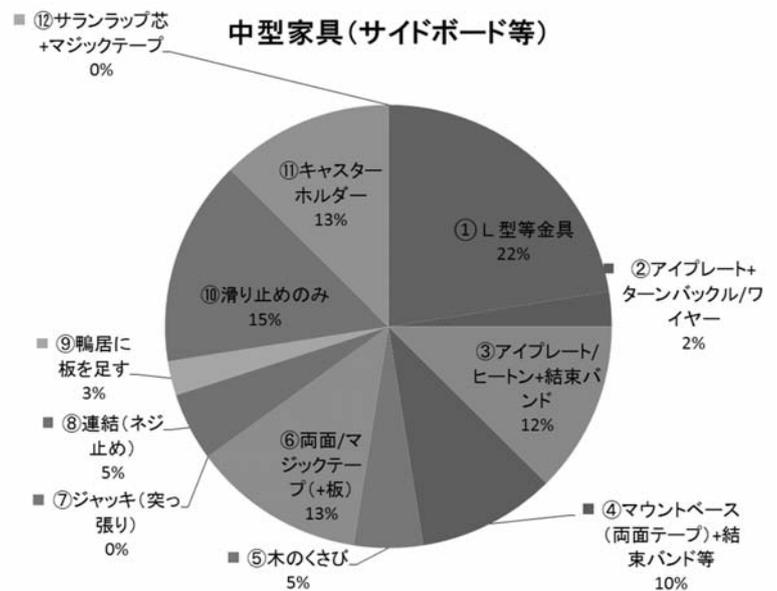
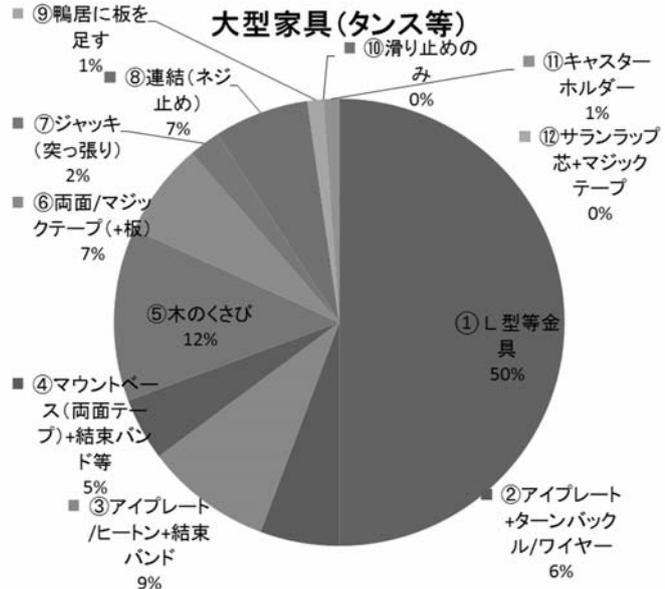
家具等の大きさ・高さにより、大・中・小に分類。高さの目安として

- ・ 150cm以上は大型
- ・ 100～150cmは中型
- ・ 100未満は小型

ベッドは幅、奥行きはあるが小型に分類した。電化製品には、冷蔵庫、テレビ、ピアノなどを含んだ。

【傾向】

1. 大型家具で施工割合が一番大きいのは①L型等金具で50%、②③のアイプレートの使用は15%、①②③合計で65%を占めている。①②③の合計は、中型家具では36%、小型家具では9%と、下がる傾向にあり、家具が大きいほど、①②③のように家屋に金具をネジ止めして固定化する方法をとっている。
2. ⑩滑り止めのみ⑪キャスターホルダーの合計は、大型家具では1%、中型家具では28%、小型家具では80%を占めており、家具が大きい場合は、⑩⑪の簡易な方法での施工はしていない。



危険度別施工結果

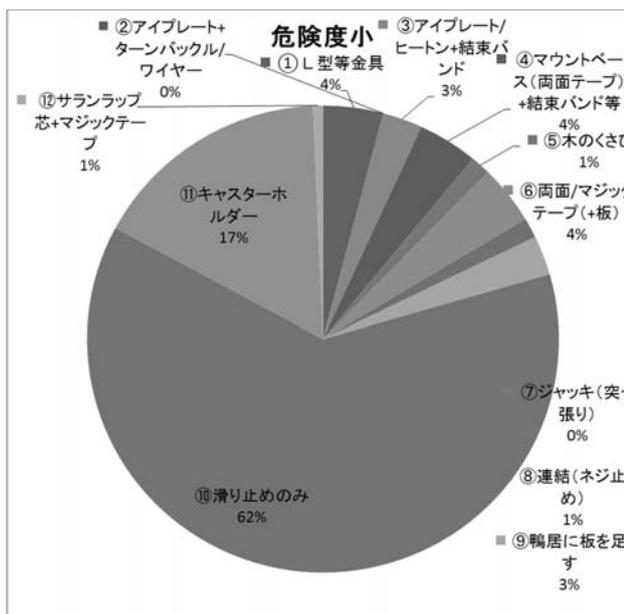
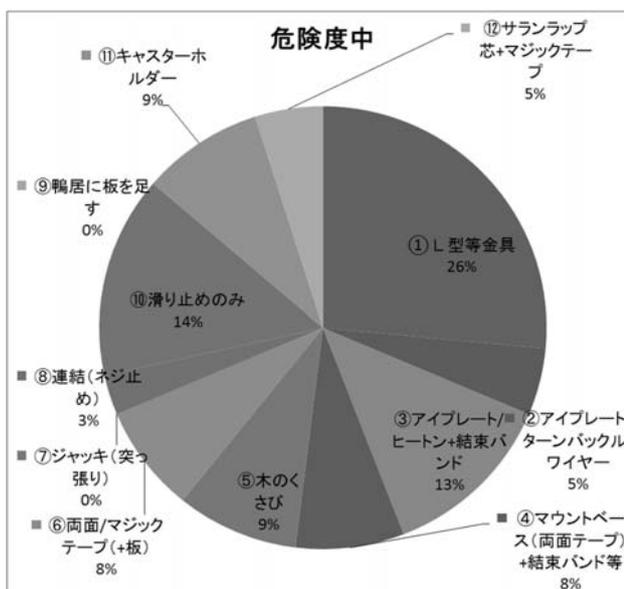
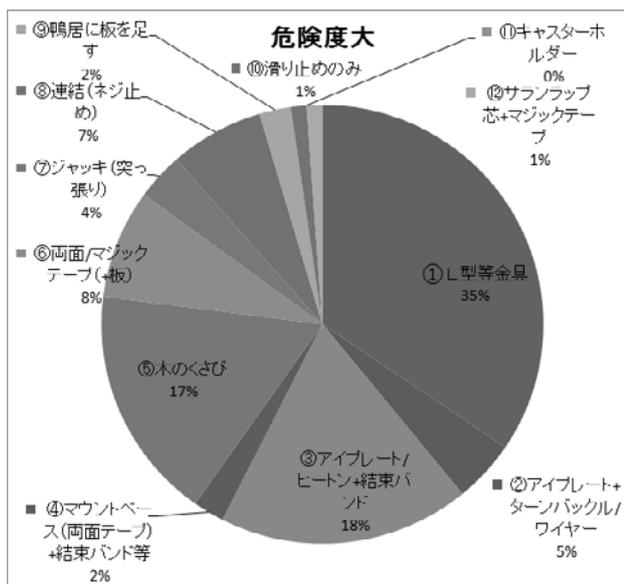
【危険度】

区民会議委員が、個別の家具を以下の観点から評価し、転倒の危険度を「大」「中」「小」に分類した。

1. 家具の大きさ・高さ
2. 部屋の種類（居間、寝室等）
3. 部屋の使用頻度（毎日、子どもが帰省してきたときのみ等）
4. 部屋の中の配置位置（転倒により出入口を塞ぐ可能性等）

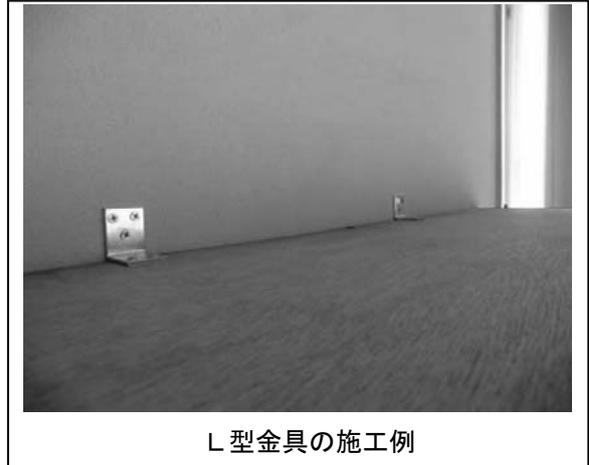
【傾向】

1. 危険度大で施工割合が一番大きいのは①L型等金具で35%、②③のアイプレートの使用は23%、①②③合計で58%を占めている。①②③の合計は、危険度中では44%、危険度小では7%と、下がる傾向にあり、危険度が大きいほど、①②③のように家屋に金具をネジ止めして固定化する方法をとっている。
2. ⑩滑り止めのみ⑪キャスターホルダーの合計は、危険度大では1%、危険度中では23%、危険度小では79%を占めており、危険度が大きい場合は、⑩⑪の簡易な方法での施工はしていない。

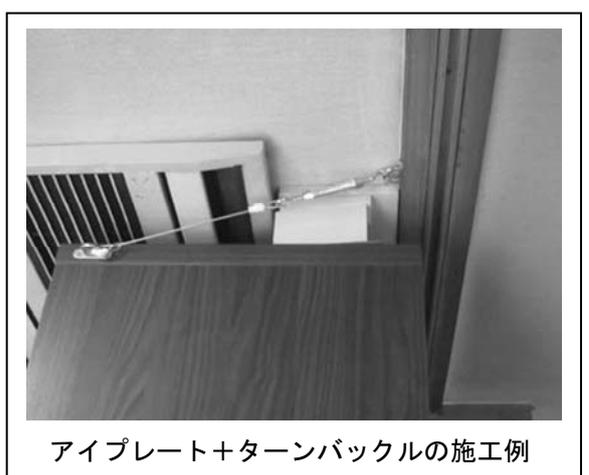


主な施工方法

① L型等金具



② アイプレート+ターンバックル又はワイヤー



③ アイプレート又はヒートン+結束バンド



④マウントベース（両面テープ）+結束バンド等 ⑤木のくさび

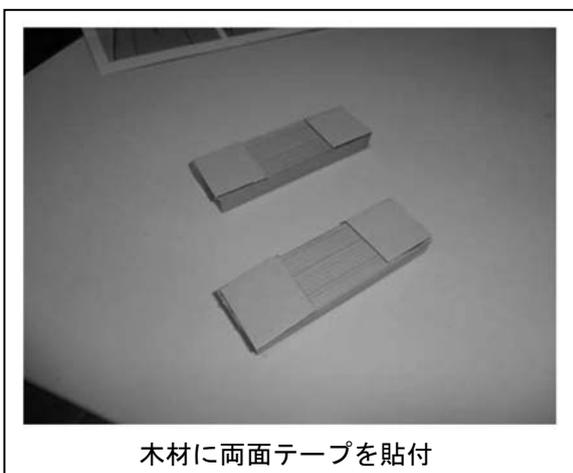


マウントベースを取り付け、結束バンドで繋ぐ

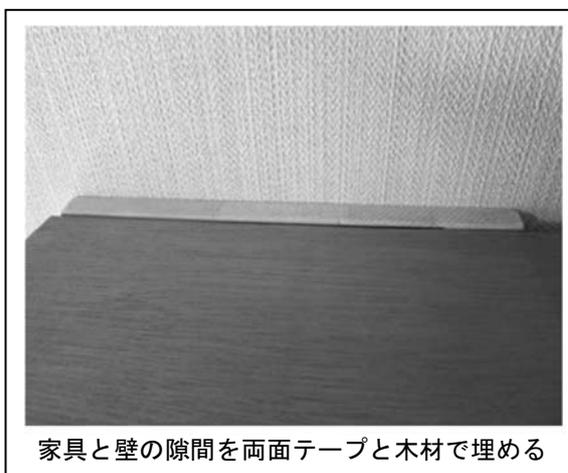


冷蔵庫と壁との隙間を木材で埋める

⑥両面テープ又はマジックテープ+板

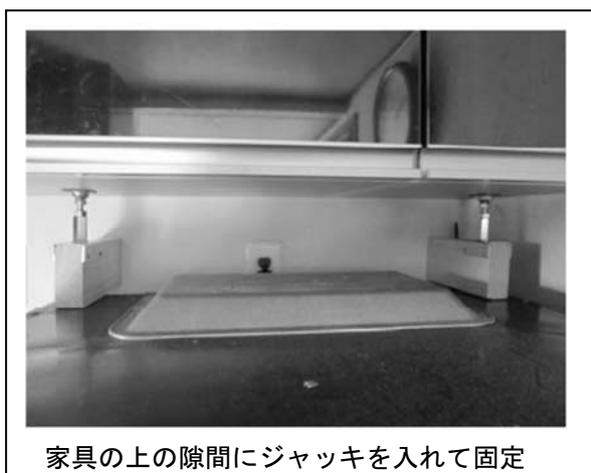


木材に両面テープを貼付



家具と壁の隙間を両面テープと木材で埋める

⑦ジャッキ（突っ張り）



家具の上の隙間にジャッキを入れて固定

⑧連結（ネジ止め）



上下の家具をネジ止め

⑨鴨居に板を足す



鴨居に板を足し、家具が前に転倒しないよう固定

⑩滑り止め



家具下に滑り止めを敷く

⑪キャスターホルダー



キャスターの脚に滑り止め付きのホルダーを設置

⑫サランラップ芯+マジックテープ

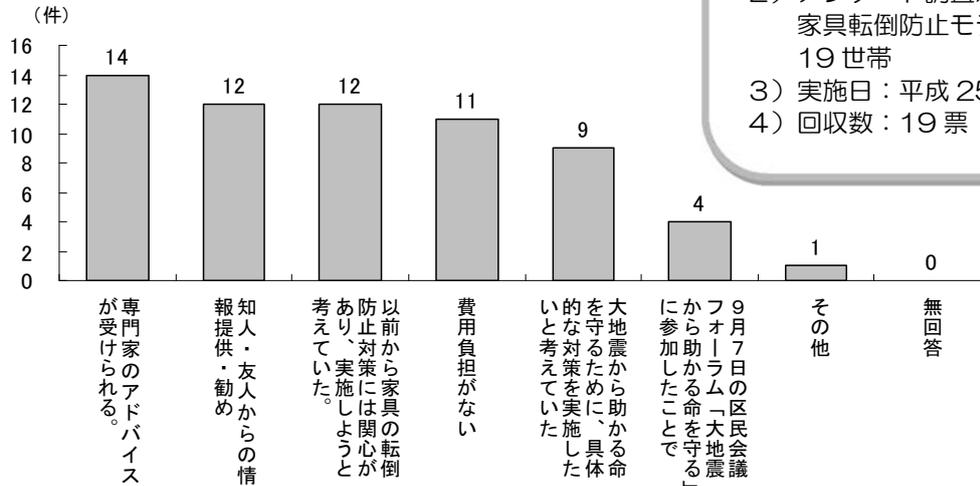


テレビのディスプレイをマジックテープと使用済みラップの芯で壁と固定

4. モデル事業対象世帯へのアンケート結果

1. モデル事業について

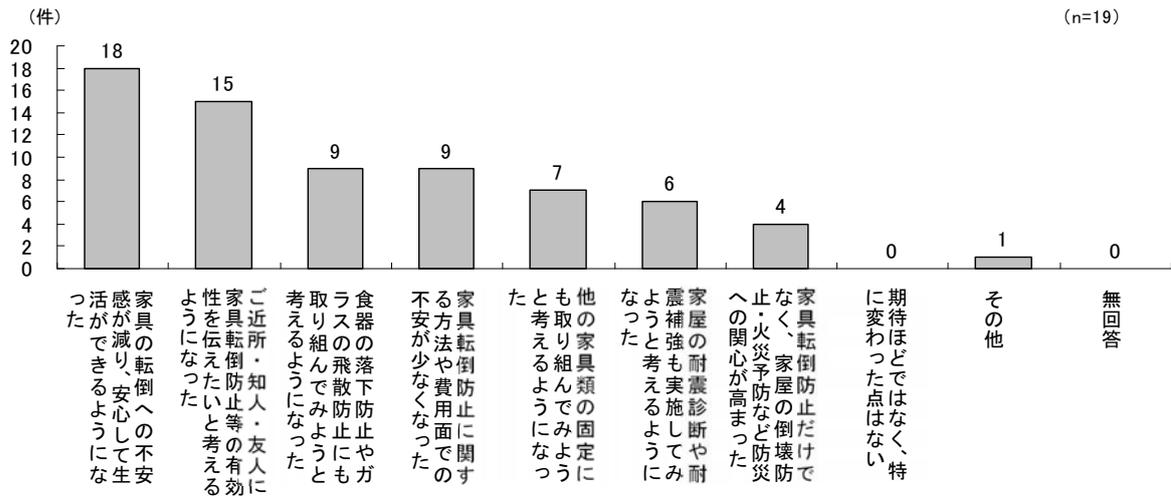
1) モデル事業への応募動機・理由 (問1)



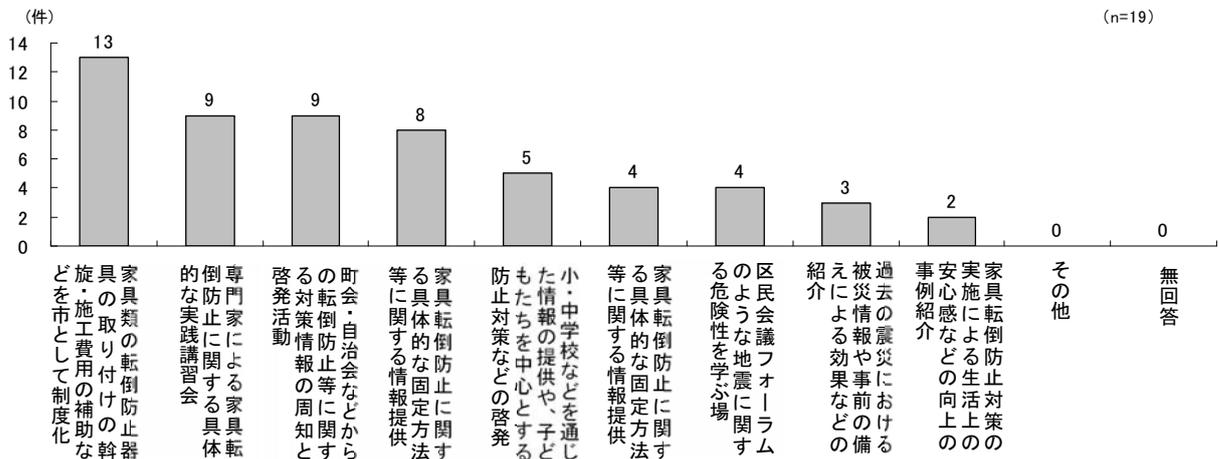
◆調査概要

- 1) モデル事業参加戸数：
戸建て11戸（2世帯住宅2戸）
マンション6戸
- 2) アンケート調査対象世帯：
家具転倒防止モデル事業参加世帯
19世帯
- 3) 実施日：平成25年12月
- 4) 回収数：19票（回収率：100%）

2. モデル事業後の日常生活における変化 (問2)

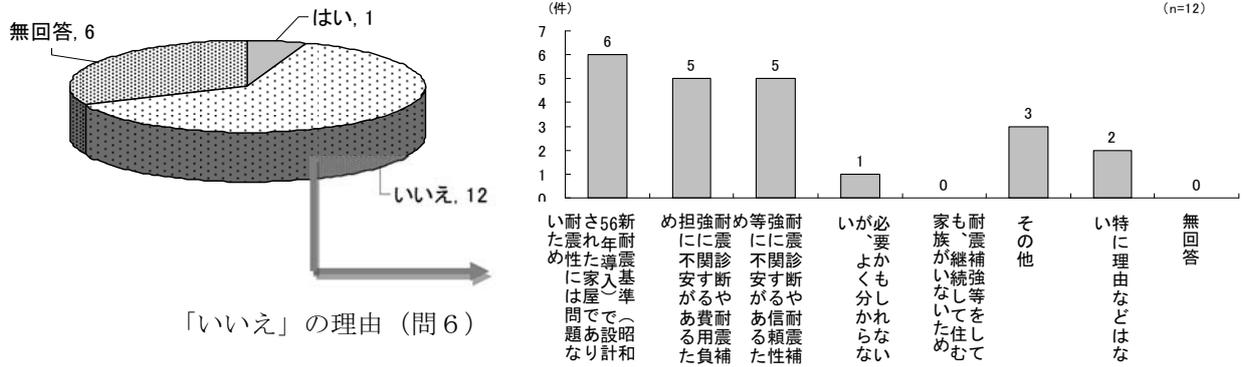


3. 家具転倒防止対策促進に有効な対応策 (問3)

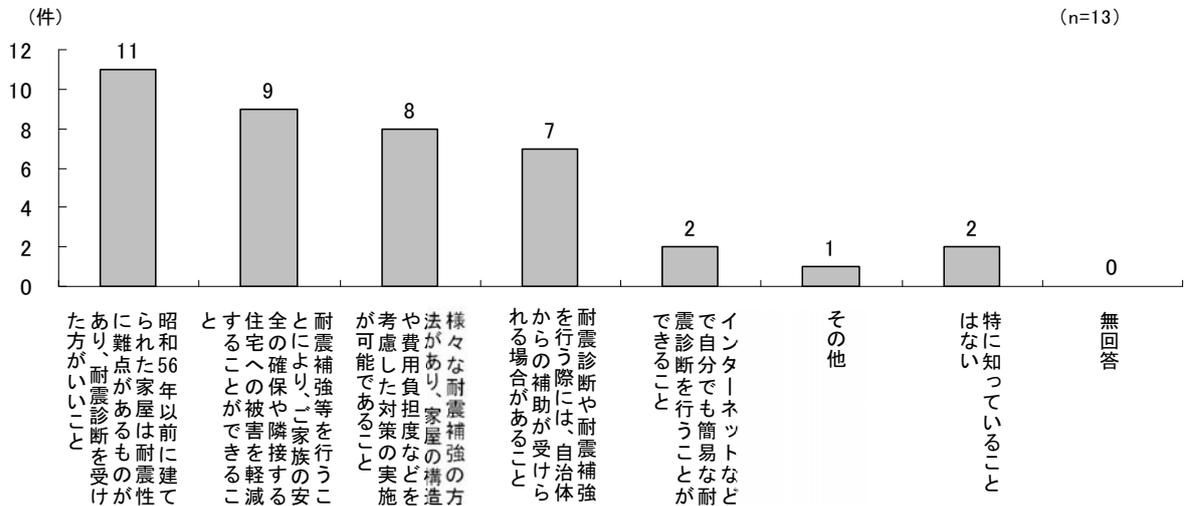


2. 家屋の倒壊防止について

1) 建物の耐震診断・耐震補強の経験の有無 (問5)



2) 家屋の耐震診断・耐震補強について知っていること (問7)

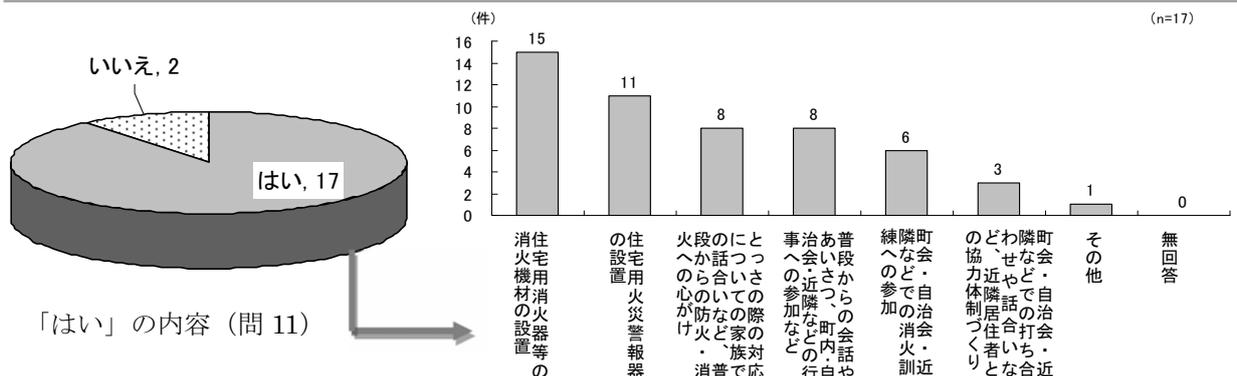


3) 家屋の倒壊防止対策促進のための提案

- 地震体験シミュレーションの活用
- 市民の相談指導グループの設立
- 具体的な対応などの情報の周知徹底
- 安価に信頼のできる診断を受けられる仕組みづくり など
- 家具の転倒防止事業の促進
- モデル事業モニターの事後交流会の開催
- 信頼できる業者の紹介

3. 火災予防について

1) 火災予防への取組の有無 (問10)

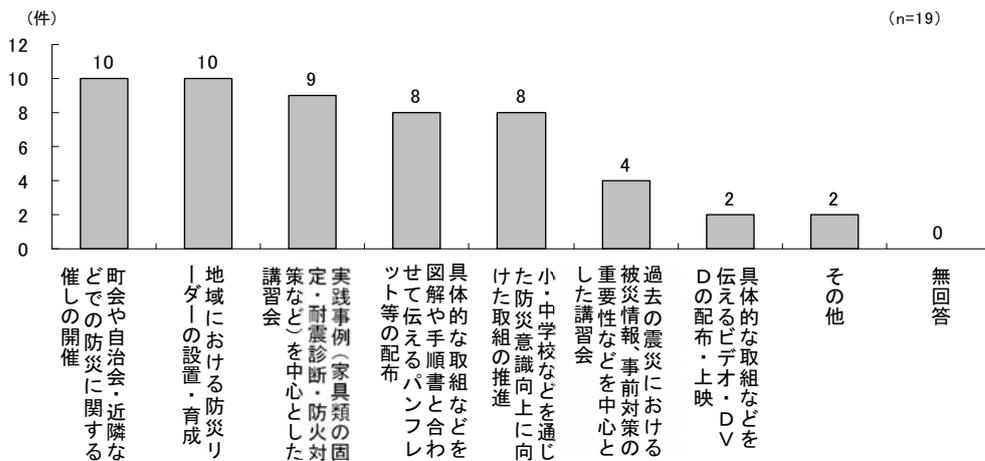


2) 火災予防・火災による人的被害を無くするために良いと思うこと (問 12)

- ・ 消化機材の設置と使用方法の講習
- ・ 火を使わない設備 (IH クッキングヒーターなど)
- ・ 地域のコミュニケーションと防災意識の共有化
- ・ 電気の漏電防止設備
- ・ 火の確認 など

4. 防災対策について

1) 各家庭及び地域における防災対応策推進に必要と思われること (問 13)



2) 防災対策推進のための提案 (問 14)

- ・ 繰り返しの訓練
- ・ 実践或いは体験できるような取組
- ・ 紙媒体での情報提供
- ・ 自治会などで火災などへの備えをシミュレーションする
- ・ 自治会の各班での話し合いと簡単な確認
- ・ 防災委員会の解散と実践的な委員会の設置
- ・ 防災訓練などに炊き出しを取り入れ人と人のつながりを作る
- ・ 小中高生大学生が防災リーダーとして地域を守るボランティア活動者となるような仕組みづくり

5. モデル事業・大地震対策について

- ・ 自由記述の質問に対して 17 件の回答。
- ・ モデル事業に関し、ほとんどの世帯から工事担当者や行政への感謝の言葉が寄せられた。当事業をきっかけに「自主的な備えをやていこうという意識向上につながった」「災害対策の啓蒙活動に協力していきたい」などの前向きな意見も見られた。
- ・ また、「普段の心構え・訓練が大事」との基本となる考えや、「学ぶことの大きな機会」の提供、「一定の補助」「モデル事業のさらなる展開への期待」「今回の取組の広報・周知」などの意見をたくさんいただいた。

5. モデル事業参加者の意見（モデル事業を振り返って）

◆ 活動計画・実施体制について

- ・ 「協力家庭の満足を得ること」「家具転倒防止のための器具、施工方法等のノウハウ習得」については、活動計画・実施体制が適切だったために大変良くできた
- ・ 事業計画については適切な計画が立てられて計画どおりに進み、実施体制についても優秀な人材を得たことが良い結果につながった
- ・ 事前調査と工事実施の2段階で構成される活動計画は軽い負担ではなかったが、無駄あるいは非効率な面は特になく適切なものであった
- ・ 「施工」を受け持っていたいただいた協力支援者の方々が極めて協力的、積極的な姿勢で主体的に取り組んでいただいたことでモデル事業の成功につながった
- ・ 事務局のサポートが充実しており、参加した委員もしっかりと役割を果たしたことを含め、実施体制が非常に充実していた

◆ 事前調査・工事で感じたこと

（モデル事業応募世帯について）

- ・ モデル事業に応募いただいた家庭は、耐震について何らかの準備をしている方、考えている方が多く、ご主人・奥様または双方が耐震に関心があった
- ・ モデル事業対象世帯には共通点がある
- ・ チラシの効果、事前説明会の実施などで、対象世帯はモデル事業に対する理解度が高い
- ・ 家具転倒防止の実施率は、本格的な地震に対応できているかという点からみると低い
- ・ 「何とかしなければと思うがどうしていいかわからない」「家具自体が重いからちょっとやそっとでは動かないだろう」と無理と思い、実施していない
- ・ モデル事業応募世帯は家具転倒防止を中心とする地震対策に関心が高く、すでに何らかの行動を起こしている（対策を講じている）世帯である

（モデル事業実施体制について）

- ・ 調査・工事を担当した協力支援者の人柄も良く、応募いただいた方々の相談に乗り、工夫を凝らし真剣に耐震に取り組んだ

（モデル事業でのノウハウについて）

- ・ 家具や電気製品の固定は思っていた以上にノウハウを必要とするものであった
- ・ 専用バールなどの有用な資機材を知ることができ、工事に使用する道具には我々の知らなかった便利なものが結構多い
- ・ 大型の置時計・ショーケースなど、L字金具で固定したくない物は突っ張り棒や突っ張りジャッキで固定し、見栄えが悪くならないよう壁紙を貼った目隠し板で隠すなど、居住者の方の満足を得るための工夫と努力は素晴らしいものがあつた
- ・ 下地探しや軽量鉄骨の建物への対応、対策実施上で不可避な工事など、プロでなければ判断できないこともある
- ・ 下地探し、家具の持ち上げ、滑り止めシート、コンベックスペース、アイプレート等を上手く使いこなすことも家具転倒防止対策普及のカギである
- ・ 日常生活の使い勝手と家具転倒防止との折り合いのつけ方は、居住者本人と話し合いながら様々な固定方法を組み合わせることで、ほぼどんな場合にも対応できる

- ・単純に「家具等の固定」と言っても、家具や電化製品はご家庭ごとに様々なものがあること、固定先の家屋の（壁、柱、間柱、鴨居等の）構造・材質も個々に異なること、居住者の希望や価値観及びライフステージも個々に異なることなどを踏まえ、丁寧で綿密な「事前調査」は重要かつ必須である
- ・綿密に事前調査を実施して工事計画書を作成しても、工事本番では変更や追加が発生した
- ・居住者側も（ご主人、奥様等）人によって意見や価値観が違い、同じ人でも状況に応じて判断が変化する（揺らぐ）こともあり、最大限尊重しなければならない
- ・事前調査を十分かつ適切に実施する（適切な固定方法の発案、居住者とコミュニケーション、最適な固定方法の決定を誘導）、能力(技術、ノウハウ)の有用性、価値は非常に高い
- ・個々の家屋、個々の家具に関して実施協力者（卓越した技術者、専門家）が提案してくれた固定方法はいずれも力学的・工学的・経済的に妥当で適切なものだが、専門家でない者が同じ判断ができるかは難しい

（他の防災対策との関連について）

- ・家具の固定方法を定めるための判断、使用する固定用具、作業方法などノウハウにのみ参加者の関心が払われていた
- ・小地域コミュニティの親密さやその推進ノウハウ、家具の転倒防止以外の大地震対策（投てき型消火用品の配備など）も重要

◆ 課題

（家具転倒防止対策の効果について）

- ・実施した家具転倒防止対策がどれだけの震度に耐えられるのかが重要

（家具転倒防止対策のPR・広報について）

- ・これから「家具の固定」をいかにPRして定着させるかが重要であり、文書・映像両面で広報することでどれだけ効果があるのかを検証する必要もある
- ・モデル事業の実施効果の整理、結果のPRが大切

（家具転倒防止の促進対策について）

- ・誰のために家具の固定をするのか、明確にすることで効果がある
- ・やろうと思っても踏み切れない一番の理由は家の中を見せる決心がつかないため、そのままいいとして転倒防止対策の実施を呼びかける

（家具転倒防止対策の普及・啓発について）

- ・モデル事業の成果を普及・展開していくためには、「実施体制（技術やノウハウを習得・理解しそれを実践できる人物）」が重要
- ・普及啓発の対象として念頭に置く区民像は、モデル事業応募世帯より地震対策に関心が低い世帯である
- ・特殊なケースを除き、よく使われる家具のオーソドックスな固定方法については「平易な一般的方法」を見極めることができ、普及啓発資料で取り上げていくことが必要
- ・啓発段階では広く一般区民を対象とすることから、そのための資料（パンフレット、映像）や普及啓発方法（説明会、セミナー、出前講座、資料配付等）には工夫が必要
- ・①意識を向ける②関心を持つ③やってみようという姿勢・意識を持つ④わが家ではどうすればよいか考える⑤住まい方や家具の置き場所を見直す⑥具体的な固定方法を選ぶ⑦材料や道具を揃える⑧実際に固定工事を行う⑨安全性を確認する⑩状況の変化に応じて対策を追加実施するといった、何段階ものステップを踏む形での誘導・働き掛けが必要

- ・対象とする段階にふさわしい普及啓発手法を見出さなければならず、意識の醸成と対策実施とは明確に区別して捉えることが重要
- ・区民の自助努力に期待するだけではおそらく十分な普及・実施は期待できないと思われ、普及啓発・実践のための本格的で継続的な活動や体制を整備していくことが望ましい
- ・自主防災組織や町会自治会組織は、家具転倒防止対策の普及・啓発の受け皿になることを期待しており、意識や活動を変えていただくことが必要

(学識経験者との連携について)

- ・園田研究室ともしっかりと係わりが持てれば、別な展開が期待できる
- ・今後の事業評価・見直し・取組提案等において、園田教授にどのように関わっていただくかが重要

(提言内容の取りまとめについて)

- ・提言にどのように盛り込むかの議論が重要であり、今期の部会のやり残し部分を含めて、第5期区民会議での審議を含めた活動にどのようにつなげるかも検討する必要がある
- ・自主防災組織（町内会）にモデル事業結果を如何に見てもらうか、家具転倒防止対策に如何に取り組んでもらうかが重要
- ・確かで親切的な相談窓口が望まれており、窓口の設置を検討することも必要
- ・危険度の大きな工事は業者に依頼し、費用面の概算、中小の工事は自分達でもできる指導・アドバイス、工事計画を提案するアドバイザーの派遣は無償という制度の整備が必要

◆ その他（提案など）

(家具転倒防止対策の促進への取組)

- ・子どもがいる場合は否応なしであり、すぐできたという実例を示せば動く
- ・3段ベッドの固定では子どもにも手伝ってもらい、滑り止めを敷き、緩んだネジをしめてもらい、ベッドの使い方を考えて楽しく施工ができ、工事の本来の姿と思われた
- ・母と子のワークショップなどで模型ではなく、今回採用した危険度の小さい家具転倒・移動防止具を作ってもらするなど、楽しんで広めることも必要

(家具転倒防止対策のPR促進)

- ・家具の固定のノウハウを習得できたので、これを如何に普及していくかが課題であり、具体的には戸建て編、マンション編、基本操作・単位操作編の3本のビデオ撮りを進め、映像として提供していくことだと思う
- ・区民の行動につながる有効な働きかけの方策を具体的に提示することが重要
- ・モデル事業の協力家庭の方々の「安心して暮らせるようになった」といった感想と、小地域コミュニティにおける推進リーダーへの働きかけなどをビデオにして見ていただくことが、動機づけの有効な働きかけになる

(総合的な防災対策の促進について)

- ・モデル事業の家具の固定は使い方の知識を得たことに相当し、その知識・ノウハウを広め、他の防災対策と合わせて戦略的に対策を進めることが不可欠
- ・区民の助かる命を守るのが目標であり、保身的な考え方はせず、役立ちそうな情報・知識をすべて盛り込んで、戦略的思考で命を守るための提言をまとめるべき

6. モデル事業のまとめ

(1) 活動計画について

【評価できる点】

- ①計 19 戸のお宅において、1 戸あたり延べ 3~4 時間で実施し、合計 439 箇所、家具の固定を行った。各戸で共通した固定方法もあれば、家具や配置により特別の配慮をした固定方法もあり、様々な方法のサンプルを集めることができた。
- ②事前調査により作成した工事計画書を工事前に対象世帯が確認する時間ができたため、事前調査に立ち会えなかったご家族の希望を取り入れた計画に変更することができた。また、専門技術者の柔軟な対応により、事前に確認した計画書からの工事実施時の変更・追加が可能となり、対象世帯の満足度の高い工事を実施することができた。
- ③事前調査時に 1 つずつ家具を確認する作業により、対象世帯のご家族自身が個々の家具転倒の危険性を知ることができた。また、掃除のしやすさ、家具を移動させる頻度など、使い勝手（住み易さ）も確認した上で、危険性との折り合いをつけた方法を提案することができた。
- ④普段は使用しない部屋（子どもが独立した後の子ども部屋）の家具の処分や配置変更、対象世帯のご家族に安全な住まい方を考えるきっかけを提供することができた。

【反省点】

- ①当初の予定より実施時期が遅くなったため、事前調査・工事日程が短期間に集中し、協力していた専門技術者に負担をかけた。

各世帯の住まい方に合わせた満足度の高い家具転倒防止工事を実施するためには、事前調査をしっかり行い、工事日程にゆとりを持たせた計画を立てる必要がある。

(2) 実施体制について

【評価できる点】

- ①金具・材料の実物を見せ、家具の状況によっては複数の固定方法を提案したことで、対象世帯が家具固定を主体的に考えることができた。
- ②専門技術者により、対象世帯への丁寧な説明ができた。
- ③今回の固定方法には、一般に知られていない方法や、専門的知識・技術が必要な方法が含まれており、専門技術者の分担により、適切な施工方法が選択できた。

各世帯の住まい方に合わせた満足度の高い家具転倒防止工事を実施するためには、家具固定の知識や技術だけでなく、対象世帯への説明や対話ができる施工者が必要である。

(3) 固定方法について

【評価できる点】

- ①木製家具以外を固定する方法、金具やアイデア商品以外を使った固定方法、専用パールや下地探し器、家具固定に有用な材料など、一般的に知られていない知識を得ることができた。
- ②ホームセンターなどで簡単に安価に手に入る材料で、簡単に実施できる固定方法がある一方で、マンションの躯体壁へのビス打ちなど専門的な器具や技術が必要な方法もあり、工事の難易度に幅があることがわかった。
- ③マンションなど区分所有建物の場合には、工事箇所が専有部分か共有部分かによる取り扱いの違い、管理組合への届出や許可申請など、管理規約等に基づく手続きや制約があることがわかった。

- ④対象世帯に固定方法を提案する際に、丁寧な説明をすることで、どんな震度でも絶対に転倒しないという保証はないことを前提に、納得のいく方法を選択してもらうことができた。

固定方法は、実施しやすいもの・施工の難しいものがあり、多様な方法の中から適当なものを、できれば複数選択することが望ましい。

(4) 対象世帯について

【評価できる点】

- ①事前調査の中で、子どもや孫と同居している、孫が泊まりに来るなど、自分以外の誰かの安全を確保したいと考えることが防災対策への関心を高めることがわかった。
- ②水・食料の備蓄をしたり耐震基準に関する知識があったり、防災対策への関心が高い世帯が多かったが、関心が家具固定の行動に結びついていない状況にあったことがわかった。
- ③アンケートのモデル事業への応募動機の回答のうち「専門家のアドバイスを受けられること」が最も多く、もともと関心が高い場合は、具体的な施工方法を知らせることで行動に結びつく場合が多いことがわかった。

誰かのためと考えることが防災への関心を高め、具体策を提示することで関心が行動に結びつく。

(5) 防災対策推進のための提案(対象世帯アンケートから)について

【評価できる点】

- ①家屋の倒壊防止(耐震診断・耐震補強)について、昭和56年以降の新耐震基準についての知識がある世帯が多く、地震体験シミュレーションの活用など対策推進のための具体的提案をあげられる世帯もあるほど、関心・知識が高かった。
- ②火災予防について、消火器・火災警報器の設置等個人宅での対策は進んでいた。
- ③防災対策について、「町会や自治会・近隣などでの防災に関する催しの開催」「地域における防災リーダーの設置・育成」が必要だとの回答が最も多く、次いで「実践事例を中心とした講習会」や「パンフレット等の配布」「小・中学校での取組」があげられた。

火災予防については個人宅での自助的対策が進んでいる。総合的な防災対策では、地域における互助の取組が求められている。(ただし、もともと防災への関心が高い対象世帯へのアンケート結果であることを考慮する必要あり)

7. 子育てしやすい環境づくりに関するアンケート調査結果

「こどもと一緒にコンサート」でのアンケート結果（平成25年2月） 回答数72件

問1 麻生区の居住理由

- 自然・緑が多い、地域の治安が良い、交通機関が便利、実家が近い、以前から住んでいたが上位5位。
- 買物の利便性、子どもの遊び場、芸術・文化のまち、文化施設、教育への関心等は下位。

【上位5位】

- 第1位：自然・緑が多い（43.1%）
- 第2位：地域の治安が良い（34.7%）
- 第3位：交通機関（バス・鉄道）などが便利（33.3%）
- 第4位：実家が近い（27.8%）
- 第5位：以前から住んでいた（18.1%）

【下位項目】

- 第6位：買物に便利（18.1%）
- 第7位：子どもの遊び場が充実・安心である（11.1%）
- 第8位：芸術・文化のまちだから（8.3%）
- 第9位：文化施設が充実している（6.9%）
- 第10位：教育に関心が高いまちだから（2.8%）
- 第11位：医療機関が充実している（1.4%）
- 第12位：スポーツ・娯楽施設が利用しやすい（0.0%）

問2 麻生区の満足度

- 約8割が「満足」と回答
- 約2割が「満足していない」と回答

・「満足」が18.1%、「どちらかと言えば満足」が58.3%で、計約76.4%が「満足」と回答。
 ・一方、「どちらかと言えば満足していない」「満足していない」がともに9.7%で、計約19.4%が「満足していない」と回答。

問3 子育てで困っていること

- 【上位3位】第1位：保育園がいっぱいで入所できない（33.3%）
- 第2位：いざというときに子供を預かってくれる人がいない（27.6%）
- 同2位：保育料や教育費の経済的負担が大きい（27.6%）



問4-1) 行政に期待すること

【上位5位】

- 第1位：近くで遊べる公園や広場の充実（43.1%）
- 第2位：子どもと遊べるスポーツ・芸術・文化の各施設や活動の充実（41.7%）
- 第3位：保育園の受入定数の拡大（38.9%）
- 第4位：児童手当などの経済的支援の強化（37.5%）
- 第5位：子どもを連れて安全に歩けるよう、交通安全とバリアフリー強化（34.7%）



問4-2) 地域に期待すること

【上位5位】

- 第1位：地域で参加できることも関連イベントや行事の充実（50.0%）
- 第2位：休日に親子で過ごせる場所・活動（44.4%）
- 子どもたちが集まれる場所（44.4%）
- 第4位：気軽に参加できる子育て支援グループ活動（27.8%）
- 第5位：身近な買物環境の充実（25.0%）



【属性】

- 性別：(女性) 70.8% (男性) 26.4%
- 年代：①30歳～39歳：63.9% ②40歳以上：30.6% ③23～29歳：2.8%
- 職業：①専業主婦(主夫)：51.4% ②勤め人(フルタイム)：38.9% ③パートアルバイト：2.8%
- 居住地：①麻生区：97.2% ②麻生区外：0.0%
- 居住年数：①2～5年未満：37.5% ②5～10年未満：31.9% ③11～20年未満：9.7%

8. 子育て支援グループへのヒアリング結果（子育てしやすい環境づくり）

	みなみゆりがおか	にこにこクラブ	こめっこ	市民子育てフリースペース よち・わく・のび	おもちゃのとしよかんもこもこプレイルーム	はとぼっぽ	まとめ			
種別	地域子育て支援センター	自主保育サークル	自主保育サークル	保育園・支援センター・市民館主催あそびの会	ボランティアグループ	子育てサロン				
担当	菅野、金光、山田	山田、高橋(庸)	菅原、金光	山田、菅野	矢野、高橋(庸)	矢野、菅原、東川				
実施日	2013年5月16日	2013年5月24日	2013年5月27日	2013年6月5日	2013年5月31日	2013年6月20日				
	スタッフ	利用者	参加者	スタッフ	スタッフ	スタッフ	利用者			
1. 組織・沿革	<p>●区内唯一の公立の地域子育て支援センター 保育園に併設していない独立型。白山保育園の所属。</p> <p>●4人体制 ・スタッフは常勤1、非常勤2、臨時職員2、の4人体制。 ・0歳から小学校入学前までの子供と保護者が利用できる「屋根のある公園のようなところ」として、利用者同士が子供の成長を喜び合えるよう人との出会いや子育てのヒントを見つめられるような場を提供。</p>	<p>【参加の動機】 ●いろいろな子ども達と触れ合う機会 ・いろいろな子供たちと触れ合う機会がほしかった ●母親の友達づくり ・母親の友達作り ●子どもの生活リズムを作る ・子供の生活リズムを作るため、広い場所で子供を遊ばせたい ●何で知ったか ・区役所の保健師の紹介（赤ちゃん訪問） ・ホームページを見て</p>	<p>●親子の学び、遊び、交流、情報交換 ・子育て親子や時にはボランティアの方の参加を得ての親子の学び、遊び、交流、情報交換の会。 ●黒川、はるひ野、栗木台周辺の親子を中心に15年前よりスタート ・黒川、はるひ野、栗木台周辺で1歳から未就学園児の親子が中心となって、15年前から活動を始めた。 ●役員 ・役員は、会長、副会長、会計、と3つある班の各班の代表3名の計6名体制で運営。</p>	<p>●自主保育 ・公園を拠点として親達が交代で保育し、小さいも大きいも一緒に遊ばせる自由な遊びのスタイルをとっている。 ・入会条件：将来保育園・幼稚園へ入園させないこと。 ・設立：7年前の平成18年 ・活動日時：週4日（月、火、水、金） 10時～4時 ・ちいくれん（地域で子育てを考えよう連絡会）の定例会に出席し、川崎市内の自主保育会同士との情報交換を行う。 ●6名体制 ・世話人：親3人、OB3人</p>	<p>●障がい児を含めた子育てスペース 2001年4月に市の事業として「よちよちっ子」「わくわくっ子」がスタートし、ジャンケンポン有志の会がボランティア協力で関わる。翌2002年に障がいを持つ子供を対象に「のびのびっ子」がスタート。その後実施形態を少しずつ変えつつ現在は川崎市家庭教育推進事業、子育て支援啓発事業として子育てフリースペース「よちわくのび」を開催している。運営ボランティアはメリーゴーランド（主にジャンケンポンのメンバーが主体）</p>	<p>●何で知ったか ・口コミ ・保健所 ・パンフレットを見て ・他の支援施設で知った</p>	<p>●北部地域療育センターで障がいを持つ子供が対象 1981年設立。始めは、北部地域療育センターからの依頼により、障がいの疑いがあり支援を必要とする子供たちに布で作った手作りおもちゃで自由に遊ぶことを原則とした支援活動を開設。 ●8名体制 障がい児の母親を中心に8名のスタッフ（ボランティア）で活動利用者 ●何で知ったか ・療育センターへの通所で ・通園のしおりで ・療育センターの入所説明会で</p>	<p>●子育ておしゃべりサロン 民生委員児童委員協議会の活動の一環としてスタートし、子育て支援部会を中心に活動している ●民生委員8名が担当</p>	<p>【参加の動機】 ・近くで開催されているので参加 ・子供・親同士の交流、楽しみ、遊ばせる ・近所の親子の知り合いをつくる ・遊びが毎回違って楽しめる ・先生がパネルシアター、体操等色々な催しをしてくれる ●何で知ったか ・回覧板 ・保健所からもらった案内 ・ホームページ ・インターネット ・地区内の掲示板 ・近所だったので ●他の支援グループへの参加 ・参加している（片平子育て支援センター、栗平子育てサークルくりっこ（自主グループ）、くりんくりんクラブ）</p>	
2. 活動内容	<p>●遊びの場の提供 安全に遊べるように子供の年代別の部屋を設置、衛生面に配慮など ●学びあいの場の提供 母親同士の情報交換や遊びの手助け ●相談や話し合いの場の提供 母親の悩み相談など ●情報の提供 各子育て支援センター・保育園の園庭開放・子育て支援講座の情報など</p>	<p>【保育状況】 自宅で保育3人 認可保育に来月から通園 1人 週2～3回保育園に通園中 1人</p>	<p>●川崎市黒川青年野外活動センターにて(月3回) ・活動の場は、川崎市黒川青年野外活動センターの室内またはグラウンドの屋外 ・毎週金曜、月3回以内 10:30-11:30</p>	<p>●子どもの自主性を尊重したあそび・そだち ・子ども達が遊びたいように遊び、親たちはそれを見守るのみ。しかし、公園内で自由にやりたいように遊ばせるには必ず危険が伴うので、生命に危険が及ばないように環境の整備が大切である。 ●親育て・親子のつながり ・親同士が日々の小さな喜びや感動を共有し、子どものけがや失敗をハラハラ、ドキドキしながら、実は親自身がしっかりと育てられていく。自主保育を通じて「安心」を育む親子の繋がりが出来る。</p>	<p>●よちよちっ子:0～1歳の子供と保護者 第1・2水曜 ●わくわくっ子:1～3歳の子供と保護者 第3水曜 ●のびのびっ子:0～3歳のハンディキャップのある子供と保護者 第4水曜、いずれも10時～12時</p>	<p>【保育状況】 ・幼稚園に入るまで自宅で保育がほとんど 産休中は1名</p>	<p>●布の手作りおもちゃを通して遊ぶ子供たちの見守り 月5～6回程度。大人は教えたり指導したりせず見守る。母親の相談や子育ての情報交換の場となる。人形劇の定期開催が好評。 ※現在、もこもこプレイルームと療育センターの関係は研修室の借用のみ</p>	<p>●情報交換や友達づくりの場を提供 0～3歳までの乳幼児と保護者が参加して情報交換や友達づくりの場を提供している。 ●保育士の指導の下、体操や手遊び等 ●子供服の交換会も行う</p>	<p>【保育状況】 ・自宅で保育 ・幼稚園まで自宅で保育 ・自宅で保育中だが10月保育園に入れる ・保育園入所待機 ・幼稚園まで一時保育と考えている</p>	<p>(子ども) ●遊び・学びの場の提供 ●友達をつくる ●集団行動ができるようになる (母親) ●母親同士の情報交換の場の提供 ●母親の子育て相談 ●子育て情報の提供</p>
3. 参加規模	<p>●多い日で50組、少ない日で20組程度 ・参加者は多い日で50組、少ない日で20組程度。毎日来る固定メンバーもいるが、新規参加者も多い ・0～1歳児と母親が多い。地域性から幼稚園待ちの専業主婦が多い。（多摩区では育児休業中の人が多いとの話し）</p>	<p>【日頃感じていること】 ●夫の協力的感謝 夫が協力してくれるので感謝している。 ●預ける場所などが少なく不安 ・自分の具合が悪くなった時に不安。2人目を作りたいが近くに親戚がいなくて不安。 ・1～2時間だけ子供を預けたい時がある（自分の通院など） ●子どもへの向き合い方 子供の成長に応じた向き合い方に悩む。</p>	<p>●全体で24組＝親子48名 全体で24組＝親子48名を規模として（登録）活動しているが、常時参加メンバーは、12～15組（24～30名程度）。 ●比較的時間にゆとりのある専業主婦が多い</p>	<p>●現在は3組 ・スタート時は5組だった現在は3組。 ・原則自由参加で、子連れで公園に来て参加される親子もいる。</p>	<p>●通常20組程度 ・通常20組ぐらいの参加がある。 ・幼稚園までの自宅保育者が多い（産休中の方も） ・ボランティアメンバーは37人の登録があり、1回4～5人で対応している。 ・将来子育てを終えた母親が、今後はボランティアスタッフとして参加してもらえることを期待している。</p>	<p>●平均14～15名 北部地域療育センターに通園している子供たちの人数によって参加人数が変動するが、平均14～15名。</p>	<p>●平均70～80名、多い日は100名以上 参加者は増加しつつあり、親子で平均70～80名、多い日は100名以上の時もあり、少なくとも60名近く</p>	<p>【参加規模】 ●多くて50組、その他3～24組程度</p> <p>【子育てで日頃感じていること】 ●夫の協力的感謝 ●いざというときやたまに預ける場所がなく不安 ●子育てで情報が錯綜していて、何が正しいのかわからず不安になる。 ●兄弟姉妹で同じ保育園に入れるか不安 ●親同士の交流がない ●子供と二人で過ごしている時の閉塞感</p>		
4. 力点(取り組みの特徴・効果)	<p>●保育園に入っていない利用者へのイベント検討 保育園に入っていない（入らない、入れない）利用者が何を提供できるか…定例イベント以外にも新たなイベント等を企画・実施していく ●保育士・母親同士の交流で、不安が払拭され、安心できる ⇒今はインターネットなど情報が簡単に手に入ることで、逆に母親は「育児とはこうでなければいけないのになぜ自分ではできないのか」と自分や子供を責める人が多い。保育士や保育園の母親との交流をもち、他人の意見、育児の仕方を聞くことで、安心できる、肩の力がぬける。 ●子育て力支援＝子どもの健やかな成長 気持ちよく子育てできるように『子育て力』（知識、自信）を持てるよう支援することで、それが子供の健やかな成長につながる。</p>	<p>●友達をつくること・集団行動ができるようになること・遊びをすること ・子どもの年齢やセンターの自然環境などを考慮して、子どもの成長に応じた活動をしている。例えば「お友達をつくること」「集団行動ができるようになること」 ・絵本読み聞かせ、絵の具遊び、リトミック体操、ゲーム遊び等</p>	<p>●友達をつくること・集団行動ができるようになること・遊びをすること ・子どもの年齢やセンターの自然環境などを考慮して、子どもの成長に応じた活動をしている。例えば「お友達をつくること」「集団行動ができるようになること」 ・絵本読み聞かせ、絵の具遊び、リトミック体操、ゲーム遊び等</p>	<p>●情報交換・子どもの遊びにより安心する 保育の不安のある方も、ここで子を遊ばせ、情報交換することで安心して帰られる。 ●自主性・行動力・想像力を育てる 「園舎もない、カリキュラムもない、先生のいない」ないないづくしで、子どもたちが好きなように遊ぶ姿を見守ることで、子どもたちの自主性、行動力、想像力を育む事が出来る。 ●色々な子どもと接することで、わが子への気負いがなくなる 親が色々な子と直接信頼関係を築く事が出来、わが子育てに対する余計な気負いがなくなり、親子関係も健康な距離がとれるようになる。 ●親同士が真の仲間となりストレスも発散 一人ひとりが責任を持って考え、話し合い、行動していくので、腹を割った会話が出来、真の意味での仲間になっていく事が出来、それがまたストレス発散にもなっている。</p>	<p>●基本的に見守るのみ ●母親同士の情報交換 束縛せず、自由に話してもらい、母親同士がお互いに情報交換する。 ●子育ての悩み解決 また、経験者やボランティアスタッフの助言を得て子育ての悩みを解決し自分を取り戻すきっかけとなれるような場になればよい。 ●市民館という場所が集まりやすい 市民館という場所柄、図書館、区役所に来たついでで買い物婦り等に寄りやすくなる人が集まりやすい。また、保健所等の公的機関と連携し、街の病院情報や専門的知識を得やすく、口コミの拠点にもなっている。</p>	<p>【日頃感じていること】 ●子育て関連情報が錯綜しており不安 子育てに関する様々なことが改まったり情報が錯綜したりして日々変化していると感じる。何が正しいのか、何をすればいいのかを考えてしまう。そういった不安や悩みをこのフリースペースが解きほぐしてくれる。 ●兄弟姉妹で同じ保育園に入れるか不安 産休中であるが、来春産休明けに保育園を希望しているが、上の子が入所している保育園に入ることが難しく、どうなるか不安である。</p>	<p>●子供の成長が親の成長に 子供のさやかな成長と共に喜びを分かち合うことで親もまた成長する ●親の気持ちを楽しませる ●障がいをもつ子供を支援する体制づくり ●訓練ではなく子供が楽しめる遊び場 昔は子供の障害に対して、子育ては訓練が主であった。何とか子供の楽しい遊び場を作りたいとの親の思いがおもちゃとしよかん発足のきっかけになった</p>	<p>●保育園との関わりを大事に 白鳥保育園との関わりにより参加者全員が同じことを行うという満足感、安心感の要因になっているので、大事にしたい</p>	<p>【日頃感じていること】 ・親たちとの交流がない ・二人きりで過ごしている時の閉塞感 ・家事の間の子どもの相手 ・言うことを聞かない時イライラしてしまう ・緊急時の預け先がない ●家族(父親など)は子育てに協力してもらえているか ●母親がいろいろな子どもと接することで、子育てへの自信になる ●親同士が真の仲間となり、ストレス発散となっている ●市民館 ●見守りが基本 ●市民館は立地が良い ●経験者やボランティアスタッフによる悩み解決がある ●ボランティアグループ ●子供の成長の喜びを分かち合い親も成長 ●障がいを持つ子供でも訓練でなく楽しい遊び場にする ●子育てサロン ●保育園との関わりが参加者の満足感、安心感に</p>	

	みなみゆりがおか	にこにこクラブ	こめっこ	市民子育てフリースペース よち・わく・のび	おもちゃのとしよかんもこグループ	はとぼっぼ	まとめ	
種別	地域子育て支援センター	自主保育サークル	自主保育サークル	保育園・支援センター・市民館主催あそびの会	ボランティアグループ	子育てサロン		
担当	菅野、金光、山田	山田、高橋(庸)	菅原、金光	山田、菅野	矢野、高橋(庸)	矢野、菅原、東川		
実施日	2013年5月16日	2013年5月24日	2013年5月27日	2013年6月5日	2013年5月31日	2013年6月20日		
	スタッフ	利用者	参加者	スタッフ	利用者	スタッフ	利用者	
5. 課題・展望	<p>●人手不足</p> <p>地域の人や通っている人のボランティア協力も得られているけれども、利用者に丁寧に関わっていくには人手が不足している</p> <p>●踏み込んだ支援</p> <p>場を提供するだけでなく、もう一歩入り込んで、子育て中の親と子を支援したい</p>	<p>【地域・施設・行政などへの意見】</p> <p>●施設には大変お世話になっている)</p> <ul style="list-style-type: none"> この施設には本当にお世話になっている。子供が行きたいとよく言う 地域子育て支援センターが充実しているとお助かる <p>●場所が遠いので、駅前設置やバス送迎を</p> <p>子供を預ける場所が少ないし遠いので駅前があったり、バスの送迎がほしい</p> <p>●気軽に子育て相談できる場所が必要</p> <p>この施設のように気軽に子育ての相談できる場所は必要</p> <p>●室内で土日祝も空いている施設があれば</p> <p>この施設のように室内で遊べて土日祝も開いている施設がもっとあれば…</p>	<p>●運営困難</p> <ul style="list-style-type: none"> 班長（リーダー）になると責任が重く、保育専任者を呼ぶと楽 活動の負担で辞める母親もいる 自主保育サークルは場所が定まらず疲れる 施設が狭いので気が休まらない 常時ボランティアスタッフいて欲しい <p>●子育てと仕事の両立</p> <ul style="list-style-type: none"> 仕事をしたいが、子どもを預ける人・場所がない 子どもを出産しても仕事をやめなくてもよい社会の仕組みづくり <p>●子育てにおける地域差</p> <ul style="list-style-type: none"> 距離・教育内容から近隣の幼稚園に入れている親もいる（はるひ野） 新百合ヶ丘から離れると子育てで条件厳しくなる 麻生図書館は遠く、近隣市図書館は貸し出し冊数少ない 	<p>●プレーパーク作りのための法整備</p> <p>プレーパークを作りたい。それをするには法整備が必要である。</p> <p>●人材(プレーリーダー)の確保</p> <p>子供の思いを発信でき、場の環境整備が出来て、地域の住民とコミュニケーションのとれる人材 プレーリーダーが欲しい。</p> <p>●行政との協働</p> <p>自主保育する上でもっと行政と協働できればいい。</p> <p>●情報誌作成時の親の参加</p> <p>麻生区には育児・医療に関する情報が網羅された小冊子の編集には若い親を入れて欲しい。</p> <p>●公園があまり利用されていない⇒活性化</p> <p>公園があまり利用されていない。多くの親が来る公園にするにはどうすれば良いか。公園の活性化を。</p>	<p>●運営主体がコロコロ代わるため、事業の継続性が不安</p> <p>スタートしてから事業が市民提案事業、川崎市家庭教育推進協議会主催事業、子育て支援実行委員会主催事業、川崎市教育委員会推進事業と主催がコロコロ変わってきた。運営スタッフ側からすれば事業が今後も継続されていくのか不安がある。</p> <p>●ボランティアスタッフのつながりが心配</p> <p>また、ボランティアスタッフとして参加してもらえない人が今後とも繋がっていくのか心配している。</p> <p>●母親同士の情報交換が落ちつく</p> <p>同じ悩みをもつ母親同士で情報が得られ、落ち着く。</p> <p>●もう少し回数を増やしてほしい</p> <p>できればもう少し開催回数を増やしてほしい。(現状2回/月)</p>	<p>●早期支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がいの多様化や、障がいを持つ子供が増えており、早くから指導・支援が必要になっている <p>●療育センターの民営化</p> <ul style="list-style-type: none"> 療育センターの民営化の話がでており不安 <p>●父親の関心はまだ弱い</p> <p>イクメン(父親)の参加が増えてきてはいるがまだまだ関心</p> <p>●活動場所がない</p> <p>ボランティア活動の意欲はあっても場所がなく、部屋を借りるにはお金がかかる</p>	<p>●会場が狭い</p> <p>会場の関係で親の悩み相談をあまり受けられない</p> <p>参加者が増え100名以上になると会場が狭くなる。親の悩みや相談をあまり受けられないのが残念。</p> <p>●民生委員、児童委員として各関係機関に繋ぐパイプ役ができるようにしたい。</p> <p>●親同士が友達を作り子育て環境の充実に</p> <ul style="list-style-type: none"> 親同士で話し合う機会を作ってもらい、友達ができることにより子育て環境の充実を図ってほしい 	<p>【地域・施設・行政などへの意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域で気軽に子供を預かってくれる仕組み 街中で気軽に親同士が集まって共同で保育ができる場所 パパの育児が気軽にできる方法の呼びかけ 栗平地区に保育士さんが常駐して毎日のように行ける支援センターがほしい ママが利用できるカフェなどがあるといい <p>●保育活動における人手・人材不足</p> <ul style="list-style-type: none"> 活動における人材不足 ⇒人材は保育専門など、保育の知識のある人。 ○地域子育て支援センター：より丁寧にいかかわるには人材不足 ○子育てサロン：参加者が100名以上になると相談を受けきれない ○自主保育サークル：責任重いの ○プレーパーク作りのためのリーダー必要 ●サービス時間の延長、回数増 室内で遊べて土日祝も空いている施設がもっとあると良い。 ●子育て支援の情報が少ない ⇒情報誌作成時の親の参加 ●幼稚園・図書館は居住区によっては場所が不便 居住区域によっては、施設が遠く不便なところがある（はるひ野など） ⇒駅前設置や送迎バスなどできないか ●預ける場所がなくて不安 2世帯住宅等でないと、いざという時等に預けられず不安 ●子育てと仕事が両立できる仕組みづくり ●イクメンの関心が弱い ●気軽に親同士が集まる場所の設置
6. 拒否ケース	なし(誰でも受け入れる)					なし(誰でも受け入れる)	<p>《自主保育サークル》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●公園の遊具が少なく、あまり利用されていない <p>公園に遊具少ない。また、幼児と母親だけで過ごす適当な場所が少ない。</p>	
7. その他		<p>【他地域での子育ての経験】</p> <p>●駐車場の有る支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> (長野県)車が停められる支援センターが川崎にもあるといい <p>●公園・児童館充実</p> <ul style="list-style-type: none"> (埼玉県所沢市)子供が遊べる公園や児童館、図書館が充実している <p>●麻生区は安心して散歩でき、緑も多く子育てしやすい</p> <ul style="list-style-type: none"> (東京都港区)車通りが多かったので麻生区は比較的安心して散歩できる。緑も多く子育てしやすい 	<p>●みなみゆりがおかが羨ましい</p> <ul style="list-style-type: none"> みなみゆりがおかは、室内で教材を管理できたり、遊ばせてくれるスタッフがいたので羨ましい。 サークルでは、都度片付け・掃除をして返却するため負担が大きい。 <p>●子育てサロン、子育て交流広場、遊びの会がひとつになった子育てサークルが欲しい</p> <p>●広い施設が欲しい</p> <p>●公園に遊具が少ない/母子だけで過ごす適当な場所が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園に遊具が少ない、幼児と母親だけで過ごす適当な場所が少ない。ぶらぶらと歩くしかない。 <p>●子育て支援の情報が少ない</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットで調べているが、幼児を抱えていると制約があり、気軽に早く情報がもらえる仕組みはないか。 				<p>【他地域での子育ての経験】</p> <ul style="list-style-type: none"> 多摩支援センター広々として充実していた 埼玉県春日部市子連れで外出しやすい施設作りを市民とともに進めていた 大阪府堺市1歳6か月健診でカルスタット検査(虫歯菌検査)、3歳で視力検査がありよかった 山形県上山市実家の近くにある子育て支援センターは土日も開いている <p>●行政との協働</p> <p>自主保育サークルでは、行政との協働ができると良い。</p> <p>●プレーパークづくりのための法制度整備</p> <p>●場所が定まらず疲れる</p> <p>《市民子育てフリースペース》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●活動運営の安定化 市民子育てフリースペース <p>《ボランティアグループ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ボランティア活動をしたいが場所がない 	

9. 芸術・文化関連団体へのヒアリング結果（芸術・文化のまちづくり）

団体名 種別 担当 実施日	芸術団体		芸術教育機関				市民演奏団体			市民文化団体	まとめ
	日本オペラ振興会 音楽(歌劇)	劇団民藝 演劇	日本映画大学 映画	昭和音楽大学 音楽	玉川大学 芸術	和光大学	ゆりがおか児童合唱団 音楽	麻生フィルハーモニー 音楽	麻生合唱団 音楽	麻生文化協会 文化全般	
	菅原、山田、石井 2013年5月22日	菅原、菅野 2013年5月8日	東川、金光、武濤 2013年5月20日	菅原、石井 2013年5月29日	山田、矢野、武濤 2013年5月17日	菅原、菅野、高橋(庸) 2013年6月18日	菅野、高橋(庸)、武濤 2013年5月19日	金光、高橋(庸)、石井 2013年5月26日	菅原、石井、東川 2013年6月8日	金光、矢野、武濤 2013年5月23日	
1. しんゆり・芸術のまち推進の ためのアイデア(第3期提言 への意見)	全体	●新百合ヶ丘は素晴らしい文化環境 ・この地域の人々は文化に理解が深い人が多く、今のところ問題を感じていない	●アートセンターが中核機能としての役割を果たす ・アートセンターが活性化すると地域の芸術文化の活性化につながる		●麻生区は新しいまちで、「行くところより、帰るところ」というイメージ ●芸術・文化のまちは広範囲でイメージがとらえにくい。 ・テーマを絞ったブランディング、小田急等を活用した広報展開					●「芸術のまち」としてまだまとまりに欠けている	●「芸術のまち」としてのまとまりにはまだかけるといえる ⇒新百合ヶ丘は素晴らしい文化環境 ●麻生区は「行くところより帰るところ」というイメージ ●芸術文化はテーマが広すぎる。テーマを絞ったブランディングが有効か ●文化に理解の深い人が多い
	①文化担当官の設置	●文化芸術専門コンシェルジュ機能 ・文化・芸術などのPRを専門的にやってもらえる人が必要	●情報を取りまとめて広く発信する機能が重要	●麻生市民館の社会教育主事の機能の復活が近道ではないか	●行政ではなくボランティアが文化担当官を担ったほうがよい ・例えば21ホールにあるNPOカワサキアーツを活用し、練習場の情報管理などを行う	●支える人達の組織化、ネーミング、巻きこみが大切 ・「見える化」のために必要だが、それを支える人達の組織化、ネーミング、巻きこみが大切	●行政に芸術・文化を積極的に先導していく人材を置く必要がある			●文化担当官や(仮)麻生文化会議の設置は重要 ・担当官や文化会議を中心とした仕組みが出来る ●支える人達の組織化、ネーミング、巻き込みが必要 ●文化担当官を行政が担う、ボランティアが担うというそれぞれの意見があった	●以前の「社会教育主事機能」の復活が近道 ●文化芸術専門コンシェルジュ機能が必要 ●支える人達の組織化、ネーミング、巻き込みが必要 ●文化担当官を行政が担う、ボランティアが担うというそれぞれの意見があった
	②麻生文化会議の設置	●音楽団体同士が集まって協力関係ができると良い ・文化団体にとっては芸術団体のレベルの高い公演やワークショップ、指導を受ければレベルアップになる。団体にしてみれば集客につながる。	●分野別に団体間のつながりから始めてみてはどうか	●既存組織の活用で実現できるのでは 相互協力：しんゆり・芸術のまちづくりフォーラム 情報発信：NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり			●団体間をつなげる工夫と若者の参加が大事			●団体間のつながりをもつための会議を設置 ・現在の活動に満足している人も多く、他団体とのタイアップは難しい。横の連携としての会議は必要	●分野別団体間のつながりからはじめる ●アートセンターが中核機能としての役割を果たす ●既存組織の活用で実現できる ●音楽団体どうしの協力関係
③情報発信・活性化(景観条例見直し)	●規制に基づいた綺麗なポスター、のぼりであればもう少し広報できれば	●「芸術・文化」の雰囲気を感じられるよう、新百合ヶ丘駅からアートセンターまでを結ぶ ・道程にのぼり旗を立てるなど、アートセンターに足を運ぶ道すじをつくる必要がある。		●公共性や芸術的観点から広報イベントを選定し、広報物を掲示できるように ・何でも掲示してよいというわけではない。 ●駅からアートセンターまでの道路にのぼり旗を立てて公演の広報を	●大胆な「まちづくり」の発想が必要 市や区による大胆な発想に基づく「まちづくり」の視点が必要(例：相模原市「ユニコムプラザ」)	●小田急線駅内の広報を利用する必要がある	●住民への浸透については、駅や駅周辺の賑わいづくりが必要 ・小田急線との協力による駅構内掲示、電車発着音を皆が知る音楽に ・ペDESTリアンデッキで常時何か(演奏や絵の展示など)を行えると良い。提言は支持できる。	●小田急線沿線駅構内にポスターが貼れると良い	●新百合ヶ丘北口は大いに改築する必要がある 広告の仕方として、のぼり旗方式よりもヨーロッパのような芸術的な表現が良い	●特に駅北側の賑わい・情報提供について向上を望む	●大胆なまちづくりの発想が必要 ●駅～駅周辺～アートセンターなど芸術文化の雰囲気が感じられる工夫が必要 ●規制に基づきイベントを選定し綺麗なポスター、のぼりで広報 ●駅北側の賑わい・情報発信 ●小田急線沿線駅構内の広報
2. 若者や子供など多くの市民が楽しめる芸術・文化のまちづくり	●夏休みの子ども向け鑑賞教室、ワークショップは可能 ●音楽家、芸術家の住みやすいまちが出来る 例：アメリカテネシー州は、3,000のレコーディングスタジオのお店があり、音楽家が数多く集まっている。	●稽古場の開放 ・地域の人達が日常的に足を運んで来やすい場をつくれないう検討中 ●若者は忙しき金銭的にも余裕がない。 ●昔関心のあった人達をもう一度ファンにする。 ●会員制にして、観客を育てる ・会員制にすることで興味のなかったものも見てもらえるように ●若者が「いつか戻ってきたいと思えるまち」づくりが必要 ・若者が外に出ていくのはやむを得ない。いつか戻ってきたいと思えるまちに	●若者が自主的に参加する仕掛けが必要 ・新百合映画祭は、①ジュニア映画ワークショップ、②パリアフリー上映、③野外上映会の3本柱が認知され、市民映画祭として20年近くの歴史を築いてきた。 ・アルテリッカ(しんゆり芸術祭)は、若者が参加し楽しめる企画が少ない。企画に若者の発想を取り入れる必要。 ・NPOしんゆり・芸術のまちづくりが行ってきた大学生インターンシップや、新都心まちづくり財団とNPOしんゆり・芸術のまちづくりが協働でスタートさせたTMOなどの大学生を巻き込んだ活動は参考となる	●子ども版アルテリッカやワークショップの開催 ・夏休みにアルテリッカ子ども版を開催したい ・麻生文化協会が実施する子ども向けワークショップに協力する	●多様な人々の力を結集 ・さまざまな立場の人々、世代を超えた人々が集結することで生まれるパワーを活かす ●住みたいまちのイメージ ・小学生等を対象に「住みたいまち」のイメージを絵にして貰い展示 ●小中高生を巻き込み「しんゆりアートマップづくり」 例：町田市町内会フラッグアートづくり ●ボランティアや協力者のネーミングも重要 例：富良野演劇工場 ALの会 ●長期的視点による計画をもとに、若い人たちが主導の取組みを見つけて後押しする	●区民・大学生の育成 ・大学生がしんゆりに関わってほしいと思える活動の場をつくりたい ・区民や学生が参加できるワークショップを計画しつながりをもち、人も育てる ●思いをもった発信 文化・芸術は内向きになりがちなので、思いをもって外に発信する姿勢が問われている	●地域で心癒される機会(企画)を増やす ・家を空けづらい人や都心まで出るのが億劫な高齢者などが地元で心癒される機会を増やして欲しい ●駅周辺で「いつも何か」行われている状態を目指す ・既存ワンコインコンサートや区役所ミニコンサートを増やし、駅周辺で「いつも何か」行われているようにしたい ●ジャンルを超えた企画 ・日本映画大学・昭和音大のコラボなど ●麻生音楽祭に軽音楽を加える 中高生の参加が増える可能性がある	●中学生、高校生を招待しているが、引率の先生が必要となるためなかなか難しい ●町内会単位で招待することは可能	●渋谷、原宿などの良いところを取り入れて若者にとっての魅力をつくる	●区民に対する情報発信を行い、参加を促している ●児童・若者を対象とした取組みは既に行っている ・伝統的な遊びや踊りに関して指導者が小学校に行き指導している ・夏休み親子教室には、毎年小学生親子約600名参加 ・本年度、初めての試みとして、和光大学等の学生ボランティアに手伝って貰う予定	●音楽家、芸術家の住みやすいまちづくり ●地域で心癒される機会(企画)を増やす ●若者が自主的に参加する仕掛けが必要 ●若者が「いつか戻ってきたいと思えるまち」づくりが必要 ●駅周辺で「いつも何か」行われている状態を目指す ●日本映画大学・昭和音大のコラボなど、ジャンルを超えた企画 ●麻生音楽祭に軽音楽を加えれば中高生の参加が増える可能性あり ●皆が聴き合う工夫が必要 ●子供たちの組み込みは重要 ●夏休みにアルテリッカ子供版を開催 ●渋谷、原宿などの良いところを取り入れる
	●ワンランク上の文化事業をしていくには文化事業の予算化が必要 ・文化、芸術活動は基本的に黒字を出すことが難しい。	●ふれあいカードシステムの利便性の向上	●ひとつの駅を拠点として、音楽大学と映画大学が存在することの素晴らしい可能性をもっと認識する必要がある ・大学を活用した芸術のまちづくりについて行政のグランドビジョンをつくるため、区民は議員とも連携し働きかけるべき ●区内、市内の枠で考えると広がらない。国際化、グローバル化がキーワードとなる ・戦略的思考を持ったプロデューサーが必要	●市・区役所と力を合わせて芸術のまちづくりに協力したい	●単発イベントは非効率 ・イベントを単発で実施するのはエネルギーの分散。住民が孤軍奮闘するだけでは「高齢化」「エネルギー、資金、協力者などの減少」という問題は避けて通れない。 ●オリジナリティある戦略 ・市や区がより積極的に、国の政策や方向性の流れに合致しつつ、オリジナリティを持った戦略を立てて、活動を支援していくことが大切。	●行政が旗振り役となり「まちづくり」に力を発揮してほしい ●アートセンターの役割を「文化・芸術のまち」の運営まで広げてはどうか ・実際には市が管理・運営しており麻生区独自に検討ができない。改めるか工夫していくべきではないか。	●練習場所等の確保・充実 ・麻生市民館の継続利用団体への便宜と老朽化による建て替えを ・練習場所の確保・情報発信の仕組み ●情報発信の工夫 ・非営利目的の公演は広報誌に掲載してほしい ・新百合ヶ丘南側でのチラシ設置、情報発信の仕掛けづくり	●音楽の街「あさお」を標榜しているには、練習場所が少ない 現在、区内幼稚園や稲城市や横浜市等の音楽ホールを借りて練習している。 ●500席程度の音楽ホールがあるとありがたい 横浜市各区文化会館などでは、リハーサル室、練習室が併設されている	●「芸術のまち麻生」を標榜するのであれば目標(ゴール)を期待したい 例えば北口駅前に広場機能、市民館に防音ホール・練習場、地下鉄延長など総合的な再開発に期待 ●市民館の機材や設備を充実してほしい ●練習場所を探るのが大変である 区内幼稚園を借りているが、行事で使用できない時には他市・区で練習場所を探している	●練習・活動場所の確保 苦労している団体が多いと聞く。改善が望まれる。	●活動団体の練習場所の確保 ●音楽ホールの整備 ●麻生市民館の老朽化による建て替え・設備の充実 ●麻生市民館の継続利用団体への便宜 ●音楽大学と映画大学双方が存在する素晴らしいまちを築く ●区のためのアートセンターの役割 ●国、市の施策の方向性を踏まえつつ、区のオリジナリティの創出 ●「芸術のまち麻生」が目指す目標に期待 ●国際化、グローバル化がキーワード ●行政の予算付け
3. 活動上の問題点、川崎市や麻生区への要望など											

10. 行政へのヒアリング結果（芸術・文化のまちづくり）

担当 実施日		区役所地域振興課 武瀬、石井 2013年7月3日	麻生市民館 菅原、武瀬、菅野、高橋(庸) 2013年7月5日	川崎市文化財団 菅原、石井 2013年7月9日	市役所市民文化室 菅原、石井、山田、金光、武瀬、東川 2013年8月1日	まとめ
1. しんゆり・芸術のまち推進のためのアイデア (第3期提言への意見)	①文化担当官の設置	●過去一時的に（平成20～22年度）「しんゆり・芸術のまち担当」が置かれていたが、NPO法人しんゆり芸術のまちづくりが発足したことにより現在は区役所に担当は置かれていない ●担当部署を再度設置することは難しいが、別の形で役割を担える方法を検討したい	●芸術文化施設・団体が多数活動しており、市民館だけでは把握しきれないので、文化担当官の役割は必要 ●行政におくよりも柔軟に動ける民間のほうが良いのではないか ●柔らかなネーミングに変えた方がよいのではないか	●過去にしんゆり芸術担当が置かれた様に、区の特徴のある政策課題として文化担当官となるセクションを検討されるべき ●民間で考えると、市の文化大使のように、区の文化大使を置くのはどうか	●区の特徴に応じて力を入れている施策に人員配置する仕組みが過去にはあった。同じような動きがあれば区の特徴に応じた配置が可能となるかもしれない。 ●地域に根差した取り組みを長く続けるためには地域が担うほうがよいのではないか	●区の特徴のある政策課題として、行政に文化担当官のセクションを検討すべき（文化財団） ⇨ 担当部署の再度の設置は難しい（地域振興課） ●市の文化大使のように、区の文化大使を置く
	②麻生文化会議の設置	●NPO法人しんゆり芸術のまちづくり、しんゆり芸術のまちづくりフォーラム等が役割を担えないか検討中 ●アートセンター、市民館、NPOを含め、ネットワークの窓口は一つにこだわらず、各団体にメリットがある形で議論を進めたい	●ネットワーク作りについては地域振興課の協議を見守りたい ●多くの施設・機関のネットワーク作りは必要	●アルテリッカ、音楽祭、映画祭等の各サポーター同士がゆるやかに交流する場としてはどうか ●フェイスブックやツイッターなどウェブを活用したネットワーク会議として、情報収集・発信する ●情報をまとめる事務局を担うための予算とマンパワーの確保が必要	●芸術のまちづくりフォーラムやNPOしんゆり芸術のまちづくりの見直しの中で、うまく仕組みができるのと、文化担当官の設置を併せて情報発信・収集ができるのではないかと	●NPO法人しんゆり芸術のまちづくり、しんゆり芸術のまちフォーラム等が役割を担えないか ●アルテリッカ、音楽祭、映画祭等の各サポーターの交流の場 ●ウェブを活用したネットワーク会議として、情報収集・発信する
	③情報発信・活性化(景観条例見直し)	●所管局（まちづくり局）の動向を見ながら、地域振興課としてできることを行っていきたい	●景観条例によるきれいな街並みは大切にしていきたい ●にぎわいと線の引きが難しいところである	●規制は守りながら、アートセンター通りにのぼりの設置や駅コンコースにポスターの掲示をしてはどうか		●規制は守りながら、にぎわいを作ることも必要 ●景観条例による街並みも大切に
2. 「しんゆり・芸術のまち」の今後の展開、施策の方向性について	●「しんゆり・芸術のまちづくり」推進組織のあり方と今後の連携体制を検討中 ●しんゆり芸術のまちづくりフォーラムや、アルテリッカ、アートセンター等の今後の展開について市民文化室とも協議する	●芸術文化を愛する区民を醸成・育成していくことが大切 ●音楽祭、文化祭、サークル祭など既存の事業・活動を継続していく ●成果の発表の機会が少ない団体にも機会を提供できる事業を展開していく	●新百合だけでなく区全体で、年間を通して区民が参加する芸術のまちであり続けることが必要 ●区内の多くの文化資源を活用して年間を通じて文化の薫りあふれるまちにしていく	●市の実行計画では第1期でアートセンターを整備、第2期でアルテリッカ芸術祭を立ち上げ、第3期でアルテリッカのエリアを多摩区、宮前区へ拡充してきた。26年度からの第4期では広がったアルテリッカを他の施設と連携するなどさらに活用していく	●しんゆりだけでなく区全体で、年間を通して区民が参加でき、多くの文化資源を活用して文化の薫りあふれるまちづくり ●芸術文化を愛する区民を醸成・育成していくことが大切 ●音楽祭、文化祭など既存の事業・活動の継続実施 ●アルテリッカを他の施設と連携するなどさらに活用していく	
3. 若者が住みたく魅力ある芸術・文化のまちづくりについて	●麻生区は環境が良いというイメージを若い人は持っている、更に芸術・文化が盛んなイメージを持って頂くことが大事 ●NPOのインターンシップに学生が参加し、子ども支援室のワークショップやマタニティコンサートなどを行っている ●今後はソーシャルメディアなども活用し、地元の学生などの参加を促す	●小学生、中高生、40代の男性など幅広い年代の区民を育てていくことが大切 ●アニメ・漫画など10～20代の新鮮な芸術文化も必要	●区内の多くの大学に上記文化会議の1グループとして参加してもらおう ●アートセンターで玉川大学、桐光学園など大学生、高校生により演劇制作を行う	●区と協定を結ぶ6大学との連携による取組ができるのではないかと	●区内の多くの大学・高校から学生に演劇制作など芸術文化に参加してもらい、そのアイデアを活かす ●若い人にとって麻生区は環境が良いイメージがあり、さらに芸術・文化が盛んなイメージを作り出す ●麻生文化会議など団体間のネットワークに大学にも参加してもらおう	
4. 芸術・文化関連団体へのヒアリング結果に関する意見	●市民館の建て替え、練習場所の確保はすぐの対応は難しい ●アートセンターを拠点に、練習場の情報を含めた芸術・文化関連情報集約及び発信を行いたい	●市民館の建て替えについては、市全体として施設を60年間使用していくという長寿命化の方針がある。改修については2年先まで予約がはいっている状況もあり、長期的計画をたてて実施していく	●市民館、21ホールなどの会議室を防音工事し練習場所を確保 ●アートセンターのシネマニュースに区の文化情報を掲載してもらおう ●市政だより区版で文化情報の定期的発信を	●文化事業の予算化 ●音楽のまちとしてミュージアムに重点的に経費をかけている。大きな施策の転換により流れが変わることはある ●練習場所について ●市民館等の施設は改修しながら長期的に使用していく方針。インフラ整備は経費がかかるので一朝一夕にはいかない ●ふれあいカード ●施設の特徴に合わせて導入されており、利用できない施設、できる施設がある	●練習場所の確保の問題は、施設建設・改修などの設備投資は簡単にはいかない ⇒ 市民館など施設改修の際に会議室の防音工事など ●市としては市民館などの施設は改修しながら長期的に使用していく方針 ●民間施設などの練習場所の情報の集約・発信が必要 ●アートセンターのシネマニュースや市政だより区版による情報発信を	

第1回

テーマは「子育てするなら麻生区で」

あさお

安心 楽しい 助かる

子育てフェスタ

もっと楽しく子育てを、子どもも大人も笑顔になって！就学前のお子さんが
楽しめて、子育てにがんばる親御さんが心安らげるひとときを♪



(C) やなせたかし/アンパンマン製作委員会 2003

4/13(日)

10:30~15:00

会場 麻生区役所 小田急線新百合ヶ丘駅北口より徒歩2分

- ◆和光大学が「みんなで歌うパネルシアター」や「フラックライトシアター」を開催
- ◆「それいけ！アンパンマン ルビーの願い」上映会
- ◆昭和音楽大学ミニコンサートで本格派に触れる
- ◆子ども用品フリーマーケット（雨天中止）
- ◆子育て情報コーナー

レストランあさおではお子様向けのフェスタ特別メニューを提供します

※区役所駐車場は、台数に限りがあります。
ご来庁の際は、公共交通機関をご利用ください。

他にも催しがいっぱい！
裏面をご覧ください

主催 麻生区区民会議

お問合せ 麻生区役所企画課 TEL 044-965-5112/FAX 044-965-5200

あさお子育てフェスタ催し案内

《保健所予防接種ホール》

- 昭和音楽大学のミニコンサート 第1回 10:40~11:10、第2回 12:00~12:30
本格的な音楽に触れて、子どもも大人も楽しく心安らぐひとときを
- みんなで楽しくうたっておどってゴーゴー！ 第1回 11:20~11:50、第2回 14:20~14:50
動物のぬいぐるみたちと一緒に、うたっておどってみんなで盛り上がりよう！
- 人形劇「虫たちのファンタジー」 13:30~14:00
音楽に合わせて人形たちが楽しく動きます

《区役所前広場》 10:30~15:00

- 子ども用品フリーマーケット(雨天中止)
- 自然素材を使った工作

《第1会議室》

- 和光大学の「みんなで歌うパネルシアター & フラックライトシアター」 12:40~13:30
みんなで一緒に歌いながら参加するパネルシアターと部屋を暗くして光る幻想的なフラックライトシアターをお楽しみください
- 親子でバルーン遊び 11:30~11:50
部屋いっぱいの巨大バルーンを使ってみんなで楽しく動き回ります
- 親子で歌おう(英語の歌やわらべうたなど) 10:30~11:20
- リトミック 14:00~14:20
- 手遊びうた 音楽に合わせて遊ぼう！ 14:30~15:00

《第3会議室》

- 【第1部】 10:30~13:00
 - グルグル動き回るおもちゃ工作
 - によろによろへびを作ろう！
 - でんでんだいこ作り
 - 簡単手づくり工作ワークショップ
- 【第2部】 13:30~15:00
 - 走る車づくり・紙粘土の家づくり

《第2会議室》



(C)やなせたかし
アンパンマン製作
委員会 2003

映画「それいけ！アンパンマン
ルビーの願い」

第1回 11:10~12:00、第2回 13:40~14:30

各回当日先着 70人

《第4会議室》

フリースペース& 10:30~
子育て相談コーナー 15:00

おもちゃとしょかんの珍しい楽しいおも
ちゃに触って自由に遊べます。また、子
育ての悩みなどについて簡単なアドバイ
スや相談のコーナーもあります。

《第5会議室》

絵本コーナー&おはなし会

10:30~15:00

どんな本を読んであげようかな~。
先輩ママが、絵本を揃えて待っています。
ほっとするひとときをマットの上で絵本
とともにどうぞ。

レストランあさお

お子さま向けメニューなど子育てフェスタ特別メニ
ューを提供します

会場でアンケートにお答えいただいた方先着 300人に
アンパンマンシールをプレゼント！！

※催し内容・時間は変更する場合があります。
区ホームページに最新情報を随時掲載します。

あさ子育てフェスタ 催しタイムスケジュール



会場	内容 ※【 】は実施団体	10:30	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00
第1会議室	親子で歌おう(英語の歌やわらべうたなど) 【エデュケアルームベリーグッズ】	10:30~11:20					
	親子でバルーン遊び 【白鳥保育園】		11:30~11:50				
	みんなで歌うパネルシアター & ブラックライトシアター 【和光大学】			12:40~13:30			
	リトミック 【はるひ野保育園】					14:00~14:20	
	手遊びうた 音楽に合わせて遊ぼう! 【風の谷幼稚園】						14:30~15:00
第2会議室	アンパンマン映画上映会『それいけ! アンパンマン ルビーの願い』		[1回目] 11:10~12:00			[2回目] 13:40~14:30	
第3会議室	グルグル動き回るおもちゃ工作 【健康いきがいづくり教室】	10:30~13:00					
	によるよるへびをつくろう! 【地域子育て支援センターおかがみ】	10:30~13:00					
	簡単手づくり工作 【エデュケアルームベリーグッズ】	10:30~13:00					
	手作り玩具作り 【五月台ルミナス保育園】	10:30~13:00					
	走る車づくり・紙粘土の家づくり 【風の谷幼稚園】					13:30~15:00	
第4会議室	フリースペース&情報相談コーナー 【にこりんおもちゃ図書館、はるひ野保育園、あさおオモチャ図書館、知ろう小児医療守ろう子ども達の会、じゃんけんぼん】	10:30~15:00					
第5会議室	絵本コーナー & おはなし会 【おはなしたまてばこ】	10:30~15:00					
予防接種ホール	昭和音楽大学ミニコンサート 【昭和音楽大学】	[1回目] 10:40~11:10		[2回目] 12:00~12:30			
	みんなで楽しくたっておどってゴゴゴ! 【アルテリッカボランティア】		[1回目] 11:20~11:50			[2回目] 14:20~14:50	
	人形劇「虫たちのファンタジー」 【はるひ野保育園】					13:30~14:00	
区役所前広場	子ども用品フリーマーケット	10:30~15:00					
	自然素材を使った工作 【麻生プレーパークを創る会】	10:30~15:00					
レストランあさお		11:00~15:00					

オープニング
挨拶(館内放送) 区民会議委員長・麻生区長

終

了

あさ子育てフェスタ

子育てするなら麻生区で

～ 安心 ・ 楽しい ・ 助かる ～

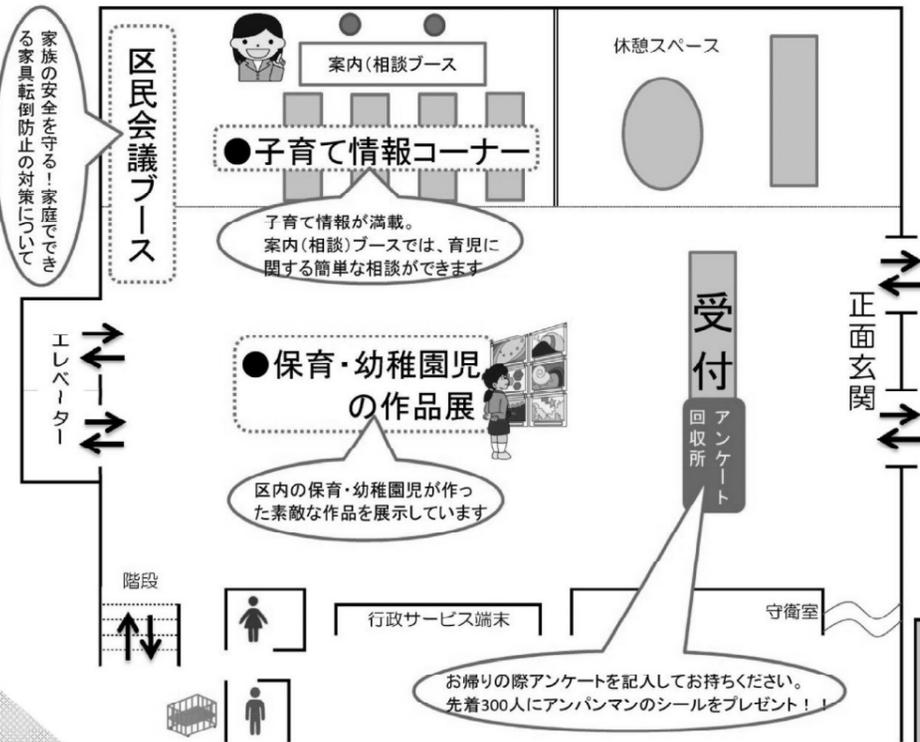
4月13日(日)

10:30~15:00

会場:麻生区役所

主催 麻生区区民会議

子育てに役立つ情報がいっぱい。園児の作品も見に来てね



区役所前広場

自然素材を使った工作
10:30~15:00

フリーマーケット会場

ベビーカー置場

予防接種ホール

昭和专业大学のミニコンサート
①10:40~11:10 ②12:00~12:30
みんなで楽しくうたっておどってゴーゴー!
①11:20~11:50 ②14:20~14:50
人形劇「虫たちのファンタジー」
13:30~14:00

予診室

授乳室

本格的な音楽に触れて大人も子どもも楽しんで

男性トイレ

女性トイレ

ベビーベッド

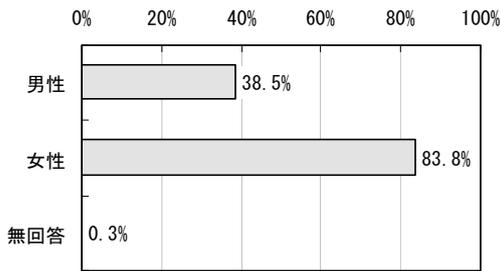
「遊び・交流の広場」楽しい遊びのコーナーがたくさあるよ

ステージ	第1会議室	第2会議室	第3会議室	自動販売機	吹き抜け
	10:30~11:20 ・親子で歌おう(英語の歌やわらべうたなど) 11:30~11:50 ・親子でバルーン遊び 12:40~13:30 ・みんなで歌うパネルシアター&ブラックライトシアター 14:00~14:20 ・リトミック 14:30~15:00 ・手遊びつた 音楽に合わせて遊ぼう!	アンパンマン映画上映会 『それいけ!アンパンマン ルビーの願い』 全2回上映 ①11:10~12:00 ②13:40~14:30	第1部10:30~13:00 ①グルグル動き回るおもちや工作 ②によるよるへびをつくろう! ③でんでんたいこ作り ④手作り玩具作り 第2部13:30~15:00 走る車づくり・紙粘土の家づくり	エレベーター	
本部	第7会議室	第6会議室	第5会議室	階段	レストランあさお
控え室			絵本コーナー&おはなし会 10:30~15:00		11:00~15:00 あさお子育てフェスタ特別メニュー ・お子さまランチ ・カレーライス ・ラーメン ・高菜ピラフ
			第4会議室 フリースペース&情報相談コーナー 10:30~13:00		

13. あさ子育てフェスタ来場者アンケート調査結果

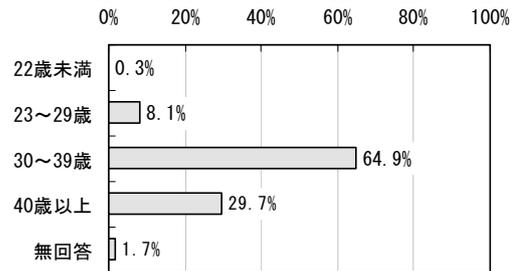
回答者数:296人

問1-1 性別(大人)(複数回答)



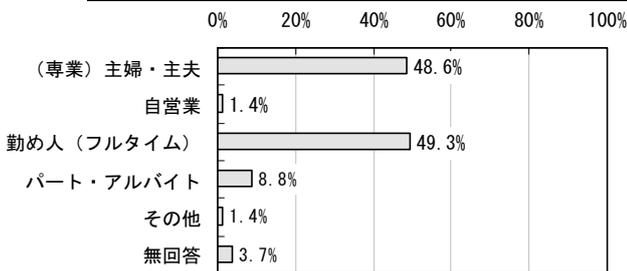
(N=296)

問1-2 年齢(大人)(複数回答)



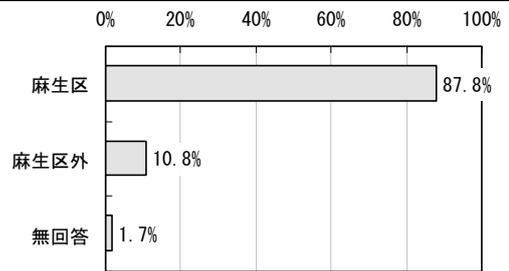
(N=296)

問1-3 職業(複数回答)



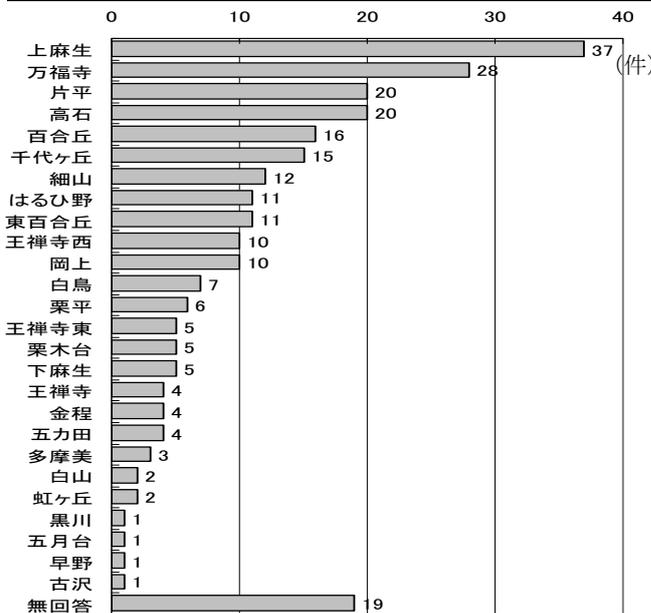
(N=296)

問1-4 居住地(複数回答)

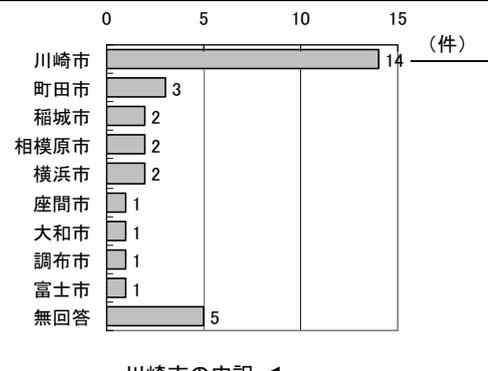


(N=296)

問1-4 居住地(麻生区内訳)



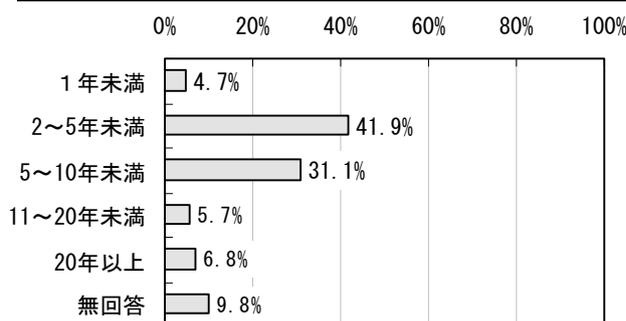
問1-4 居住地(麻生区外内訳)



川崎市内訳 ←

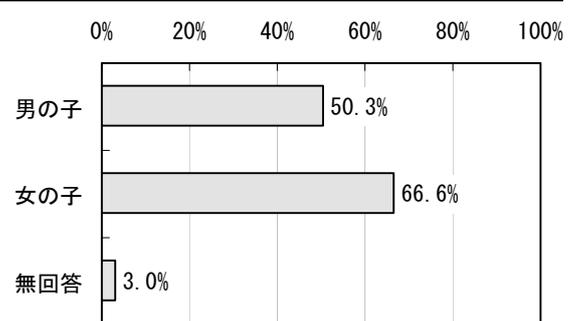
多摩区	6
高津区	3
宮前区	3
不明	2
計	14

問1-5 居住年数(複数回答)



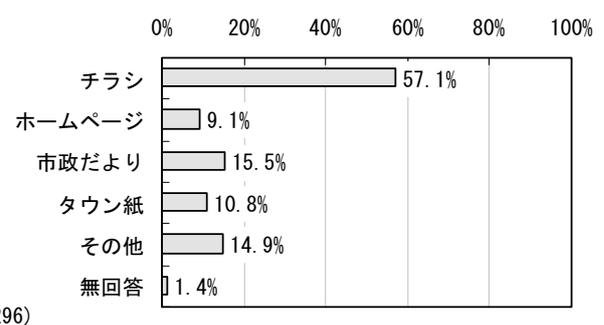
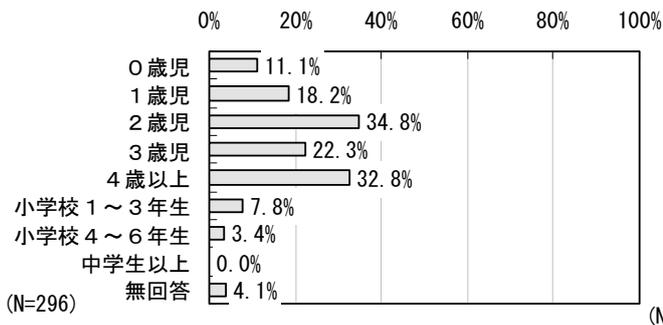
(N=296)

問2-1 性別(子ども)(複数回答)

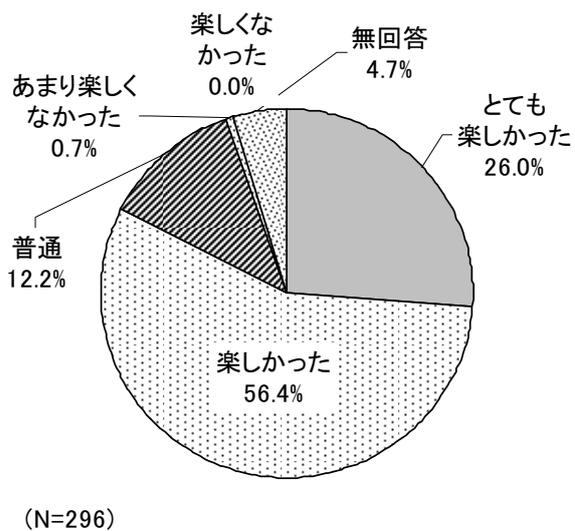


(N=296)

問2-2 年齢(子ども)(複数回答) 問3 「あさお子育てフェスタ」を何で知ったか(複数回答)



問4 「あさお子育てフェスタ」の感想をご記入ください。(単数回答)



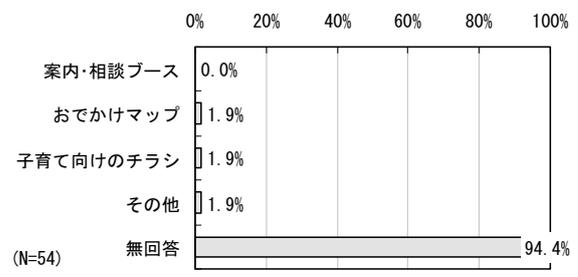
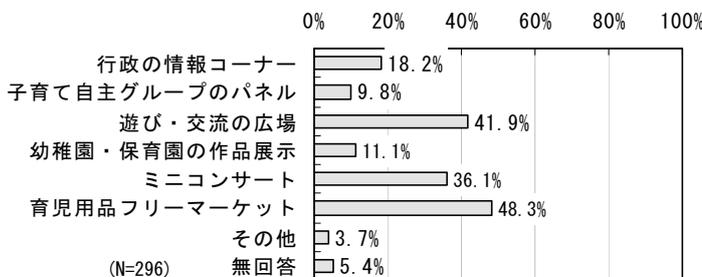
【良かった点】(主な意見)

- ・子育ての情報を知ることができる良い場を提供している。
- ・今までこのようなイベントはなかったので子連れで楽しめた。
- ・子どもが楽しめるものがたくさんで1日遊ぶことができました。
- ・パパの参加ができてよかった。

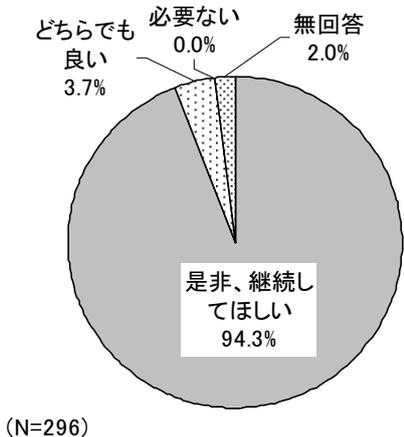
【改善点】(主な意見)

- ・0歳児用の催しが少なかった。
- ・会場が狭い(4Fが混んでいて行けなかった。市民ホールなど大きなところでやって欲しい。)
- ・トランポリンなど外で遊べるもの、体を使って思いっきり遊べる催しがあると良い。
- ・16時までやって欲しかった。

問5 どの企画が良かったですか?(複数回答) 問5-1 行政情報コーナーでよかったもの



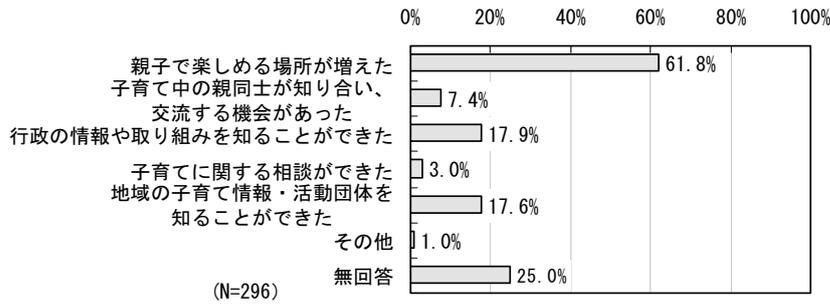
問6 今後、子育てフェスタの継続実施を望みますか?(単数回答)



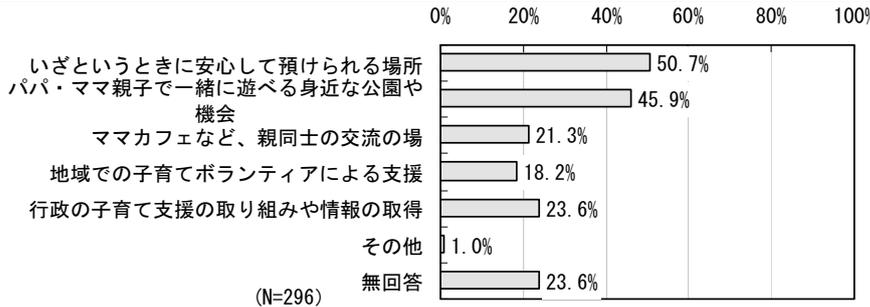
【理由】(主な意見)

- (情報収集・交流ができる)
- ・楽しく有益な情報が得られる。
 - ・なかなか来ない区役所で色々な情報を得られて親子の触れ合いができるため。
 - ・子育て世代の生の意見を集約する場として良い。 など
- (小学生以下の子が主役で楽しめる)
- ・小学生以下の子が主役になれる。来年はお友達を誘って来たい。
 - ・土日で開催される子ども向けイベントが少ないから。 など
- (親子で出かけて楽しめる)
- ・親子で楽しめ、子育て情報が集まっている。
 - ・親子で出かけるチャンスとなる。など
 - ・子ども服はすぐに着られなくなるのでフリマはありがたい。など

問7 あなたは、「あさ子育てフェスタ」でどのようなことができたと感じましたか。(複数回答)



問8 子育てにおいて、今もっとも必要なもの・ことは何ですか？(複数回答)



【理由-】(主な意見)

(子どもを預ける場所が欲しい)

- ・子どもが病気等預かれる場所がほしい。
- ・一時的に預かれるところ(息抜きに)があると良い。

(安心して遊べる場所が欲しい)

- ・室内ばかりでなく外で遊べる場所が欲しい。
- ・公園以外で休日でも利用できる場所が多くなると良い。

(ママの友達づくり)

- ・一緒に子育てできる友達。
- ・ママの友達づくり。
- ・ママ同士の相談・交流の場

(子育て施設)

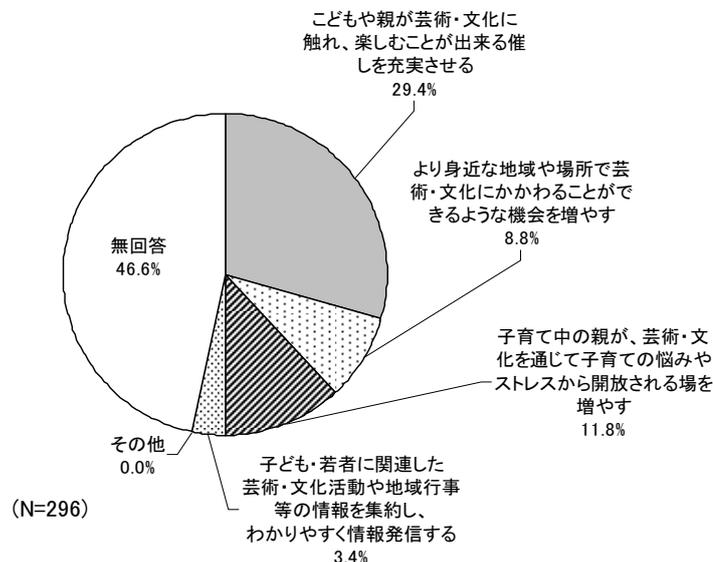
- ・支援センターが少し遠いので、徒歩圏内が増えると助かります。
- ・一時的に預かれるところ(息抜きに)があると良い。

(保育園)

- ・保育園に入りやすくして欲しい。兄弟枠がないため、育休を早く切り上げる必要がある。
- ・保育園の充実(認可・無認可問わず)

問9 「芸術・文化活動や地域の行事に若者・子どもが参加し楽しめる」豊かな環境づくりに

必要なこと



1 4. あさお子育てフェスタ協力団体アンケート調査結果

子育てフェスタの運営に協力のあった 18 団体に対し、開催後アンケートを実施した
回答数：13 件

1. あさお子育てフェスタに参加しての感想を教えてください。(複数回答 1 件あり)

とても良かった	8	良かった	5	普通	0
とても悪かった	0	悪かった	1		

- ・子育て支援に関われたことはもとより、地域の子育て支援団体との交流も図れ、今後の連携に期待できる
- ・企画・運営の段階から参加できたことが勉強になった。また、当日参加された親子関係を見ることで、「今の親子関係の実態」を把握することができた
- ・初めての試みであったが、集客率も高く、市民の関心の高さが実感できた。父親の参加の多いのも時代の変化を反映させていて今後の活動が期待できる
- ・第 1 回とは思えない多くの来場者があり、親子で楽しんでいただけた。団体の宣伝にもなった
- ・たくさんの来場者があり、みな目を輝かせて各部屋に参加している様子が伺えた。パネルシアターもとてもやりやすかった
- ・地域全体での子育てはとても大切であり、その中の一つとして、働けたことを嬉しく思う
- ・区役所、市民館、保健所でうまく連携がとれていないところがあった。

2. フェスタ全体を見て、内容、日時、参加団体等で改善すべき点、お気づきの点等がありますか

- ・子育てを応援する姿勢が見られ「区」の考え方に共感することが多々ありました。
- ・4月は新年度で忙しく施設は協力しにくいので9月頃の開催が望ましい。公立保育園の参加がなかったのは残念
- ・コンサートはもう少し広い場所があれば助かる
- ・会場が少し狭く感じた

3. もしも2回目の子育てフェスタを開催することとなった場合に参加を希望しますか

参加する	10	無記入	3	参加しない	0
------	----	-----	---	-------	---

- ・積極的に地域支援を行っていきたいので、参加したい
- ・区民会議が主催で、麻生区での種まきをしてもらえて非常に良かった。今後は、子育て関連ネットワークや子ども会等も巻き込んで開催できればよいのでは
- ・学生と一緒に活動ができ、学生たちもたくさん学ぶことができた
- ・開催時期の問題がクリアできれば参加したい

4. その他、ご意見ご感想等をご自由にご記入ください

- ・こんなに多くの方がいらして下さるとは思ってなく、とても驚いた。どこかもう少し広い会場があったらいいと思う
- ・子どもや子育て中の方々に優しい街づくりにしましょう
- ・遊ぶところや楽しい催しが多くて、小さい子どもも楽しめる作りであったと思う
- ・多くの方と接することができてとても楽しかった。参加した保護者から会場が狭くて危なかったという感想があった

15. あさ子育てフェスタ 掲示・配付 未就学児向け催事・事業一覧 【平成26年度】未就学児とその保護者が参加できる催事・事業一覧（その1）

(平成26年4月13日現在。麻生区民会議調べ)

団体名	催事・事業名	概要	平成26年度の予定	①告知時期 ②告知方法 ③問い合わせ窓口(電話番号、HP等)	
市民館	子育て支援啓発事業 (よち・わく・のび)	0才から3才までのお子さんと保護者が自由に集える出入り自由なフリースペース。	毎月3回～4回 水曜日 11月19日(水)拡大版イベント	③麻生市民館 044-965-5210	
	家庭・地域教育学級 (ハッピーママライフ)	2才から4才の子を持つ親を対象に子供とのコミュニケーションなど、専門家に学び、同じような立場にいる親同士の交流を図る。	5～7月火曜日、10回程度の連続講座		
	家庭・地域教育学級 (あかがみで楽しくともそだち)	2才から4才の子を持つ親を対象に子供とのコミュニケーションなど、専門家に学び、同じような立場にいる親同士の交流を図る、同上の地域性を内容に盛り込む。	9～11月金曜日、10回程度の連続講座	③岡上分館 044-988-0268	
麻生区役所こども支援室	子育て支援・企画事業 こども関連大学連携事業	地域子育て貢献事業	①区内在住未就学児親子向けあそびの会。 (平成25年度・ホミック) ②区内在住未就学児親子向け公演会。 (平成25年度・ハッピー→コディ(パルーンアート)、 ふわふわ山の音楽会)	①(実施内容未定、6月7日予定) ②(実施内容および実施予定日未定)	③麻生区役所こども支援室 044-965-5303
		麻生区マタニティコンサート事業	昭和音楽大学との連携事業 ・区内在住の妊婦と家族を対象に夏と冬の年2回、麻生市民館大会議室で実施。	2014年夏(7月頃)と冬(12月頃)を予定	
		麻生区子どもと一緒のコンサート事業	昭和音楽大学との連携事業 ・区内在住の未就学児と家族を対象に昭和音楽大学コリホールで実施。	2015年2月頃を予定	
		あそぼうけるるる田園チャイルド事業	田園調布学園大学との連携事業 ・区内在住の未就学児親子を対象に年2回・田園調布学園大学表現スタジオで実施。公立保育園保育士と保育士志望の学生が共同でホミック等の子育て支援事業を行う。	2014年9月頃と2015年2月頃を予定	
あおきなあれあさあっこ	和光大学との連携事業 ・未就学児と保護者対象のムーブメントを活用した遊びの会。麻生スポーツセンターで実施。	2014年11月15日を予定			
おはなし たまたばこ	2歳児向けおはなしひろば	2歳のお子さん対象の絵本の読み聞かせ。 (麻生図書館集客室)	毎月第2・4水曜日 10:30～10:50	①一年中 ②市政だより麻生区版 ③麻生図書館044-951-1305	
	3歳児以上向けおはなしひろば	3歳以上のお子さん対象の絵本の読み聞かせと素話。 (麻生図書館集客室)	毎月第1～4水曜日 14:30～14:55		
	5歳児以上向けおはなしひろば	5歳以上のお子さん対象の絵本の読み聞かせと素話。 (麻生図書館集客室)	毎月第1～4水曜日 15:00～15:30		
スポーツ センター	親子げんき体操	お子様は手足を使って運動能力を高めたり、他のお子様と触れ合うことで社会性も身に付きます。ママもストレッチ発散! 対象:満10ヵ月～24ヵ月未満のお子様	4月11,18,5月2,16,23,30,6月6,13,27の 金曜日、全9回。 途中からも参加できます。定費50組 10:50～11:35 受講料5,910円	麻生スポーツセンター 麻生区上麻生3-6-1 044-951-1234(教室係)	
	ボールで遊ぼう	観察力や判断力を養うため、「なげる・とる・つく・ける」などボールを使った様々な動きを身につけてみましょう。 対象:年中・年長(4・5歳児)	4月17,24,5月1,8,15,22,29,6月 5,12,19,26,7月3,10,17の木曜 全14回。途中からも参加できます。 15:25～16:10 受講料11,800円		
	親子音楽うたうひろば	親子で歌遊びや楽器も使って仲いっしょに遊びます。季節の曲に合わせてお子さまのリズム感や音感を育てましょう。 対象:1・2歳児(平成23年4月2日～平成25年4月1日生まれ)	月曜コース5月12,19,6月2,9,16,30,7月 7,14の全8回 9:30～10:15または10:30～11:15。いづ れも10組程度。8,210円 木曜コース5月8,15,22,6月5,12,19,7月 3,10,17の全9回9:30～10:15。10組程 度。9,240円		
川崎市黒川青 少年野外活動 センター	あさんぼくらぶ	「森のようちえん」の保育スタイルで、2～4歳児を対象にした外遊び。	隔週水曜日 10～12時	①一年中 ②HPとチラシ ③黒川青少年野外活動センター (044-986-2522 http://www.kurokayayagi.com/)	
	あそびくらぶ	「森のようちえん」の保育スタイルで、4～6歳児を対象にした外遊び。	毎週水曜日 14～16時		
栢生地区 社会福祉協議会	食育講演会	未就学児の親を対象に、栄養について学ぶ講演会です。	7月頃(予定)	①6月頃 ②HP等 ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5500	
	親子で遊ぼう	未就学児親子を対象に、歌遊びとパネルシアターを行います。	12月頃(予定)	①10月頃 ②HP等 ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5500	
	子育てに絵本を	未就学児親子を対象に、絵本の読み聞かせの仕方を学びます。	10月頃・2月頃(2回・予定)	①8月頃・12月頃 ②HP等 ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5501	
	乳幼児の家庭内事故を防ぐ	未就学児の親を対象に、家庭内事故に関する講演会を行います。	11月頃(予定)	①9月頃 ②HP等 ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5501	
麻生東地区 社会福祉協議会	親子でほつまいも・落花生盛り	2～5歳までのお子さんと保護者が一緒に楽しくほつまいも・落花生盛りをします。	10月頃	①9月頃 ②母親クラブ・社協HP ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5500	
	お父さんと遊ぼう(予定)	1～3歳までのお子さんとお父さんが一緒に楽しく遊ぶ企画です。	12月頃(予定)	①②未定 ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5500	
	親子で楽しく遊ぼう(予定)	1～3歳までのお子さんとお父さんお母さん親子で体操などとして楽しく遊びます。	2月頃(予定)		

【平成 26 年度】未就学児とその保護者が参加できる催事・事業一覧（その2）

（平成 26 年 4 月 13 日現在。麻生区民会議調べ）

団体名	催事・事業名	概 要	平成26年度の予定	①告知時期 ②告知方法 ③問い合わせ窓口（電話番号、HP等）
麻生区 社会福祉 協議会	子育て関連グループ交流会	子育て関連グループの交流会。	10月頃（予定）	①8月頃 ②該当団体へ通知 ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5500
	ペアレントトレーニング	未就学児のお子さんがいる方を対象。 子育ての悩みを軽減するような、親子のコミュニケーションを学ぶ講座。	11月～全4回（連続講座）	①9月頃 ②各団体郵送・ホームページ等 ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5500
地域子育て 支援センター おかがみ	ムーブメント	和光大学～遊び種たんぽぽ～のみなさんと楽しく遊びましょう。	不定期	③网上こども文化センター 地域子育て支援センターおかがみ 麻生区岡上277 044-281-3378
	リズムっこクラブ	声楽家の皆川先生をお迎えして親子で楽しむリズム遊びです。	月1回	
	パパとママのためのベビーマッサージ	両親の参加大歓迎。赤ちゃんとのスキンシップを深めましょう。	月1回（偶数月）	
	おはなし会&お誕生会	新から朗読の会の皆さんによるおはなし会です。お誕生児をみんなでお祝いします。	第1月曜日	
	ベビエゴ&ママヨガ	楽しいフレーズに合わせて赤ちゃんの体を動かかし心と身体、脳の発達を促します。	第3月曜日	
アルティカ しんが2014	スーリアンプラスがやって来た! ホリアンと遊ぼう!	0歳からのコンサート。（麻生市民館ホール）	5月1日(木) ①11:00～②14:30～	①1月～4月 ②各種 ③アルティカ事務局 952-5024 http://www.articashinyuri.com/ (1/15コン) http://www.articashinyuri.com/r/ (携帯)
	アルティカ演芸座 子ども寄席	小学校低学年でも楽しめる落語、物まね、漫話劇（新百合21ホール）	5月3日（土祝）13:30～	
	劇団がかし座 影絵劇 魔法つがいのおとぎばなし	子どもたちに想像することの楽しさ、おもしろさを届けます。 （川崎市アートセンター アルテリオ小劇場）	5月4日(日祝) 14:00～	
	劇団飛行船70きのこやぎと狼 ～ホリアンと遊ぼう!～	3歳からのマスクプレイ・ミュージカル。（多摩市民館ホール）	5月5日(月祝) ①11:00～ ②14:00～	
	人形劇団ひとみ座 ひよっこりひよつたん島 ～泣いたトラビゴの巻～	井上ひさし、舞台田中壽美下志、志保京を放送当時の出演者の声で再演! （川崎市アートセンター アルテリオ小劇場）	5月6日（火振休） ①11:00～ ②14:00～	
	スターダンス・バレエ団 白鳥の湖&くるみ割り人形	大人気のバレエの「白鳥の湖」と「くるみ割り人形」を一度に楽しめる豪華 2本立てプログラム。（昭和音楽大学テアトロ・ジューリオ・シヨッフ）	5月3日（土祝） ①12:30～ ②17:00～	
昭和音楽大学	音楽の贈り物	0歳から参加できる無料のクリスマスコンサート。 昭和音大生による演奏と楽器体験などを実施。	2014年12月中旬を予定	①11月ほしめざろ ②チラシとホームページ http://www.tosei-showamusic.ac.jp/arts/ ③昭和音楽大学コミュニケーションセンター 044-953-9867
ゆりがおか 児童合唱団	ゆりがおか児童合唱団 第38回定期演奏会	小学校から高校生の児童合唱団の演奏会です。 小さいお子さん、も楽しめる歌も歌います。 チケット（有料）が必要です。（麻生市民館ホール）	8月9日（土）	③ゆりがおか児童合唱団事務局 09042477281
エデュカ ールーム ベリーグッズ	クリスマスコンサート	親子で楽しめるコンサート。	12月20日（土）開催予定	③エデュカールームベリーグッズ 麻生区栗木台5-1-5 0449860474
	おはなし会	はるひ野の絵本館のフリースペースでの読み聞かせ会。	毎週月曜と木曜 11:00～14:00	
春献美会 くろかわのぞみ 保育園	夏まつり	おみこしや盆踊り・模擬店などがあ、自由に参加できます。	H26. 7. 18(金) 18時	③春献美会 くろかわのぞみ保育園 麻生区はるひ野4-7-1 044-819-7481
	運動会	地域の方のプログラムあり、自由に参加できます。	H26. 10. 11(土) 9時	
	もちつき	おすもうさんと餅つきや相撲取りをして遊びます。（要予約）	H26. 12月下旬	
	コンサート	自由に参加できます。	H26. 2. 20(木) 16時 (H26年度も実施予定)	
春献美会 はるひ野保育園	夏まつり	おみこし、や盆踊り・模擬店などがあ、自由に参加できます。	H26. 7. 25(金) 18時	③春献美会 はるひ野保育園 麻生区はるひ野2-7-1 044-281-8785
	運動会	地域の方のプログラムあり、自由に参加できます。	H26. 10. 4(土) 9時	
	もちつき	おすもうさんと餅つきや相撲取りをして遊びます。（要予約）	H26. 1月中旬	
	コンサート	子育て中の方、自由に参加できます。（平成25年度は3月に実施）	(H26年度も実施予定)	



昭和音楽大学
音楽の贈り物



ゆりがおか児童合唱団
第38回定期演奏会

16. あさ子育てフェスタ 芸術文化イベントに関するヒアリング調査結果

「未就学児が参加できる催事・事業一覧」（68ページ参照）を示し、ヒアリングを実施
回答（ヒアリング）数：31件
実施日：平成26年4月13日（あさ子育てフェスタ当日）
実施場所：区役所2階「子育て情報コーナー」
担当：武濤委員及び昭和音楽大学学生

*数字の入っていない回答はすべて（1件）

1) ご覧いただいている麻生区の未就学児を対象とした催しの中でご存知のものはありますか？

- ・音楽のおくりもの（昭和音楽大学） ・リトミック ・子育て支援関係(子育て支援哲発事業)
- ・スポーツセンターで開催しているもの ・夏まつり ・市民館で行われるイベント
- ・おさんぽくらぶ（川崎市黒川青少年野外活動センター） ・市民館まつり

2) その中で参加したことのある催しはありますか？

- ・音楽のおくりもの（昭和音楽大学） ・リトミック ・子育て支援関係(子育て支援哲発事業)
- ・スポーツセンターで開催しているもの ・夏まつり ・市民館で行われるイベント
- ・おさんぽくらぶ（川崎市黒川青少年野外活動センター） ・市民館まつり
- ・ムーブメント（地域子育て支援センターおかがみ、和光大学）

3) 行ってみたいと思う催しはありますか？ それはなぜですか？

- ・コンサート系：幼い頃から音楽を聞かせたい。昭和音大の演奏活動に 興味がある。…（8）
- ・リトミック ・てあそびうた ・読み聞かせ ・スポーツセンターの事業
- ・情操養育の一環になるもの

4) どんな催しがあったらいいと思いますか？

- ・お母さんが息抜きできる習い事（子供は保育） …（2）
- ・普段子供と2人で家にいることが多いから、外でやったことが家でもできるあそびうた。
- ・工作 ・体を動かすもの ・一時保育 ・参加型音楽イベント
- ・子どもの参加しやすい、「無料」のコンサート（音楽、芸術のまちなので）
- ・土日のイベント（平日は保育園に預け仕事をしているので参加できない）

5) ふだんはどこで（どうやって）未就学児対象の催事情報を得ていますか？

《チラシ、回覧板、フリーペーパー等・・・21件》

- ・チラシ …（8） ・広報誌（区、市） …（5） ・回覧板 …（4）
- ・フリーペーパー（自宅に投函されていたもの）…（2） ・タウン誌 ・タウンニュース

《掲示板等・・・11件》

- ・生活範囲にある掲示板（駅、保育園、イオンなど） …（5）
- ・支援センター …（5） ・市民館

《ホームページ・・・7件》

- ・区のホームページ …（4） ・子育て支援のホームページ …（3）

《口コミ・・・2件》

- ・子育てサロン ・友人から

《近くで行われていない（わからない）・・・2件》

6) もし未就学児の催しの情報が集約されているもの(紙面、ネット)があれば利用したいと思いませんか？

- ・今回のフェスタでイベント情報がまとめてあるものがあり、とても見やすいと思った。定期的にこういったまとまったものが紙面であるといい。 … (7)
- ・ホームページをさらに見やすく改善してほしい。(更新率を上げてほしい) … (5)
- ・市民館などで情報を得るのは行く機会がないとなかなか難しいので、街中(散歩ルート)や駅、スーパーなど普段の生活範囲に掲示してほしい。
- ・紙面で一覧にまとまっていると子育てサークル等でも共有しやすいのでうれしい。
- ・「〇才向け」、「〇曜日」が一目でわかるまとめ方をしてほしい。
- ・入園可能な保育園、幼稚園もリストアップしてほしい。

7) その他コメント

《子育てフェスタの感想》

- ・今回の子育てフェスタは初めての開催とのことだが、内容が充実していて楽しかった。
- ・今回のイベントは内容が詰めこまれすぎていて、まわりづらかった
- ・フリーマーケットが良かった。洋服がすぐに小さくなってしまい、洋服代も高額なので非常に助かる。

《情報集約について》

- ・(自分も)子育てイベントを行っているので、情報を載せてくれる窓口があるといい。
- ・たくさんのイベントを実施していることを初めて知った。今回のようにまとめてあると探しやすい。(対象年齢や開催日が特に気になる)
- ・今日のようなイベントに来ないと今後の予定が見えない。冊子としてまとまっているとわかりやすい。

《要望、その他》

- ・日曜日なので、家族全員で参加することができた。また土日こういったイベントを行ってほしい。
- ・子供と参加できるものが平日に多く、仕事をしているとなかなか参加できない。
- ・麻生区に引っ越し予定なのでどのようなイベントをやっているのか知りたかった。たくさんあり参加したいと思った。引っ越しが楽しみ。
- ・0~1歳の子がいると落ち着いてイベントに参加できない
- ・0歳(11か月)の子にはまだどのイベントも参加するには早い。(静かにしてられない)ので、大きくなったらいろいろ参加してみたい
- ・親子二人だと、遊ぶパターンがマンネリ化し限界があるため、イベントは助かる。
- ・遠くへ出かけるのが難しいときに近くでイベントをやっているのは嬉しい
- ・昭和音楽大学が演奏しているコンサート活動は子供と一緒に聞けるものもあり、とても興味がある。また、そういった活動をもっと知りたい。

麻生区区民会議ニュース
第4期 Vol.1

発行/麻生区区民会議 編集/企画部会
事務局/麻生区役所まちづくり推進部企画課
電話：965-5112 FAX:965-5200 E-mail:73kikaku@city.kawasaki.jp

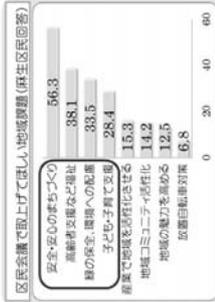
平成24年10月23日発行



区民会議って...、ご存知ですか？

川崎市では、区民の参加と協働により、暮らしやすい地域社会を目指して、地域社会の課題を調査審議するため、各区に区民により構成する区民会議を設置しています。麻生区では平成18年7月にスタートし、今年で第4期目を迎えます。

第4期では、第3期から引き続き「人と人をつなぐ地域づくり」を全体テーマに掲げ、市民アンケートで要望の多かった地域の課題から下記の2つの審議テーマを選定しました。
今後、20人の委員は、テーマごとの2つの部会に分かれ、区民の皆さまからのご意見・ご提案もいただきながら、調査・審議・試行に取り組み、区長への提言などを行います。



審議テーマ①

安全・安心のまちづくり

10月9日に第1回部会が開催され、最初の審議テーマを「大地震から助かる命を守る」とすることに決定しました。



審議テーマ②

若者が住みたくなる魅力あるまちづくり

10月22日に第1回部会が開催され、審議テーマを「子育てしやすい環境づくり」と「芸術・文化のまちづくり」とすることに決定しました。



■第4期麻生区区民会議委員(所属部会別)

「安全・安心のまちづくり部会」 加賀美長夫(麻生区商店連合会) 梶久夫(区長推薦) 久保倉良三(安全安心のまちづくり協会) ○村主英明(公勢委員) 部長 高倉秀敏(公勢委員) 副部長 高瀬隆雄(区長推薦) ○田中元介(公勢委員) 長谷川真理子(公勢委員) 横山章(市美化運動実施麻生支部) 吉田謙司(区長推薦)	「若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会」 飯塚馨(麻生区町会連合会) ○石井郁朗(区長推薦) 部長 副委員長 ○金光秀向(区長推薦) 企画部長 菅野明(麻生区文化協会) ○菅原敏子(区長推薦) 委員 長 高橋庸之(公勢委員) 武瀧京子(公勢委員) ○東川禎男(公勢委員) 矢野美千代(麻生区社会福祉協議会) 山田安之(地域教育会議) 副部長
---	--

○=企画部会所属委員
(五十音順)

FAX送信：
044-965-5200

審議テーマや、区民会議の運営についてのご意見・ご提案・ご要望をお寄せいただけますよう、お願いいたします。この用紙をFAX、郵送又は直接区役所へご持参いただくか、Eメール(様式は問いません)でお願いします。

第4期区民会議事務局(麻生区役所企画課)あて

(FAX 044-965-5200、Eメール: 73kikaku@city.kawasaki.jp)

※この用紙は、下記、区役所HP(区民会議)からダウンロードすることもできます。

URL: <http://www.city.kawasaki.jp/asao/page/0000041065.html>

1. テーマ「大地震から助かる命を守る」について
2. テーマ「子育てしやすい環境づくり」「芸術・文化のまちづくり」について

3. 区民会議の運営について

4. その他

～ご自身についてお答え下さい(それぞれに○をお願いします)～

- ① 住所 麻生区内 (町) ・ 麻生区外 (市 区)
- ② 年齢 20歳未満 ・ 20～29歳 ・ 30～39歳 ・ 40～49歳 ・ 50～59歳
60～69歳 ・ 70～79歳 ・ 80歳以上

麻生区区民会議ニュース

第4期 Vol.2

平成25年3月19日発行

みなさん、
防災に向けて
日頃から備えを
されていきますか？



発行/麻生区区民会議 編集/企画部
事務局/麻生区役所まちづくり推進部企画課
電話：965-5112 FAX:965-5200 E-mail:73kikaku@city.kawasaki.jp

第4期区民会議「安全・安心のまちづくり部会」では、
審議テーマを

『大地震から助かる命を守る』として、

想定される（阪神・淡路大震災と同等の）マグニチュード7.3の川崎市直下地震〔麻生区では最大震度6強が想定されます〕での麻生区の死者数を0人にすることを目標に、私たち区民にできることを検討します。
そのため、まず次の3つの最優先テーマに取り組みます。

1. 家屋の倒壊防止



- ・耐震補強が必要な建物の把握などの解消
- ・耐震診断・耐震工事の実施の促進 など

2. 家具の転倒防止



- ・家具・電化製品の固定化の推進、置き場所の見直し など

3. 火災予防・火事発生への対応



- ・火災予防対策、消火活動に関する近隣での認識共有
- ・町内会・マンション等での共有消火器の設置 など

具体的には、モデル事業などの方法により、実践的な活動を展開し、課題解決に取り組みます。また、これらの活動はマスコミなどを通じて区民の皆さんにも広く知っていただくようにいたしますし、区民会議フォーラムなどの機会に発表し、皆さんと一緒に議論したいと考えています。

また、次の段階で

4. 災害時要援護者等への対応

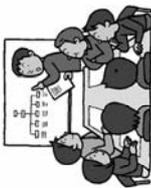
- ・災害時に援護を必要とする方々への対応
- ・負傷または生き埋めとなった方々の一刻も早い救助、手当、収容 など

5. 負傷者、生き埋め者の救助

にも取り組みたいと考えています。

【注】：平成24年度川崎市地震被害想定調査結果（川崎市直下の地震 冬の18時の場合）では43人

実際に大地震が発生したら、家屋の倒壊、家具の転倒、そして火災が同時多発的に発生する可能性が高いので、公的な援助（救助、治療、消火など）が立ち上がるまでは、自助努力や近隣住民との共助により、区民が主体的に行動しなければなりません。また、普段（大地震が発生する前）から、各自が十分な準備・対策をしておくことで被害を小さくしたり防いだりすることができ、区民の皆さんには、テーマに沿った具体的な対策やアイデアを、積極的にご提案いただきたいと思います。皆さんのご協力をお願いいたします。



もう一つの「若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり部会」では、審議テーマを『子育てしやすい環境づくり』『芸術・文化のまちづくり』の2つとし、現状と課題の把握を進めています。



審議の参考とさせていただきます。皆さんの声をお寄せ下さい。

～皆さまのご意見をお寄せください～

審議テーマや区民会議の運営についてのご意見・ご提案を、FAX、郵送、Eメールで区民会議事務局〔麻生区役所企画課〕までお送りください。

区民会議事務局〔麻生区役所企画課〕 〒215-8570 川崎市麻生区万福寺 1-5-1
電話：044-965-5112 FAX：044-965-5200 Eメール：73kikaku@city.kawasaki.jp
URL：http://www.city.kawasaki.jp/asao/category/112-10-1-0-0-0-0-0.html

1. 「安全・安心のまちづくり部会」の活動について
2. 「若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり部会」の活動について
3. 区民会議の運営について など

～ご自身についてお答え下さい（それぞれに○をお願いします）～

- ① 住所 麻生区内（ 町） ・ 麻生区外（ 市 区）
- ② 年齢 20歳未満 ・ 20～29歳 ・ 30～39歳 ・ 40～49歳 ・ 50～59歳
60～69歳 ・ 70～79歳 ・ 80歳以上

平成 25年7月18日発行

麻生区区民会議 ニュース

第4期 Vol.3

発行/麻生区区民会議 編集/企画部
事務局/麻生区役所まちづくり推進部企画課
電話：965-5112 FAX:965-5200 E-mail:73kikaku@city.kawasaki.jp

大地震がいつ来ても、何があっても、助かる命を守る！
そのための実践的な対策を一緒に考えましょう。

区民会議7フォーラム開催

第4期区民会議「安全・安心のまちづくり部会」では、審議テーマを

『大地震から助かる命を守る』

として、想定されるマグニチュード7、3の川崎市直下地震での麻生区の死者数※を0人にする
ことを目標に、私たち区民ができることは何か、鋭意、検討しています。
このフォーラムでは、川崎市を含め多方面で活躍されている専門家のお話を聞き、わが家の安全に
ついて、皆様と一緒に考えたいと思います。

当日先着150名
事前申し込み不要
参加無料

25年9月7日(土) 13:30~16:30
[開場 13:00]

麻生区役所4階 第1・2会議室



目黒公郎氏 (東京大学教授、川崎市防災対策検討委員会委員長)

災害損失の最小化のためのハード・ソフト両面からの戦略研究を進める。
「現場を見る」「実践的な研究」「最重要課題からタックル」がモットー。
大地震に備えて、私たちはどのように取り組むべきでしょうか？

園田眞理子氏 (明治大学教授、川崎市住宅政策審議会会長)

地元川崎市で少子高齢化社会に対応した住宅政策を推進。今期区民会議モデル事業の
アドバイザー。いざという時の備えは、日ごろの安心から
一その知恵と心構え について伺います。

★講演の他、第4期区民会議の中間発表あり

※川崎市地震被害想定調査結果 (平成25年3月) では、
冬の18時に直下型地震が発生した場合、麻生区内死者
数は43人と想定されています。



第4期区民会議では「安全・安心のまちづくり部会」と「若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり部会」
の2部会に分かれて調査審議を進めています。
5月20日に第4回全体会議が開催され、各部会より経過報告がありました。

安全・安心のまちづくり部会ではモデル事業を実施します

おもてページでご紹介したとおり、『大地震から助かる命を守る』をテーマに検討を進めています。
その一環として、区内の実践のお住まいを訪問してモデル事業を実施します。(麻生区ホームページ
・ちらし等で公募) 明治大学建築学科の園田教授及び専門技術者に協力いただき、

①必要な家具の固定化工事を無料で実施します。

②実践的な地震安全性向上のためのアドバイスを行います。
モデル事業を実施した成果は広く区民の皆さまにPRして、わが家の地震安全対策をリアルに考え
実践していく行動が、区民のあいだに広がっていくことを目指します。

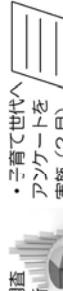
若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり部会の進捗状況

麻生区将来推計人口調査によれば2050年には65歳以上の人口が35%になると予想されています。
少子高齢化が進み、このままでは近い将来に街の活力が衰退しかねない状況が心配されます。そこで、区民
会議では「若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり」が必要と考え、次の課題を調査審議しています。

『子育てしやすい環境づくり』

【基礎調査】

・子育て世代へアンケートを実施(2月)



調査結果の上位項目

○子どもが遊ぶ場所、親と一緒に遊ぶ場所が不足
○保育園の受け入れ定数が不十分

○気軽にできるカフェや交流イベントが欲しい

子育て自主グループ、サロン、ボラン
ティア団体などへヒアリング調査も
実施しました。



『芸術・文化のまちづくり』

第3期区民会議の提言内容である、①文化担当
の設置、②麻生文化会館(仮称)の設置、③景観形
成条例の見直し、について行政の取り組みを確認
し、同時に、麻生区内で活動している芸術団体、大
学、市民演劇団体等10団体のヒアリングを行い、
若者や子供など多くの市民が楽しめる芸術・文化の
まちづくりに関しての意見・要望をまとめました。

次に、市に対するヒアリングを実施し
芸術文化行政の考え・進め方や、
芸術団体の抱える課題や意見に関し
考えを聞きます。



両課題ともに幾多の問題点、改善点が浮き彫りになってまいりましたので、それらを更に精
査・審議して「若者や子供たちも楽しめる芸術文化のまちづくり」と「子育て世代が子育てし
やすい環境づくり」の実現に向けた提言をしたいと考えております。

◎区民会議第5回全体会議 8月26日(月)15時から 麻生区役所4階第1会議室で開催

区民会議事務局[麻生区役所企画課] 〒215-8570 川崎市麻生区万福寺1-5-1
電話:044-965-5112 FAX:044-965-5200 Eメール:73kikaku@city.kawasaki.jp
URL:http://www.city.kawasaki.jp/asao/category/112-10-1-0-0-0-0-0-0-0-0.html

麻生区民会議ニュース第4期 Vol.4

平成25年10月17日発行
 発行/麻生区民会議 編集/企画部会
 事務局/麻生区役所まちづくり推進部企画課
 電話：965-5112 FAX:965-5200 E-mail:73kikaku@city.kawasaki.jp

大地震がいつ来ても、防かある命を守る！
 何か危険なものか、何を準備すればいいのかわからないか...
 専門家から実践的対策について学びました。

区民会議フォーラム、大盛況にて開催！

さる9月7日、「大地震から助かる命を守る」をテーマに、区民会議フォーラムを開催しました。このテーマは第4期区民会議「安全・安心のまちづくり部会」での審議テーマです。フォーラムには153名の方にご来場いただき、会場はほぼ満席となりました。3時間を超える内容にも関わらず、参加者からはもっと聴きたいとの声があがり、終了の時間を急遽延長するなど、盛況の内に幕を閉じました。

フォーラムでははじめに、第4期区民会議の3つの部会における具体的な取り組みについて報告しました。
 続いて、講師2名の講演が行われました。明治大学の園田眞理子教授からは「いざという時の備えは、日ごろの安心から一歩の知恵と心構え」をテーマに、単身世帯の災害時における孤立状況と地域のコミュニケーションづくりに関するお話を伺いました。
 東京大学の黒黒部教授からは「大地震に備えて、私たちはどのように取り組むべきか」をテーマに、家具の転倒、家屋の倒壊などの大地震の被災シミュレーションや命を守るための防災対策のお話を伺いました。また、会場内には展示ブースが設けられ、区民会議のパネルや家具転倒防止器具などを紹介しました。多くの方々にご来場いただきありがとうございました。

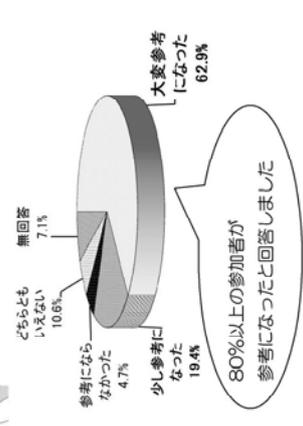


参加者153名。皆さん講師の話に熱心に耳を傾けていました



さまざまな家具転倒防止器具を紹介しました

アンケート「講演はいかがでしたか？」



参加者からの声

- ・園田先生が取り組まれているコミュニケーションの拠点となるカフェ「みた・まちもカフェ」について興味を持ちました。(園田教授の講演)
- ・聞きなかつたのは、これだ！人からの情報に惑わされず、自分で判断するという考え方や牛乳ハックなど身近なものを使用して家具の転倒を防止する話が参考になった。(目黒教授の講演)
- ・区民会議のモデル事業等の審議内容は全体(区民)へフィードバックする仕組みづくりが必要だと思つた。

今回の区民会議フォーラムの報告や各部会の審議状況などは、今後、麻生区民会議のホームページにて公開する予定です。

麻生区民会議 検索

若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり部会の進捗状況

子育て支援グループや芸術文化団体など様々な団体へのヒアリングを行い、審議を重ねた結果、1つのスローガンと3つのキーワードが浮かび上がりました。これらの言葉をもとに「あさお子育てフェスタ」の開催を企画しています。来年の春に、親子間・世代間の交流等を目的とした「あさお子育てフェスタ」の開催を企画しています。

「子育てするなら麻生区で」



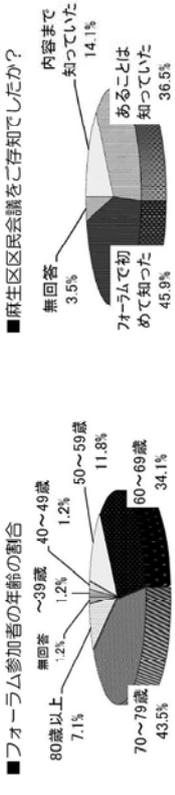
あさお子育てフェスタ 開催予定

日時 平成26年4月13日(日)10時半～15時

会場 麻生区役所内会議室、ロビー等

※内容は、子育て情報提供、相談、その他魅力的な企画を検討中です。

区民会議フォーラムのアンケート結果から見えてきた区民会議の現状と課題



フォーラム参加者の約85%が60歳以上の方でした。地域問題に関心が高く、経験豊かなこの層の方々の力をいかに取り込んでいくかが、今後の区民会議の課題と考えます。一方、若い世代は、参加率が低く残念でしたが、次の「(仮称)子育てフェスタ」への参加を図り、若い世代の関心を集めたいと考えています。認知度調査では、半数近くの方が区民会議を「フォーラムで初めて知った」との回答でした。今回の機会を通じて、多くの方々に区民会議の存在を知って頂くことができてきました。区民会議がもっと地域の身近な存在になるよう、今後活動してまいりますので、みなさまの温かいご協力をよろしくお願ひします。

- 第4期区民会議では「安全・安心のまちづくり部会」と「若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり部会」の2部会に分かれて調査審議を進めています。
- 8月26日に第5回全体会議が開催され、各部会より経過報告がありました。
- 第6回の全体会議は11月25日(月)15時から麻生区役所4階第1会議室で開催します。区民会議の取り組みに関心のある方は、ぜひ傍聴にお越し下さい。(部会も傍聴できます。)

区民会議事務局【麻生区役所企画課】 〒215-8570 川崎市麻生区万福寺1-5-1
 電話：044-965-5112 FAX:044-965-5200 Eメール: 73kikaku@city.kawasaki.jp
 URL: http://www.city.kawasaki.jp/asao/category/112-10-1-0-0-0-0-0-0.html

もっと楽しく子育てを、子ども
大人も笑顔になれるように、
麻生区で初めての子育てフェスタ
を開催します！

第1回 あさお 子育てフェスタ

テーマは「子育てするなら麻生区で」

安心 楽しい 助かる

第4期区民会議「若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり部会」では、①「子育てしやすい環境づくり」と②「芸術・文化のまちづくり」の2つのテーマについて審議しています。地域の子育て支援グループへのヒアリング調査等から子育て現場の様々な課題を抽出しました。これらの課題解決の糸口とするため、この度、あさお子育てフェスタを開催します。

4月13日(日)10:30~15:00

会場 麻生区役所 小田急線新百合ヶ丘駅北口より徒歩2分

◆和光大学が「みんなで歌うパネルシアター」

や「フラックライトシアター」を開催

◆「それいけ！アンパンマン ルビィの願い」上映会

◆昭和音楽大学ミニコンサートで本格派の音楽に触れる

◆子ども用品フリーマーケット(雨天中止)

◆子育て情報コーナー

ほか

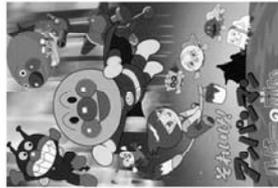
レストランあさおではお子様向けの子育て特別メニューを提供します

他にもたくさん催しを企画しています。詳細は区ホームページで随時情報提供します。

※区役所駐車場は、台数に限りがあります。お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

主催 麻生区区民会議

お問合せ 麻生区役所企画課 TEL 044-965-5112/FAX 044-965-5200



「のやなせなかし」アンパンマン 製作委員会 2003

安全・安心のまちづくり部会からのご報告

区内19戸のお宅にご協力いただき、 家具の転倒防止モデル事業を実施しました。

「大地震から助かる命を守る」という審議テーマに基づく最優先テーマの一つ、「家具の転倒防止」に重点を置き、昨年11月～12月にモデル事業を実施しました。モデル事業では、応募いただいた区民のお宅19戸(マンション6戸、戸建て13戸)に専門技術者とともに邪魔し、計3～4時間ずつかけて、ほぼすべての家具や電化製品を対象に固定工事を施しました(総数439箇所、各戸平均では13箇所の家具で20箇所を固定)。

家屋の構造や家具の状況に応じた最適な方法で固定するため、丁寧な事前調査を行ったのちに固定工事を実施しました。住まい方とも関係するため、実施世帯のご家族に確認、納得していただきたきながら行いました。また、自分でもできることのアドバイスも行いました。

実施世帯へのアンケートでは、不安感が減り安心して生活できるようになったとの感想や感謝のお言葉をいただくとともに、前向きなご意見、ご提案もたくさんいただきました。



応募世帯向けの事前説明会の様子



家具固定工事の様子

このモデル事業を通じて、木製家具以外の固定方法など貴重な知識やノウハウを習得することができましたし、成果の普及に向けたアイデアも浮かんできました。今後、この成果を広く区民の皆さまに知っていただき、実際に家具転倒防止を実施していただけるよう、また、総合的に地震安全対策に取り組みんでいただけるよう、分かりやすい資料を作成し、普及に努めていきます。

区民会議事務局[麻生区役所企画課] 〒215-8570 川崎市麻生区万福寺1-5-1
電話:044-965-5112 FAX:044-965-5200 Eメール:73kikaku@city.kawasaki.jp
URL: <http://www.city.kawasaki.jp/asao/category/112-10-1-0-0-0-0-0-0.html>

第4期区民会議の提言決まる

平成24年7月から始まった第4期麻生区民会議は、2年間、精力的に活動を行ってきましたが、いよいよ平成26年6月にその任期を終了します。

第4期麻生区民会議では、全体テーマ「人と人をつなぐ地域づくり」を掲げ、区民にとって特に関心が高く、特に対策が必要な2つの審議テーマを選定しました。

人と人をつなぐ地域づくり

安全・安心
のまちづくり

若者が住みたくなる
魅力あるまちづくり

区民会議委員20名は、テーマを冠した2つの専門部会に分かれ、毎月1回、審議を行いました。また、関連団体やボランティア、専門技術者、区民等との連携・協力を得て、家具転倒防止のモデル事業やあさお子育てフェスタを実施し、提言の検討を行いました。

5月26日、最後の第8回全体会議にて、2年間の活動の集大成である報告書が完成し、会議終了後、菅原敬子委員長から多田昭彦区長に提出されました。

今回は、それぞれの部会から生まれた提言（概要版）と4月13日に開催されたあさお子育てフェスタの結果を皆様にお知らせします。

麻生区民会議



▲菅原委員長より多田区長へ区民会議報告書が渡されました
▼今回の提言をまとめた区民会議委員



▲報告書は、7月以降、麻生区役所企画課窓口で配布します。また、区のホームページからもご覧いただけます。



第1回あさお子育てフェスタ 2500人のご来場ありがとうございました

今回は、『子育てするなら麻生区～安心・楽しい・助かる～』をテーマに開催しました。会場は、開始時間から終了時間まで、予想をはるかに超える大勢の親子連れで賑わい、お父さんの姿も多数見られました。運営は、地域の子育て支援団体や主任児童委員部会の協力と熱意により準備から実施まで手際よく開催され、フェスタは大成功のうちに終わりました。

【区役所前広場】

育児用品のフリーマーケットが開催され、フェスタ開始直後から大勢の親子で賑わいました。時折登場した「かさまるくん」と写真撮影をする親子の姿もありました。



【区役所2Fホール】

保育・幼稚園児の作品展では、折り紙や写真などで装飾された素敵なポスターがたくさん掲示され、親子の関心を集めました。また、子育て情報コーナーでは、相談員が子育てに関する相談を受けました。



【予防接種ホール】

昭和音楽大学によるミニミニコンサートや人形劇などが開催され会場は熱気に包まれました。



【区役所4F会議室】

第1会議室 遊び・交流の部屋
和光大学他により、自舌ではなかなかできないような親子がともに楽しめる各種イベントが繰り広げられ、楽しんでいました。



【区役所2Fホール】

第2会議室 アンパンマン上映会
人気のため上映を1回追加し、いずれの回も満員となりました。



第3会議室 工作の部屋
年配の方から教えてもらう工作や、自分で作って楽しむ工作や、自分で作ったもので楽しそうにお友達と遊ぶ姿が印象的でした。

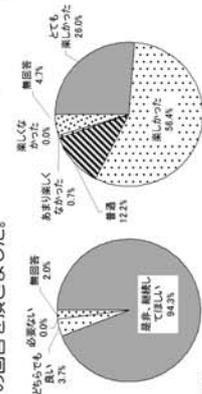
第4会議室 フリースペース情報相談
親子が自由に交流できるスペースや小児医療情報・相談コーナーを設置しました。

第5会議室 絵本・おはなし会
自由に絵本の読み聞かせができる場所の提供と講師によるおはなし会が随時開催されました。

家具転倒防止の普及啓発活動



「安全・安心のまちづくり部会」は、あさお子育てフェスタ2階ホールの一隅で「家族の安全を守る！家庭でできる家具転倒防止の対策について」と題して、家具転倒防止モデル事業の成果の普及啓発活動を行いました。



安全・安心のまちづくり部会 提言

大地震で想定される死者の死因のうち、「建物の崩壊」「家具の転倒」「火事」がその約9割を占めています。つまり、人的被害を防ぐには「わが家の安全対策」が最も大切です。区民の皆さまに主体的に取り組んでいただくため、「家具の転倒防止」に焦点を当てて実施したモデル事業等の成果を中心に、区に対して次のように提言しました。



【1】家具転倒防止に向けて

①パンフレットの作成・配布

・家具転倒防止対策モデル事業の成果を中心として、「大地震から助かる命を守る」ための考え方や参考情報を、一般区民向けに分かりやすく、コンパクトにまとめたパンフレットの案を作成したので、できるだけ速やかに、区民向け、関係者向けに広く頒布するなど、広く活用すること。

②取組を支援するための体制の整備(団体、コーディネーター)

・普及啓発、技術的支援、相談対応等を担う市民レベルや民間の支援団体が立ち上がることを望まれることから、市や区がそのために必要な支援を行うこと。
・区民の具体的な取組が実施されるよう、コーディネーター役の人材を確保・養成すること。
・地域防災組織や企業と連携し、区民の自主的な取組を支援し、普及させていくこと。

③普及啓発のための説明会、出前講座の開催

・上記パンフレット等を活用して、モデル事業の成果を広く区民や関係団体に普及させるため、市や区の連携・協力関係のもと、家具転倒防止の説明会や出前講座等を開催すること。

④区民の取組を支える専門技術者の協力を

・家具転倒防止方法の中には、大工等の専門技術者の協力が必要な場合もあるため、住まい方に合った方法を提案できる専門技術者の人材確保を図ること。

⑤市・区の政策的な支援と取組を

・市や区による財政的、技術的、情報面で支援する体制を整備すること。

【2】家屋の倒壊防止の普及、火災予防・火事発生への対応のために

①家屋の倒壊防止の普及

・耐震性不十分な家屋の解消を目指し、普及啓発パンフレットの配布や説明会の開催等により、「家屋の倒壊防止」の重要性を広く区民に伝え、意識や取組を啓発すること。
・家屋が倒壊しても命を守る現実的に有効な方法として、「耐震シェルター」の普及について検討すること。



②火災予防・火事発生への対応

・大地震後の火災発生防止と初期消火のため、各家庭や地域への消火器の設置を推進すること。
・大地震後の火災の大きな要因である「通電火災」を防止するため、「感震ブレーカー」の活用を検討すること。

若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会 提言

【1】あさお子育てフェスタを契機とした地域の子育て支援体制の構築

「子育てしやすい環境づくり」のテーマを審議する中で、子育ての現場から課題として抽出された「親子が一緒に楽しめる場の提供」、「行政情報の提供」、「相談窓口の設置」などを解決する1つの手法として、「あさお子育てフェスタ」を平成26年4月13日(日)に開催しました。この結果を踏まえて区に対して次のとおり提言しました。

(※裏面で開催内容を紹介しています。)



①あさお子育てフェスタの継続的開催を

・来場者アンケート結果で、参加者の94.3%が継続して開催してほしいとの要望があった「あさお子育てフェスタ」を、今後も麻生区で継続的に開催すること。
・継続的に開催するために、区役所は地域の多くの子育て支援者が参加できる体制づくりを支援すること。

②地域で子育てを支援するネットワークの強化

・子育て関係団体、個人、グループ等による子育て支援の輪が広がり、子育て中の親子を支える「地域の子育て力」の強化につながるように、子育てフェスタ開催を契機に団体同士のネットワークの強化に向けた支援を行うこと。

【2】子育て世代が楽しめる豊かな芸術文化環境の区内区外への情報発信を

「芸術・文化のまちづくり」を審議する中で、あさお子育てフェスタの会場で子育て世代から生の声を聞き、しんゆり芸術のまちに住む子どもたちが芸術文化に触れ、楽しむ機会を得てもらえるように、区に対して次のとおり提言しました。

・子育て世代に向けた芸術文化情報を、町内掲示板やホームページ等で、カテゴリ一別にするなどの工夫をしてわかりやすく発信し、地域に届けること。



【3】麻生区の「芸術のまち」構想の推進と独自ブランドの確立!

①活性化に向けた情報発信の強化を

・芸術文化の「にぎわい」が共生する街並みを実現するために、景観形成基準の緩和と内容やイベントの広報、市・区等の後援取得の意義等を地域へわかりやすく周知すること。
・芸術文化団体が利用可能な練習場所などの幅広い情報の収集と発信を進めていくこと。

②今後の芸術のまちづくりに向けて、有意義な意見交換の場を

・区役所が「(仮称)麻生芸術文化懇談会」や「(仮称)あさお芸術・文化交流カフェ」などと連携しながら、「しんゆり芸術のまち」がブランドとして確立されるよう、芸術・文化のまちづくりをさらに推進すること。

メディ・あさお No.134

2013（平成25）年2月

こんにちは！ 区民会議です

区民会議をご存じですか。区民の参加と協働によって地域社会の課題を解決し、暮らしやすい社会を築こうと、川崎市内の各区ごとに設置されているもので、麻生区では2006年から始まりました。このコーナーでは、区民会議での協議の模様や、お知らせなどを不定期で紹介していきます。

区民会議の委員は現在20人。昨年6月から第4期の委員が活動しています。現在は市民アンケートで要望の多かった地域の課題から、「安全・安心のまちづくり部会」が「大地震から助かる命を守る」、「若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会」が「子育てしやすい環境づくり」「芸術・文化のまちづくり」をテーマに決定し、区民からの意見・提案も受け付けながら、調査・審議・試行に取り組んでいます。

ただし目下の悩みは、知名度が低いこと。まずは区民のみなさんに、その存在を覚えてもらわなくちゃ始まらない！

2月25日には午後3時から麻生区役所で第3回全体会が行われ、各部会の経過報告や意見交換が行われます。興味のある人は傍聴してみてください。

問い合わせは ☎044-965-5112 区役所企画課。

メディ・あさお No.141 2013（平成25）年9月

こんにちは！ 区民会議です

このコーナーでは、区民会議での協議の模様や、お知らせなどを不定期で紹介していきます。

昨年3月に川崎市がまとめた地震被害想定調査では、「マグニチュード7.3の川崎市直下型地震」が「冬の午後6時」に発生した場合、麻生区内での死者は43人に及ぶと想定されています。

死者0人を目標に活動している区民会議の「安全・安心まちづくり部会」では、9月7日午後1時30分から麻生区役所で、フォーラム「大地震から助かる命を守る」を開催します。

明治大学教授で市住宅政策審議会会長の園田真理子さんによる講演「いざという時の備えは、日ごろの安心から—その知識と心構え」、東京大学教授で市防災対策検討委員会委員長の目黒公郎さんによる講演「大地震に備えて、私たちはどのように取り組むべきか？」など。

事前申し込み不要で、参加無料。問い合わせは ☎044-965-5112 企画課。

マイタウン（ホームページ） 2013（平成25）年9月11日

麻生区の地域密着型情報紙 こちら麻生区 マイタウン編集部 > 注目の街ネタ TOWN TOPICS > 麻生区区民会議がフォーラム「大地震から

注目の街ネタ TOWN TOPICS

麻生区区民会議がフォーラム「大地震から助かる命を守る」を開催

update : 2013/09/11

9月7日、麻生区役所会議室で、第4期麻生区区民会議が主催するフォーラム「大地震から助かる命を守る」が開催された。フォーラムは、①区民会議委員の紹介と審議状況の報告 ②「いざという時の備えは、日ごろの安心から—その知恵と心構え」をテーマに園田真理子教授（明治大学）の講演 ③「大地震に備えて、私たちはどのように取り組むべきか？」をテーマに目黒公郎教授（東京大学）の講演、の3部構成。当日は、153名という多くの人々が来場し、熱心に講師の話聴き入っていた。3時間を超えるフォーラムにもかかわらず、参加者からはもっと聴きたいとの声があがり、終了時間を急遽延長するなど、大盛況の内に幕を閉じた。

主催した麻生区区民会議は、地域課題に対して区民自らが主体的に行政と協働して取り組みを行うために設置された機関。テーマごとに2つの専門部会で構成され、それぞれの部会で毎月審議が行われている。今期は「安全・安心のまちづくり」と、「若者が住みたくなる魅力あるまちづくり」の2つがテーマ。

来年の春には子育て世代を対象にした企画を検討しているとのことであるが、どのような形になるのか今から楽しみである。

麻生区
区民会議

一般宅の震災対策に一手

建築専門家らと協力

【モデル住戸の応募条件】
対象 戸建て住宅10戸程度のグループ
 マンション・アパートの10戸程度のグループ
 ※グループ単位で応募
 ※戸建てグループは同一町内会・自治会に所属しているもの
 ※マンション・アパートは一棟全戸ではなく、その一部でも構わない
 ※応募前に地区に説明に来てほしいなどの希望がある場合は
 8月9日までに区民会議事務局(区企画課)
 ☎044・965・5112へ。

川崎市直下の地震(マグニチュード7.3)が発生すると、麻生区では最大で死者43人、負傷者1148人の被害が想定されている。「建物の倒壊」と「家具の転倒」、「火事」がその要因の9割を占める。阪神・淡路大震災では犠牲者の95%以上が建物の影響で亡くなったと言われている。こうした教訓から、区民会議は人的被害を防ぐには、自宅の震災対策が最も重要であると考え、一般宅の地震安全性のチェック、改善するモデル事業に踏み切った。川崎市内でも初の試みとなる。

区民会議ではモデル事業を行う住戸を公募。明治大学建築学科の園田眞理子教授や学生、職人ら建築技術者のグループが、直接家屋の地震安全性をチェックしてまわる。ポイントは「地震による家屋の倒壊・家具の転倒」と「地震後の火事発生」

8月19日まで公募
 区民会議は同事業の対象となる住戸グループ(10戸程度)を募集している。8月19日締切。8月下旬に実施グループを決定し事前説明会後、9月から10月頃に各住戸の調査を開始する予定。申し込み・問い合わせは区企画課☎(044)965・5112まで。

地域の課題解決に向け、具体的な取り組みなどを審議する麻生区民会議は先ごろ、一般宅の地震安全性のチェック・改善を実施することを決定した。明大教授ら建築専門家グループと協力し行う。これを受け、区民会議では家具の転倒防止などのアドバイスを受け、一般宅グループを公募し、実施した事例をモデル事業として地域に広めていく方針だ。

川崎直下の地震(マグニチュード7.3)が発生すると、麻生区では最大で死者43人、負傷者1148人の被害が想定されている。「建物の倒壊」と「家具の転倒」、「火事」がその要因の9割を占める。阪神・淡路大震災では犠牲者の95%以上が建物の影響で亡くなったと言われている。こうした教訓から、区民会議は人的被害を防ぐには、自宅の震災対策が最も重要であると考え、一般宅の地震安全性のチェック、改善するモデル事業に踏み切った。川崎市内でも初の試みとなる。

区民会議ではモデル事業を行う住戸を公募。明治大学建築学科の園田眞理子教授や学生、職人ら建築技術者のグループが、直接家屋の地震安全性をチェックしてまわる。ポイントは「地震による家屋の倒壊・家具の転倒」と「地震後の火事発生」

8月19日まで公募
 区民会議は同事業の対象となる住戸グループ(10戸程度)を募集している。8月19日締切。8月下旬に実施グループを決定し事前説明会後、9月から10月頃に各住戸の調査を開始する予定。申し込み・問い合わせは区企画課☎(044)965・5112まで。

川崎直下の地震(マグニチュード7.3)が発生すると、麻生区では最大で死者43人、負傷者1148人の被害が想定されている。「建物の倒壊」と「家具の転倒」、「火事」がその要因の9割を占める。阪神・淡路大震災では犠牲者の95%以上が建物の影響で亡くなったと言われている。こうした教訓から、区民会議は人的被害を防ぐには、自宅の震災対策が最も重要であると考え、一般宅の地震安全性のチェック、改善するモデル事業に踏み切った。川崎市内でも初の試みとなる。

区民会議ではモデル事業を行う住戸を公募。明治大学建築学科の園田眞理子教授や学生、職人ら建築技術者のグループが、直接家屋の地震安全性をチェックしてまわる。ポイントは「地震による家屋の倒壊・家具の転倒」と「地震後の火事発生」

8月19日まで公募
 区民会議は同事業の対象となる住戸グループ(10戸程度)を募集している。8月19日締切。8月下旬に実施グループを決定し事前説明会後、9月から10月頃に各住戸の調査を開始する予定。申し込み・問い合わせは区企画課☎(044)965・5112まで。

メディ・あさお No.140 2013(平成25)年8月

こんにちは! 区民会議です

このコーナーでは、区民会議での協議の様様や、お知らせなどを不定期で紹介していきます。

「大地震から助かる命を守る」をテーマに活動している、区民会議の「安全・安心まちづくり部会」。同部会では現在、地震安全性点検や家具の転倒防止対策といった、安全対策のモデル住宅を区内から募集しています。

募集しているのは同一の町会・自治会・自主防災組織などに加盟している「戸建て住宅10戸程度のグループ」「マンション・アパートの10戸程度のグループ」。明治大学建築学科と建築技術者のグループが、家屋の地震に対する安全性をチェックし、プロの技術者が実

際に家具の置き場所や固定化の方法を改善します。また、助成制度の活用方法などについて、専門家がアドバイスを行います。原則として費用負担はありません。

募集締切りは8月19日まで。同下旬には実施グループを決定し、年内までにモデル事業の実施や実施後のアンケート、ヒアリングなどを行います。詳しい応募方法などの問い合わせや応募前に説明会を開催してほしい、という要望(8月9日まで)などは☎044-965-5112区役所企画課。

麻生区
区民会議

「子育てフェス」協力団体募る

来年4月初開催に向け

「あさお子育てフェスタ」 協力団体募集要項

【開催日時】2014年4月13日(日)
午前10時～午後3時(予定)
【対象】日頃子育て支援を行う市民団体、ボラン
ティア団体、自主グループ、保育園、折紙遊び・人
形劇・絵本読み聞かせなどの活動をする団体
【申込締切】12月20日(金)
【問い合わせ】
麻生区企画課(☎044・965・5112)

重ねた結果、子育て情報の
錯綜や気軽に相談できる場
所の不足など、課題が抽出
された。そこで子育て中の
保護者と未就学児を対象
に、親子同士・世代間で交
流し、楽しみながら集約し
た情報を発信・収集できる
場を提供しようと、区内初
となる「子育てフェスタ」
を来年4月に開
催することを決
定。「子育てす
なら麻生区で
安心・楽しい・
助かる」をテー
マに、区内子育
て団体の紹介や
育児相談室、情
報コーナー、ミニ
コンサートなど
を行う予定だ。

区民会議の「若者が住み
たくなる魅力あるまちづく
り部会」では、「子育てしや
すい環境づくり」と「芸術
・文化のまちづくり」が必
要と議論された。そのうち
「子育てしやすい環境づく
り」については、昨年11月
ごろから子育て支援グル
ープへのヒアリングや審議を
重ねた結果、子育て情報の
錯綜や気軽に相談できる場
所の不足など、課題が抽出
された。そこで子育て中の
保護者と未就学児を対象
に、親子同士・世代間で交
流し、楽しみながら集約し
た情報を発信・収集できる
場を提供しようと、区内初
となる「子育てフェスタ」
を来年4月に開
催することを決
定。「子育てす
なら麻生区で
安心・楽しい・
助かる」をテー
マに、区内子育
て団体の紹介や
育児相談室、情
報コーナー、ミニ
コンサートなど
を行う予定だ。

地域の課題解決に向け、区民が新たな取り
組みを審議し、区に提言する麻生区民会議
はこのほど、若者が住みたくなるまちづく
りを進めるため、来年4月に「あさお子育てフ
ェスタ」を開催することを決定した。それに
伴い、日頃子育て支援を行う協力団体を募集
している。

「情報得られる機会に」

区民会議では12月20日(金)
まで、日頃子育て支援を行
う市民団体、ボランティア
団体、自主グループ、保
育園などを募集しており、「子
育てフェスタ」でブースを
設け、活動の紹介をしても
らう予定だ。会場で行う折
紙遊び、人形劇、絵本読み
聞かせを企画、開催する団
体なども可。

区民会議は区内初となる
イベントを盛り上げようと、
「麻生区・6大学、公学協
働ネットワーク」を締結し
ている昭和音楽大学、玉川
大学、田園調布学園大学、
日本映画大学、明治大学、
和光大学にも協力を依頼。
子ども用品限定のフリーマ
ーケットも開催される予定
(雨天中止)で、出店者を
菅原敬子委員長は「子育て

に関するさまざまな情報が
得られる一つの機会を提供
できれば」と話す。

「子育てフェスタ」は来年1
4月13日(日)、麻生区役所内
後3時までの開催を予定し
役所企画課(☎044・9
会議室、ロビー)、区役所前
でいる。問い合わせ、申し
込みは区民会議事務局の区
65・5112)まで。

子育ての情報収集、交流を

13日 区役所でフェスタ

麻生区民会議が主催す
る「あさお子育てフェスタ」
が13日、麻生区役所などで
開催される。午前10時30分
から午後3時まで。
「子育てするなら麻生区
で安心・楽しい・助かる」
をテーマに区内で子育て支
援の取り組みを行う団体や
大学が集い、イベントを実
施。昭和音楽大学のミニコ
ンサートや和光大学による
ブックライトシアターが
楽しめる催し、巨大バル
ーンを使つての親子遊び、子
ども用品フリーマーケット
(雨天中止)などが行われる。
また、午前11時10分と午
後1時40分からは映画「そ
れいけノアンパンマンルビ
ーの願い」(各先着70人)が
上映されるほか、子育て相
談コーナーや絵本コーナー
も設置。子育て支援の情報
収集や保護者同士の交流の
場にもなる。

麻生区民会議の事務局と
なる麻生区役所企画課の担
当者は「子どもも大人も笑
顔になるイベントです。就
学前のお子さんも楽しめる
内容で、保護者の方もぜひ
この機会に、子育ての色々
な情報収集の機会にしてほ
しい」と来場を呼び掛けて

子育てフェスに2500人

初開催で賑わい



子ども用品のフリーマーケットに多くの人

「第1回あさお子育てフェスタ」(主催/麻生区区民会議)が4月13日、麻生区役所で行われた。

初開催となった同イベントには地域住民ら約2500人が訪れ、賑わいを見せた。和光大学による「みんなで歌うパネルシアター」

集や交換などが行われていた。

同区民会議の菅原敬子委員長は「参加団体の皆さまにも熱意をもって、ご協力していただいた。また、2500人という多くの方に来場していただき、感謝を申し上げます。来場者からは『親子で楽しめた』『子育て情報を得られた』『子供声も多かった』『子育てに関するイベントは地域のニーズが高いと思う。こういったイベントを今後も継続して実施していきたい』と話した。

大地震から命を守る 一歩、やるべきこと

あなたはいつから
始めますか？

我が家の防災対策はできていますか？

川崎市地震被害想定調査結果（平成 25 年 3 月）によれば、マグニチュード 7.3 の川崎市直下型地震が冬の夕方 6 時に発生した場合、麻生区内の死者数は 43 人、負傷者数は 1,148 人と想定されています。そして、その原因の大部分が「建物の倒壊」と「家具の転倒」と「火事」です。

地震の直撃で死傷しないことが大事

大地震への備えと言えば、水や食料、防災グッズの確保に関心が向きがちですが、それらが役に立つのも、大地震が起きたときの「身の安全」が確保された上でのこと。

起きる前の十分な対策、そして起きてからの適切な行動で、「地震が起きても死傷しないこと」が大事です。

「大地震への備え」で本当に大切なこと

- ・家がつぶれないこと
- ・家具や家電製品の下敷きにならないこと
- ・火災が発生したとき、火が大きくならないうちに消すこと

我が家の中で命を落とさないために！

助かる命を守る

大地震が発生しても、命を落とさないためには、事前に取り組み易く、効果の高い「家具の転倒防止」対策を実施しておくことが不可欠です。

これが「助かる命を守る」につながる大切な第一歩です。

幼いお子さんのために！



地震が起きる前にできること

このパンフレットは、誰でもすぐ簡単にできる「家具や家電製品の転倒、落下防止対策」について分かりやすく解説しています。

麻生区民の皆様、このパンフレットを読んで、命を守るための対策を今から始めましょう！

あなたと大事な人の命を守るために！

高齢の方の安全確保のために！



家具の転倒防止こそが命を救う！！

○家具転倒防止対策でまず考えること

・今の「住まい方」は安全か

夜、寝ているところに家具が倒れてこないか。

→家具の位置を移動しよう、寝る場所を変えてみよう

・ライフステージ、ライフスタイルが変わるかも

将来も家具の配置は、現状のままか…子供の独立、高齢化等家具、家電製品の買い替えはしないか

→変わらないなら、金具などで家具をがっちり固定（3ページ参照）

→家具を動かす（買い替える）可能性があるなら、アイプレートと結束バンドで固定（3・4ページ参照）

・家の構造を確認する

家具、家電製品が壁、柱で固定できるところにあるか
木造家屋の天井は構造上、固定対象にならない場合が多い

・家具転倒防止対策で不便にならないように

金具で固定できない家具・家電にもできることがある
掃除で普段動かすことも考えて

ピタッと止めて、夜もぐっすり！



} →家具を止める間柱を探す
(3・6ページ参照)

} →滑り止めだけでも効果あり
(4・5ページ参照)

★今回ご紹介する転倒防止対策は、固定方法、家具、家の構造などにより効果が異なります。

○モデル事業*から学ぶこと

・意外と簡単 ⇒ コツさえつかめば素人でもできることが多い

・プロ（大工さん、工務店等）をお願いした方がよいこともある

⇒ 困ったときには大工さん、工務店に気軽に相談する。



※モデル事業…平成25年11～12月に、麻生区区民会議主催で、麻生区内の19戸の協力家庭で家具転倒防止工事を実施しました。

○モデル事業実施世帯へのアンケートから

・95%の世帯が「家具の転倒への不安感が減り、安心して生活できるようになった」

・79%の世帯が「ご近所、知人、友人にも家具転倒防止の有効性を伝えようと思った」と回答

・家具転倒防止だけでなく自主的な「備え」をやっているという意識が向上したとの意見も

○モデル事業に参加したプロの声（専門技術者からのひとこと）

・日常生活の使い勝手と家具転倒防止との折り合いは、様々な固定方法を組み合わせることで、ほぼどんな場合にも対応できます。

・施工をプロに頼む場合には、皆さんが心から安心できるよう、十分に相談しましょう。



○ガラス飛散防止や落下物への対応も必要

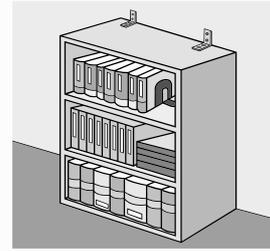
・避難路を確保するためにも食器棚等にガラス飛散防止フィルムを張ることや、壁掛け、置物、本などを固定することも大切です。



家具・家電製品の転倒防止方法

…具体的な家具、家電の転倒防方法を紹介しす

◆L字型金具による固定



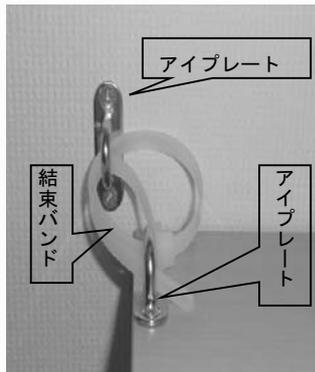
・金具の大きさ、ネジ穴の位置、形状等、種類がたくさんあります。

- ・ホームセンターで、100円程度からです。
- ・壁に止める場合は、壁の中の固いところ（間柱）を下地探し器で探して止めます。
- ・マンションの場合は、管理規約などによる制約や手続きが必要となる場合があります。
- ・木造住宅以外（軽量鉄骨造など）については、大工さん、工務店に相談しましょう。
- ・家具側も造りをしっかり見極め、天板などの固いところで止めます。

◆アイプレート(金具)による固定



様々なタイプのアイプレート



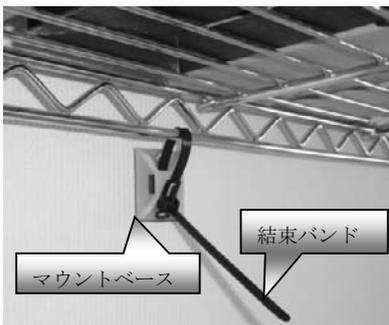
アイプレート

結束バンド

アイプレート

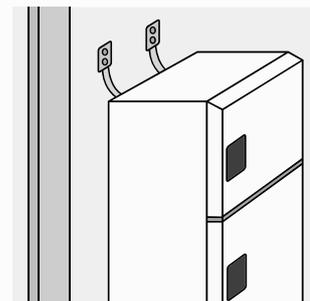
- ・壁と家具にネジ止めします。
- ・アイプレートは結束バンドやワイヤー、ターンバックルと組合せて使います。
- ・ホームセンターで、一個300円程度です。
- ・L字型金具と同様に壁側、家具側ともしっかりしたところに取り付けます。

◆マウントベース(プラスチック製の留め具)による固定



マウントベース

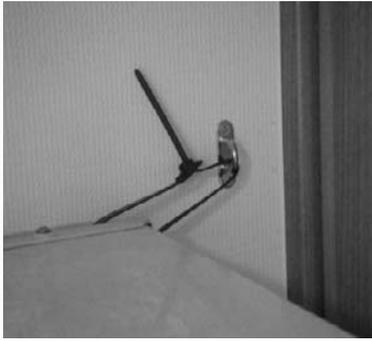
結束バンド



- ・ネジや両面テープで、壁、柱と家具に取り付けます。
- ・マウントベースは結束バンドやワイヤー、ターンバックルと組合せて使います。
- ・1個、50円程度です。
- ・ホームセンターや通信販売で手に入ります。

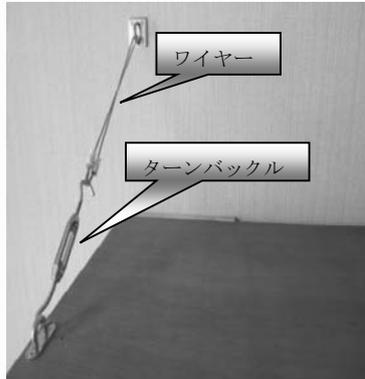
家具・家電製品の転倒防止方法

◆結束バンド(長さが簡単に調整できるプラスチック製のベルト)による固定



- ・ケーブルタイとも言います。
- ・様々な長さがあります。
- ・アイプレートやマウントベースと組合せて使います。
- ・何回も取り外しできるものと1回限りのものと2つのタイプあります。
- ・1袋100本入りで、500円程度。ホームセンターや通信販売で手に入ります。

◆ターンバックル(長さが調整できるネジ式の金具)による固定



- ・アイプレート、マウントベース、結束バンド、ワイヤー等と組合せて使います。
- ・様々な大きさがあります。
- ・取り外しができます。
- ・材質、大きさにより価格は様々ですが、15cm程度で300円くらいからです。
- ・ホームセンターや通信販売で手に入ります。

◆ノンスリップシート(滑り止め)の使い方



- ・大地震の時、家具等はフローリングの上をはねたり滑ったり、高い置き場所からすべり落ちるので、「滑り止めシート」の活用は意外と有効です。
- ・食器棚、テーブル等の家具の下や電子レンジ、炊飯器等の家電製品の下にも敷きます。
- ・30cm四方の大きさのものを用途に合わせて、自分で切って使います。
- ・他の転倒防止対策と組み合わせて使うと効果的です。
- ・30cm四方のもの4枚入り1袋で、3000円程度です。
- ・ホームセンターや通信販売で手に入ります。

家具・家電製品の転倒防止方法

◆キャスターストッパー(キャスターホルダー)による固定



- ・テレビボードやパソコンラック等のキャスター付家具に使います。
- ・様々なサイズがあり、キャスターの大きさに合わせます。
- ・小さいもので1個200円くらいです。

・ストッパーの底面に「滑り止めシート」をストッパーのかたち形状に合わせて貼ると非常に効果的です。

◆「くさび」による固定



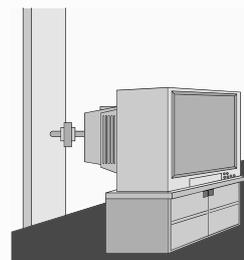
- ・木材で作ります。
- ・家具が前に倒れようとする「締まる」ので、ガッチリ止めてくれます。逆方向にトンと叩けば簡単に外れます。
- ・冷蔵庫等、将来買い替えが予想される家具、家電製品の固定に便利です。
- ・材料費は安く済みますが、固定場所に合わせた寸法に切ることがポイントです。斜めの角度も大事ですので、写真を参考にしてください。

◆マジックテープによる固定



- ・家具やテレビ等と壁との間に「すき間」がある場合、板や紙筒とマジックテープで固定します。
- ・紙筒はラップの芯などを使います。

- ・両端に数cm切り込みを入れて開き、マジックテープに貼り付けます。
取り外しが簡単なので、お掃除の邪魔になりません。
- ・マジックテープは10cm四方で500円程度からです。
- ・ホームセンターや通信販売で手に入ります。



家具・家電製品の転倒防止方法

◆木材を利用した様々な工夫



(写真左) タンスが前に飛び出さないよう鴨居に木材を取り付けた例

(写真中) 家具と天井の間を木材と小型ジャッキで固定した例

(写真右) 三連式家具と壁側の固定位置がずれているため、先ず壁に木材を取り付け、それに家具を固定した例

★あれば便利！ お助けアイテム！★

◇下地探し器(下地センサー)



- ・壁側の固定位置(間柱)を探すのに便利です。
- ・センサー式は3000円程度から、針で探す方式は1500円程度です。
- ・ホームセンターや通信販売で手に入ります。



◇リフター



- ・家具の下にノンスリップシートを差し込む時など、重い家具を持ち上げるのに便利です。
- ・1個1500円程度です。
- ・ホームセンターや通信販売で手に入ります。

◇パール(金てこ)

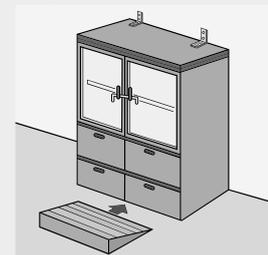


- ・家具の持ち上げに使います。
- ・大きさ、材質が様々あります。
- ・1本2000円程度からです。
- ・どちらも、ホームセンターや通信販売で手に入ります。

◇電動ドライバー



- ・金具のネジ止めに便利です。
- ・高価な充電式でなく、コード式(8000円程度)で十分です。



※マンションは、管理規約により、工事に管理組合や施工会社と調整が必要な場合があります。

家が倒壊しないことが助かる大前提！

○「木造住宅の耐震診断と耐震改修」

昭和56年5月31日(新耐震基準の導入)以前に建てられた建物は、耐震性が低い可能性があります。一度、耐震診断を受けてみましょう。川崎市では一定の条件を満たしている住宅の耐震診断を無料で耐震診断士を派遣して行っています。

(参考) インターネットでできる簡易診断…「誰でもできるわが家の耐震診断」(日本建築防災協会)
<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/seismic/wagaya.html>

○「木造住宅耐震改修助成制度」

昭和56年5月31日以前に建てられた建物で耐震性が低いものについて、耐震性を高めるための工事にかかった費用の一部を助成します。

※問い合わせは、川崎市役所まちづくり局指導部建築監察課
建築防災担当へ (☎044-200-3017)

○耐震シェルター

建物倒壊から寝る場所の安全を確保するため、様々なタイプの耐震シェルターが開発されています。値段は設置費用込みで40~50万程度です。



初期消火は自分たちの手で！

地震発生時、「死なない」ために大事なことのひとつに「火災発生への対応」があります。出火してすぐの小さな火であれば、自分たちで消火しましょう。そして、手に負えないと思ったら、そこから逃げて自分の命を守ることが大切です。

○消火器、住宅用火災警報器の設置

- 一般の住宅については、法令による消火器設置の義務はありませんが、消火器は初期消火の道具として最も一般的で身近なものです。
 - 消火器の使い方はラベルに書いてありますが、いざという時に使えるように地域の消火訓練等に積極的に参加し、使用方法を確認しましょう。
 - 平成23年6月1日に住宅用火災警報器の設置が義務化されましたが、麻生区ではまだ4戸に1戸程度が未設置です。
- ★火災から命を守るためにも、消火器などの設置をすすめましょう。



○隣り近所との初期消火への取り組み

- 初期消火の段階で隣り近所の方々協力しあうことは、大切なことです。
- 街路等への共有消火器の設置は、初期消火を効果的に行うためにも必要です。



○意外と多い「通電火災」への対策

- 地震による停電から復旧した時に発生する「通電火災」を避けるために、避難する時にはブレーカーを落としておくか、「感震ブレーカー」を設置しましょう。
- 「感震ブレーカー」には様々なタイプがあります。

さあ！まずはお宅の家具転倒防止から！

東日本大震災から3年が過ぎましたが、今後30年以内に70%の確率で首都直下地震が発生すると懸念されています。（川崎市地震被害想定調査…平成25年3月）

大地震への備えが必要ですが、その中で意外な盲点が地震発生の瞬間に命を守る対策である「家具等の転倒防止」、「家屋の耐震化」であることがわかってきました。

地震の揺れが大きかった阪神・淡路大震災では、亡くなった方の約8割が家具転倒を含む建物被害で亡くなりました（阪神・淡路大震災の死者にかかる調査について…平成17年12月22日兵庫県発表）。

地震対策として真っ先に行うべきことは、地震発生の瞬間に死なないことです。

そのためには、『家具等の転倒防止対策』を実施しなければなりません。

安全な空間をつくる

◇『防災は「楽しみながらやる」時代』

防災対策は日頃から「やらなければならない」と思いつつ、なかなか取り組めないものです。

そこでこれからは、お子さんやご家族と一緒に考えながら、楽しみながらやってみてはいかがでしょうか。

家具・家電の転倒防止対策では、家具の配置を考えたり、滑り止めシートを敷くこと等、お子さんと一緒にできることがあります。

みらいの命を守る

地域コミュニティでの助け合い

◇みんなで守る向こう三軒両隣

大地震が発生し、本格的な支援体制が整うまでは、ご近所との「助け合い」が不可欠です。そこで大切になることが、日頃からのお付き合いです。ご近所との日頃からのコミュニケーションを大切に！



◇災害時要援護者への支援

災害時には高齢者や障害のある方等、避難するために支援の必要な方もいます。日頃のご近所付き合いの中で、支援の必要な方を知っておき、災害時には皆で助け合って支援しましょう。また、災害発生時には、避難に支援が必要な方に正確な情報を提供することも大切です。



☆この資料に関する

お問い合わせ☆

麻生区役所企画課（区民会議事務局）

TEL 044-965-5112

／ FAX 044-965-5200



第4期麻生区区民会議報告書

(平成26年6月)

発行：麻生区区民会議

事務局：麻生区役所まちづくり推進部企画課

〒215-8570 川崎市麻生区万福寺 1-5-1

電話：044-965-5112 F A X：044-965-5200

E-mail：73kikaku@city.kawasaki.jp
